

2018 年（平成 30 年）

兵庫県感染症発生動向調査事業

年 報

兵庫県立健康科学研究所
（兵庫県感染症情報センター）

はじめに

2018年当初には、季節性インフルエンザのA型とB型のウイルスが同時流行し、最盛期の患者数は、例年よりも多くなりました。また、RSウイルス感染症は、2017年より流行のピークが冬から秋に移行しており、2018年も同様の傾向が見られました。一方、手足口病は、ほぼ隔年で流行し、2018年は流行しない年でした。

2018年から全数把握対象疾病となった百日咳は、成人も含めて多数の患者が報告されました。さらに、風しん患者は夏以降に継続して報告され、5年ぶりの流行となり、拡大防止にはワクチン接種の普及啓発が重要となっております。

県民の健康を守り、地域医療、公衆衛生行政を支えていくためには、感染症の流行状況を正確に把握する必要があり、2016年4月から、改正された「感染症の予防および感染症の患者に対する医療に関する法律」が全面施行され、サーベイランス体制の充実強化、検査の信頼性を確保する制度（感染症GLP）の導入が図られました。

今後更なる感染症対策のための適切な情報提供が迅速に行えるよう、より一層努力してまいりますので、関係機関の皆様方には、引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ここに2018年の事業年報を取りまとめました。本書を感染症対策の資料としてご活用いただければ幸いです。

なお、この事業の実施にあたり、兵庫県医師会、郡市医師会、定点医療機関をはじめとする関係各位には、ひとかたならぬご理解とご尽力を賜っておりますことに心からお礼申し上げます。

2019年12月

兵庫県立健康科学研究所長 大橋 秀隆

2018年報告週対応表

報告週	期 間	報告週	期 間
1	1月1日～1月7日	27	7月2日～7月8日
2	1月8日～1月14日	28	7月9日～7月15日
3	1月15日～1月21日	29	7月16日～7月22日
4	1月22日～1月28日	30	7月23日～7月29日
5	1月29日～2月4日	31	7月30日～8月5日
6	2月5日～2月11日	32	8月6日～8月12日
7	2月12日～2月18日	33	8月13日～8月19日
8	2月19日～2月25日	34	8月20日～8月26日
9	2月26日～3月4日	35	8月27日～9月2日
10	3月5日～3月11日	36	9月3日～9月9日
11	3月12日～3月18日	37	9月10日～9月16日
12	3月19日～3月25日	38	9月17日～9月23日
13	3月26日～4月1日	39	9月24日～9月30日
14	4月2日～4月8日	40	10月1日～10月7日
15	4月9日～4月15日	41	10月8日～10月14日
16	4月16日～4月22日	42	10月15日～10月21日
17	4月23日～4月29日	43	10月22日～10月28日
18	4月30日～5月6日	44	10月29日～11月4日
19	5月7日～5月13日	45	11月5日～11月11日
20	5月14日～5月20日	46	11月12日～11月18日
21	5月21日～5月27日	47	11月19日～11月25日
22	5月28日～6月3日	48	11月26日～12月2日
23	6月4日～6月10日	49	12月3日～12月9日
24	6月11日～6月17日	50	12月10日～12月16日
25	6月18日～6月24日	51	12月17日～12月23日
26	6月25日～7月1日	52	12月24日～12月30日

目 次

1. 事業の概要

- 1. 1 兵庫県における感染症発生動向調査システム 1
- 1. 2 地域の区分と地域別定点数 4

2. 患者発生状況

- 2. 1 概要 6
- 2. 2 結核、腸管出血性大腸菌感染症、侵襲性肺炎球菌感染症、梅毒、百日咳及び
定点把握対象疾病の動向 8
 - (1) 結核 9
 - (2) 腸管出血性大腸菌感染症 10
 - (3) 侵襲性肺炎球菌感染症 11
 - (4) 梅毒 12
 - (5) 百日咳 14
 - (6) インフルエンザ（鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く） 15
 - (7) RS ウイルス感染症 16
 - (8) 咽頭結膜熱 17
 - (9) A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎 18
 - (10) 感染性胃腸炎 19
 - (11) 水痘 20
 - (12) 手足口病 21
 - (13) 伝染性紅斑 22
 - (14) 突発性発しん 23
 - (15) ヘルパンギーナ 24
 - (16) 流行性耳下腺炎 25
 - (17) 急性出血性結膜炎 26
 - (18) 流行性角結膜炎 27
 - (19) 細菌性髄膜炎
(インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く) 28
 - (20) 無菌性髄膜炎 29
 - (21) マイコプラズマ肺炎 30
 - (22) クラミジア肺炎（オウム病を除く） 31
 - (23) 感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る） 32
 - (24) 性器クラミジア感染症 33
 - (25) 性器ヘルペスウイルス感染症 35
 - (26) 尖圭コンジローマ 37
 - (27) 淋菌感染症 39

(28) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	41
(29) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	42
(30) 薬剤耐性緑膿菌感染症	43

3. 病原微生物検出状況

(1) 腸管出血性大腸菌感染症事例	44
(2) 細菌による食中毒（疑）事例	45
(3) クドア（ヒラメ寄生虫）の検査	45
(4) カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症事例	45
(5) 侵襲性肺炎球菌感染症事例	46
(6) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症事例	46
(7) その他の細菌検査	46
(8) 結核 QFT 検査	46
(9) 結核菌の同定試験及び結核の感染源調査	47
(10) インフルエンザウイルスの検出状況	50
(11) 日本脳炎流行予測調査結果	50
(12) 蚊媒介感染症の検査	50
(13) ダニ媒介感染症の検査	50
(14) HIV 及び肝炎ウイルスの検査	50
(15) 集団嘔吐下痢症事例からのノロウイルス等の検出状況	51
(16) 麻しん及び風しんウイルスの検出状況	52
(17) 感染症発生動向調査における月別病原体検出件数	52

4. 資料

(1) 全数把握対象疾病の患者数	55
(2) 定点把握対象疾病の週（月）別患者数	59
(3) 定点把握対象疾病の保健所別患者数	62
(4) 定点把握対象疾病の年齢階級別患者数	65
(5) 定点把握対象疾病（月報）の性別患者数	67

兵庫県感染症発生動向調査事業実施要領

1. 事業の概要

1. 1 兵庫県における感染症発生動向調査システム

図1に患者情報に関する兵庫県感染症発生動向調査システムを示す。コンピュータ・オンライン・システムは、結核及びその他の感染症の患者情報を迅速に収集、解析、還元することにより、適切な予防措置を講じ、流行を未然に防止することを目的として、1987年に結核・感染症サーベイランスシステムとして導入された。1992年以降は厚生行政総合情報システム（WISH）上での運用となり、1998年に対象疾病の若干の増加と一部疾病名の変更及び患者の年齢階級区分の変更が行われた。同時にシステムの名称も兵庫県結核・感染症発生動向調査システムと改められた。

1999年4月に「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（感染症法）」が施行された。これに伴い、当研究所内に基幹地方感染症情報センターが設置され、政令市を含む兵庫県全域の感染症情報の集計・解析・情報還元の中核を担うこととなった。ただし、この時点では結核予防法は感染症法に一元化されず、結核は感染症発生動向調査の対象疾病とはならなかった。

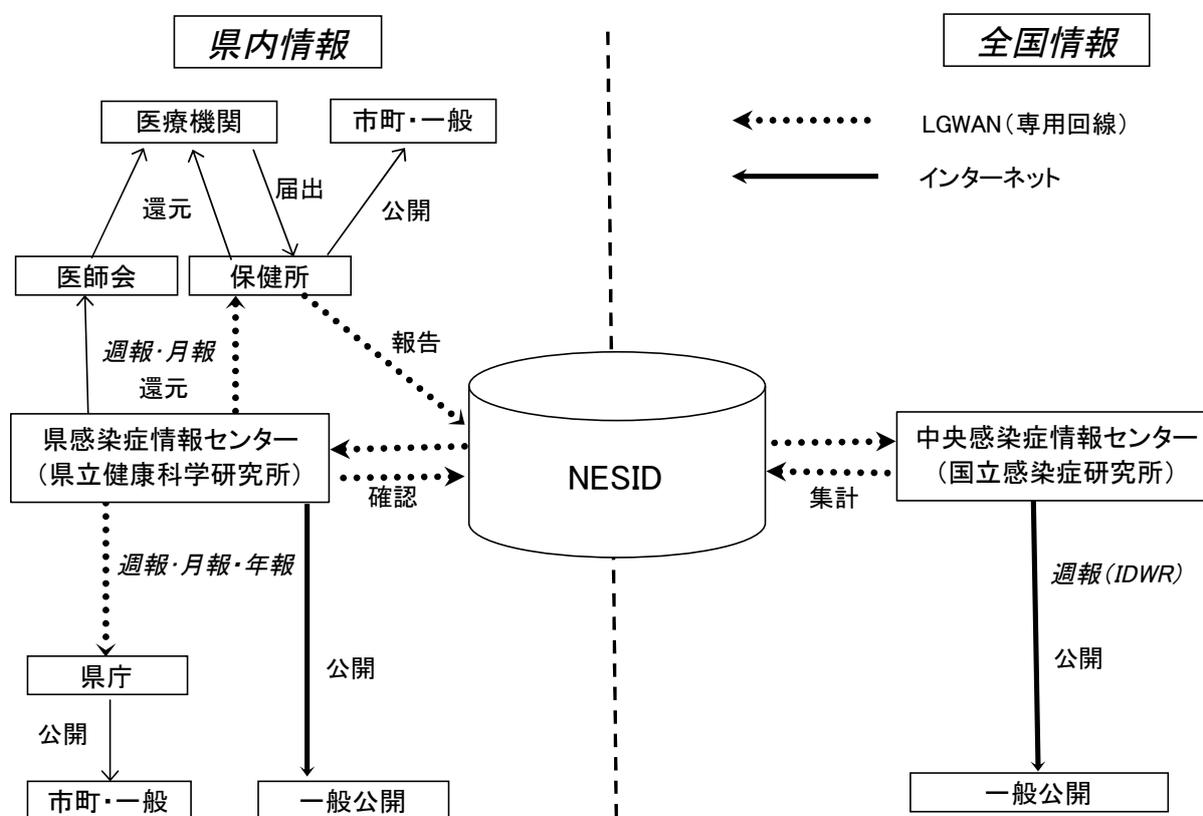
2006年4月からは感染症発生動向調査システムが全面的に新しくなった。従来、収集された情報は全国の保健所、都道府県及び政令市、国の各レベルで集積され、そのためのデータベースプログラムが各組織に配布されていたが、新システム（NESID）では、これらの情報はブラウザで取り扱われて、国レベルで一元管理されることになった。ネットワークは従来どおりWISHを用い、インターネットからは隔離されたクローズドなイントラネットとなっている。回線は国と全国の地方自治体を相互接続した広域ネットワークであるLGWAN（総合行政ネットワーク）を用いている。新システムにより、情報伝達の迅速化、セキュリティ向上、対象疾病等に変更があった場合の迅速対応（全国にプログラムを配布し、インストールする必要がないため）が図られた。

2007年4月の感染症法の改正では、発生動向調査対象疾病の類型分けの変更や結核予防法の統合等がなされた。感染症法の改正がその後も行われた結果、2018年12月31日現在の対象疾病は疑似症を含めて115疾病（表1、表2）となっている。

なお、2018年3月からNESIDはWISHデータセンターでの運用から政府共通プラットフォームでの運用に変更となり、WAF（Webアプリケーションファイアウォール）等によるセキュリティ強化が図られている。

当感染症情報センターでは、表1、表2に示す感染症発生動向調査システムの対象疾病である一類～五類感染症、新型インフルエンザ等感染症の合計113疾病（疑似症を除く）のうち、全数把握対象疾病（89疾病）については県内すべての医療機関からの患者発生届出を、定点把握対象疾病（24疾病）については県内に指定された医療機関（全294定点）からの報告を、保健所を通じて集計・解析し、感染症の動向に関するコメント・グラフを付し週報、月報及び年報として保健所、市町、医師会、医療機関等に還元するとともに、ホームページを通じて広く県民に公開している。

図1 兵庫県感染症発生動向調査システム（2018年）



NESID : National Epidemiological Surveillance of Infectious Diseases 厚生労働省感染症サーベイランスシステム

表1 全数把握の対象疾病（89疾病）

（2018年12月31日現在）

	対象疾病
一類感染症(7疾病)	(1)エボラ出血熱、(2)クリミア・コンゴ出血熱、(3)痘そう、(4)南米出血熱、(5)ペスト、(6)マールブルグ病、(7)ラッサ熱
二類感染症(7疾病)	(8)急性灰白髄炎、(9)結核、(10)ジフテリア、(11)重症急性呼吸器症候群 ^A 、(12)中東呼吸器症候群 ^B 、(13)鳥インフルエンザ(H5N1)、(14)鳥インフルエンザ(H7N9)
三類感染症(5疾病)	(15)コレラ、(16)細菌性赤痢、(17)腸管出血性大腸菌感染症、(18)腸チフス、(19)パラチフス
四類感染症(44疾病)	(20)E型肝炎、(21)ウエストナイル熱 ^C 、(22)A型肝炎、(23)エキノコックス症、(24)黄熱、(25)オウム病、(26)オムスク出血熱、(27)回帰熱、(28)キャサヌル森林病、(29)Q熱、(30)狂犬病、(31)コクシジオイデス症、(32)サル痘、(33)ジカウイルス感染症、(34)重症熱性血小板減少症候群 ^D 、(35)腎症候性出血熱、(36)西部ウマ脳炎、(37)ダニ媒介脳炎、(38)炭疽、(39)チクングニア熱、(40)つつが虫病、(41)デング熱、(42)東部ウマ脳炎、(43)鳥インフルエンザ ^E 、(44)ニパウイルス感染症、(45)日本紅斑熱、(46)日本脳炎、(47)ハンタウイルス肺症候群、(48)Bウイルス病、(49)鼻疽、(50)ブルセラ症、(51)ベネズエラウマ脳炎、(52)ヘンドラウイルス感染症、(53)発しんチフス、(54)ボツリヌス症、(55)マラリア、(56)野兔病、(57)ライム病、(58)リッサウイルス感染症、(59)リフトバレー熱、(60)類鼻疽、(61)レジオネラ症、(62)レプトスピラ症、(63)ロッキー山紅斑熱
五類感染症(24疾病)	(64)アメーバ赤痢、(65)ウイルス性肝炎 ^F 、(66)カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症、(67)急性弛緩性麻痺 ^{G1} 、(68)急性脳炎 ^H 、(69)クリプトスポリジウム症、(70)クロイツフェルト・ヤコブ病、(71)劇症型溶血性レンサ球菌感染症、(72)後天性免疫不全症候群、(73)ジアルジア症、(74)侵襲性インフルエンザ菌感染症、(75)侵襲性髄膜炎菌感染症、(76)侵襲性肺炎球菌感染症、(77)水痘(入院例に限る)、(78)先天性風しん症候群、(79)梅毒、(80)播種性クリプトコックス症、(81)破傷風、(82)バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症、(83)バンコマイシン耐性腸球菌感染症、(84)百日咳 ² 、(85)風しん、(86)麻しん、(87)薬剤耐性アシネトバクター感染症
新型インフルエンザ等感染症(2疾病)	(112)新型インフルエンザ、(113)再興型インフルエンザ

^A 病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。^B 病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。^C ウエストナイル脳炎を含む。^D 病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。^E H5N1及びH7N9を除く。^F E型肝炎及びA型肝炎を除く。^G 急性灰白髄炎を除く。^H ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。¹ 2018年5月1日より追加。² 2018年1月1日より追加。

表2 定点把握対象疾病（五類感染症、疑似症）

（2018年12月31日現在）

患者定点	対象疾病
小児科定点(週報) 129定点、10疾病	(88)RSウイルス感染症、(89)咽頭結膜熱、(90)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、(91)感染性胃腸炎、(92)水痘、(93)手足口病、(94)伝染性紅斑、(95)突発性発しん、(96)ヘルパンギーナ、(97)流行性耳下腺炎
インフルエンザ定点(週報) 199定点、1疾病	(98)インフルエンザ ¹
眼科定点(週報) 35定点、2疾病	(99)急性出血性結膜炎、(100)流行性角結膜炎
性感染症定点(月報) 46定点、4疾病	(101)性器クラミジア感染症、(102)性器ヘルペスウイルス感染症、(103)尖圭コンジローマ、(104)淋菌感染症
基幹定点(週報) 14定点、6疾病	(98)インフルエンザ ¹ ※ただし、入院患者に限定する。 (91)のうち病原体がロタウイルスであるもの、(105)クラミジア肺炎(オウム病を除く)、(106)細菌性髄膜炎 ² 、(108)マイコプラズマ肺炎、(109)無菌性髄膜炎
基幹定点(月報) 14定点、3疾病	(107)ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、(110)メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、(111)薬剤耐性緑膿菌感染症
疑似症 ³ 295定点	法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症 (114)摂氏38度以上の発熱及び呼吸器症状(明らかな外傷又は器質的疾患に起因するものを除く。)、(115)発熱及び発しん又は水疱(ただし、当該感染症が二類感染症、三類感染症、四類感染症又は五類感染症の患者の症状であることが明らかな場合を除く。)

¹ 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。² インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。³ 症候群サーベイランスシステムで実施。

1. 2 地域の区分と地域別定点数

図2に、政令市、中核市及び保健所管内を単位とする地域の区分を示す。

表3に、五類感染症の地域別定点数と人口の関係を示す。

2018年の定点数は、インフルエンザ199定点、小児科129定点、眼科35定点、性感染症46定点、
基幹14定点である。

図2 地域の区分

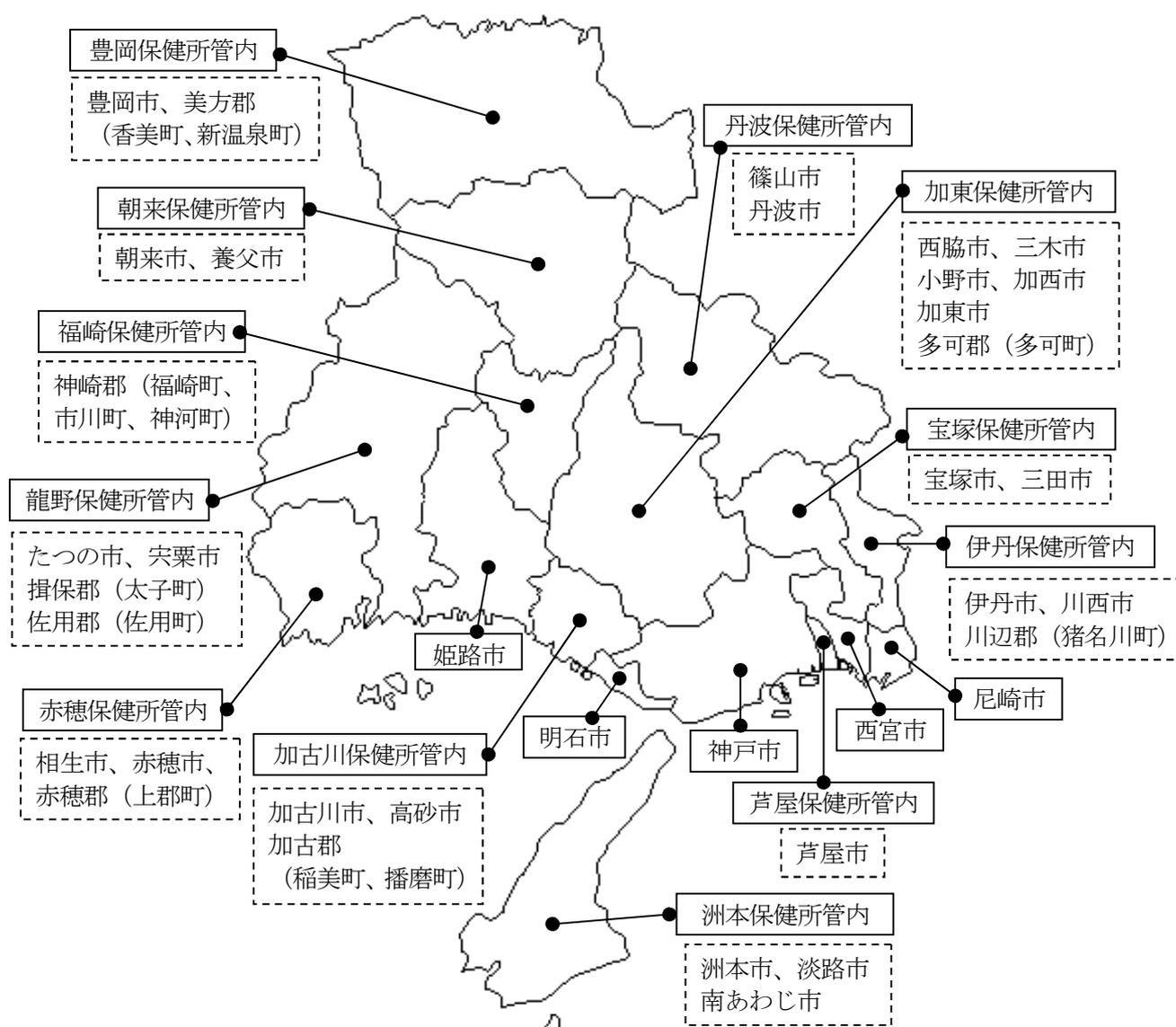


表3 地域別定点数と人口の関係

区 分	人 口 (万人)	人口比 (%)	インフルエンザ定点		小児科定点		眼科定点		性感染症定点		基幹定点	
			定点数	定点あたりの人口 (万人)	定点数	定点あたりの人口 (万人)	定点数	定点あたりの人口 (万人)	定点数	定点あたりの人口 (万人)	定点数	定点あたりの人口 (万人)
神戸市	152.9	27.9	48	3.2	31	4.9	10	15.3	12	12.7	3	51.0
尼崎市	45.1	8.2	15	3.0	10	4.5	3	15.0	4	11.3	1	45.1
姫路市	53.2	9.7	19	2.8	13	4.1	3	17.7	4	13.3	1	53.2
西宮市	48.8	8.9	14	3.5	9	5.4	3	16.3	3	16.3	1	48.8
明石市	29.7	5.4	11	2.7	7	4.2	2	14.9	2	14.9	0	—
芦屋 保健所管内	9.5	1.7	3	3.2	2	4.7	1	9.5	1	9.5	0	—
伊丹 保健所管内	38.3	7.0	12	3.2	8	4.8	2	19.1	2	19.1	0	—
宝塚 保健所管内	33.7	6.1	9	3.7	6	5.6	2	16.8	3	11.2	0	—
加古川 保健所管内	41.7	7.6	14	3.0	9	4.6	3	13.9	4	10.4	1	41.7
加東 保健所管内	26.8	4.9	13	2.1	8	3.3	2	13.4	3	8.9	1	26.8
龍野 保健所管内	16.1	2.9	8	2.0	5	3.2	1	16.1	1	16.1	1	16.1
赤穂 保健所管内	9.1	1.7	6	1.5	4	2.3	0	—	1	9.1	1	9.1
福崎 保健所管内	4.2	0.8	2	2.1	1	4.2	1	4.2	1	4.2	0	—
豊岡 保健所管内	11.0	2.0	8	1.4	5	2.2	1	11.0	1	11.0	1	11.0
朝来 保健所管内	5.3	1.0	3	1.8	2	2.6	0	—	1	5.3	1	5.3
丹波 保健所管内	10.3	1.9	6	1.7	4	2.6	0	—	1	10.3	1	10.3
洲本 保健所管内	13.0	2.4	8	1.6	5	2.6	1	13.0	2	6.5	1	13.0
合 計	548.8	100.0	199	2.8	129	4.3	35	15.7	46	11.9	14	39.2

(人口:2018年7月1日推計人口)

2. 患者発生状況

2. 1 概要

2. 1. 1 全数把握対象疾病

表 4 に全数把握対象疾病の年間患者数を示す。2018 年は、一類感染症は報告がなく、二類感染症は結核 1,170 人であった。患者数の多い疾病は、三類感染症では腸管出血性大腸菌感染症 133 人、四類感染症ではレジオネラ症 88 人、五類感染症ではカルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 84 人、侵襲性肺炎球菌感染症 230 人、梅毒 271 人、百日咳 564 人であった。

2017 年と比較すると、2018 年は E 型肝炎、侵襲性肺炎球菌感染症、梅毒、風しん等の患者数が増加した。E 型肝炎の感染経路として、鹿肉等の喫食による経口感染が 4 人から報告された。侵襲性肺炎球菌感染症は、届出対象となった 2013 年 4 月 1 日以降、年々患者数が増えている。乳幼児には 13 価のワクチン、高齢者には 23 価のワクチンが準備されているが、肺炎球菌には 90 種以上の血清型が存在するため、ワクチンで予防できない感染例も報告されている。梅毒は、全国的に患者数の増加が継続している。兵庫県内では、昨年比が男性 1.4、女性 1.3 となり、男女ともに 20～24 歳の若い世代の増加がめだった。風しんは、夏以降に患者が継続して報告され、2013 年以来の流行となった。当所で検出した風疹ウイルスの大半は遺伝子型 1E であった。

百日咳は、2018 年 1 月 1 日より、これまでの小児科定点からの届出から、すべての医療機関が届出する全数把握対象疾病に変更になり、成人の患者を含めて発生状況が把握できるようになった。

2. 1. 2 定点把握対象疾病

表 5 に週報疾病別年間患者数を、表 6 に月報疾病別年間患者数を示す。

週報対象疾病のうち、インフルエンザ定点及び小児科定点対象疾病で 2018 年の患者数が多い疾病は、インフルエンザ 70,073 人、感染性胃腸炎 38,629 人、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎 8,912 人の順であった。2017 年と比較すると、インフルエンザ [51,814 人→70,073 人] は患者数が増加し、手足口病 [15,180 人→3,268 人] 及び流行性耳下腺炎 [3,395 人→647 人] は患者数が減少した。眼科定点対象疾病では、急性出血性結膜炎 [17 人→34 人] 及び流行性角結膜炎 [858 人→1,258 人] とともに、患者数が増加した。基幹定点対象疾病では、マイコプラズマ肺炎 [170 人→87 人] 及びクラミジア肺炎（オウム病を除く） [11 人→2 人] の患者数が顕著に減少した。

月報対象疾病のうち性感染症では、性器ヘルペスウイルス感染症 [304 人→376 人] の患者数がやや増加傾向を示した。薬剤耐性菌感染症では、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 [458 人→528 人] の患者数がやや増加し、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 [78 人→51 人] の患者数がやや減少した。

表4 全数把握対象疾病の年間患者数（届出のあった疾病）

（2019年10月29日現在の兵庫県感染症情報センターにおける把握）

	疾 病 名	2016年患者数	2017年患者数	2018年患者数
二類	結核	1,158	1,166	1,170
三類	コレラ	0	0	1
	細菌性赤痢	5	6	6
	腸管出血性大腸菌感染症	129	96	133
	腸チフス	0	2	0
	パラチフス	0	0	2
四類	E型肝炎	3	3	13
	A型肝炎	8	21	17
	Q熱	0	0	1
	オウム病	0	1	0
	ジカウイルス感染症*1	0	1	0
	重症熱性血小板減少症候群	0	1	0
	つつが虫病	9	1	4
	デング熱	16	7	7
	日本紅斑熱	13	7	9
	マラリア	0	4	1
	ライム病	0	0	2
	レジオネラ症	71	71	88
	レプトスピラ症	0	0	2
五類	アメーバ赤痢	48	40	30
	ウイルス性肝炎* ^A	16	12	15
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	75	64	84
	急性弛緩性麻痺* ^B * ²	-	-	9
	急性脳炎* ^C	52	34	34
	クリプトスポリジウム症	0	1	1
	クロイツフェルト・ヤコブ病	10	7	11
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	27	29	40
	後天性免疫不全症候群	34	36	26
	ジアルジア症	2	1	4
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	17	14	20
	侵襲性髄膜炎菌感染症	3	1	6
	侵襲性肺炎球菌感染症	142	188	230
	水痘（入院例）	9	12	20
	梅毒	184	198	271
	播種性クリプトコックス症	3	6	10
	破傷風	0	3	3
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	3	3
	百日咳* ³	-	-	564
	風しん	9	7	51
麻しん	20	3	2	

^AE型肝炎及びA型肝炎を除く。^B急性灰白髄炎を除く。*^Cウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

*¹2016年2月15日より追加。*²2018年5月1日より追加。*³2018年1月1日より追加。

表5 疾病別年間患者数（週報）

疾 病 名	2016年		2017年		2018年	
	患者数	定点あたり	患者数	定点あたり	患者数	定点あたり
インフルエンザ ^{*A}	66,751	335.48	51,814	260.38	70,073	352.26
RSウイルス感染症	4,068	31.53	6,485	50.30	4,749	36.85
咽頭結膜熱	3,023	23.42	3,737	29.00	2,761	21.42
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9,984	77.33	9,588	74.40	8,912	69.15
感染性胃腸炎	53,815	416.92	41,139	319.22	38,629	299.78
水痘	2,903	22.49	2,255	17.49	2,421	18.79
手足口病	1,475	11.43	15,180	117.88	3,268	25.36
伝染性紅斑	1,723	13.35	556	4.32	600	4.66
突発性発しん	2,680	20.76	2,542	19.73	2,359	18.31
ヘルパンギーナ	4,276	33.16	3,338	25.92	2,830	21.96
流行性耳下腺炎	7,799	60.43	3,395	26.34	647	5.02
急性出血性結膜炎	15	0.43	17	0.49	34	0.97
流行性角結膜炎	706	20.20	858	24.51	1,258	35.98
細菌性髄膜炎 ^{*B}	33	2.36	32	2.34	37	2.65
無菌性髄膜炎	50	3.57	50	3.62	32	2.29
マイコプラズマ肺炎	508	36.29	170	12.34	87	6.24
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	1	0.07	11	0.79	2	0.14
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルス)	200	14.29	164	12.09	117	8.36

^{*A}鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。^{*B}インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。

表6 疾病別年間患者数（月報）

疾 病 名	2016年		2017年		2018年	
	患者数	定点あたり	患者数	定点あたり	患者数	定点あたり
性器クラミジア感染症	862	18.74	1,025	22.28	1,077	23.45
性器ヘルペスウイルス感染症	310	6.74	304	6.61	376	8.19
尖圭コンジローマ	171	3.72	203	4.41	192	4.18
淋菌感染症	297	6.46	309	6.72	317	6.90
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	451	32.21	458	32.71	528	38.73
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	71	5.07	78	5.57	51	3.74
薬剤耐性緑膿菌感染症	9	0.64	6	0.43	9	0.65

2. 2 結核、腸管出血性大腸菌感染症、侵襲性肺炎球菌感染症、梅毒、百日咳及び定点把握対象疾病の動向

2018年の感染症発生動向調査事業における週報及び月報の患者情報を解析し、週（月）別患者数、保健所別患者数及び年齢階級別患者数を求めた。性感染症では性別・年齢階級別患者数を求めた。これらの統計表は付表として本誌55～67ページに掲載した。

全数把握対象疾病のうち患者数の多い結核、腸管出血性大腸菌感染症、侵襲性肺炎球菌感染症、梅毒、百日咳、及び定点把握対象疾病について、各疾病の動向を以下に示す。

(1) 結核

結核の年間患者数は1,170人で、2017年の1,166人よりわずかに増加した。2010～2013年は年間1,500人前後で推移していたが、2014年以降はやや減少傾向を示し、2015～2018年は年間1,200人前後となっている。性別分布は男性678人、女性492人であった。

患者の年齢階級別割合は10歳未満2%、10歳代2%、20歳代7%、30歳代5%、40歳代7%、50歳代9%、60歳代13%、70歳代21%、80歳代25%、90歳以上10%と、70歳以上の高齢者が全体の55%を占めていた。

病型別では、肺結核が614人(52%)、肺結核及びその他の結核が34人(3%)、その他の結核が182人(16%)、無症状病原体保有者が335人(29%)、疑似症患者が5人であった。

図 3-1 結核の週別患者数

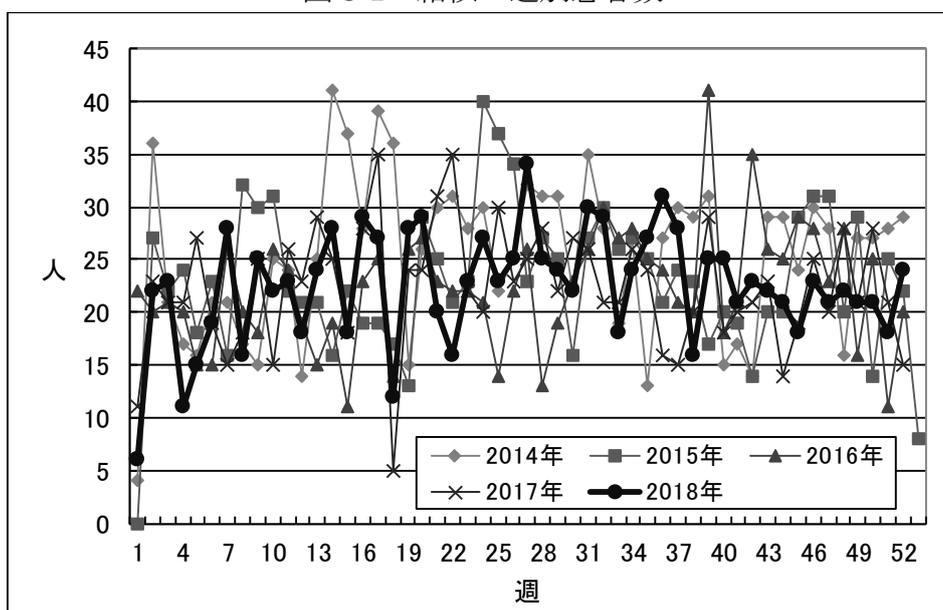
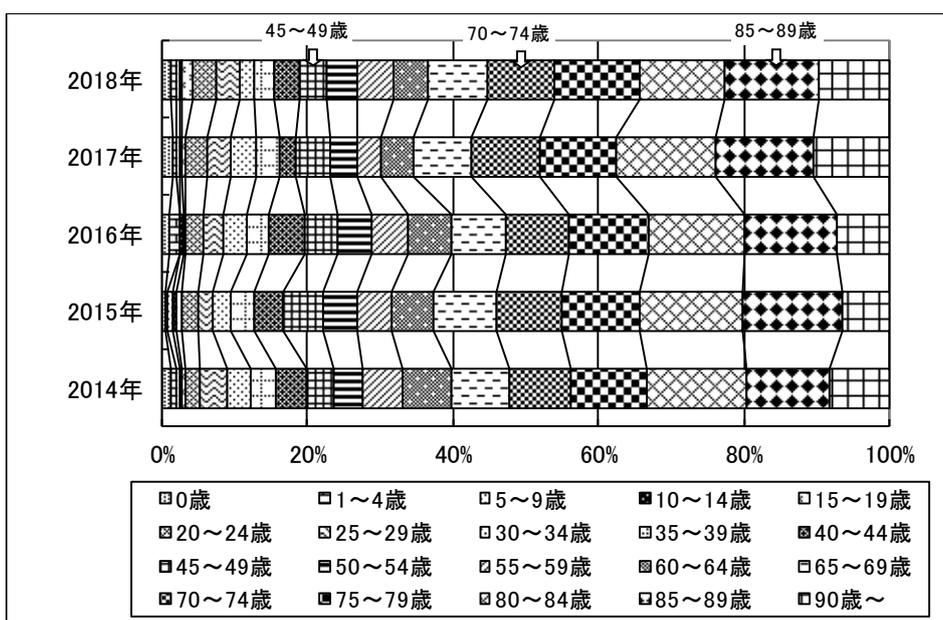


図 3-2 結核患者の年齢階級別割合



(2) 腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症の年間患者数は133人で、2017年の96人より増加した。31週（8月上旬）に患者発生ピークが見られたほか、24週（6月中旬）と44週（11月上旬）にも患者数が増加した。性別分布は男性55人、女性78人であった。

患者の年齢階級別割合は10歳未満20%、10歳代15%、20歳代26%、30歳代7%、40歳代17%、50歳代4%、60歳代5%、70歳以上7%であった。

有症者は91人で、うち4人が溶血性尿毒症症候群を発症し、無症状病原体保有者は42人であった。O血清型別では、O157が102人、O121が10人、O26が9人の順で多くなった。

図 4-1 腸管出血性大腸菌感染症の週別患者数

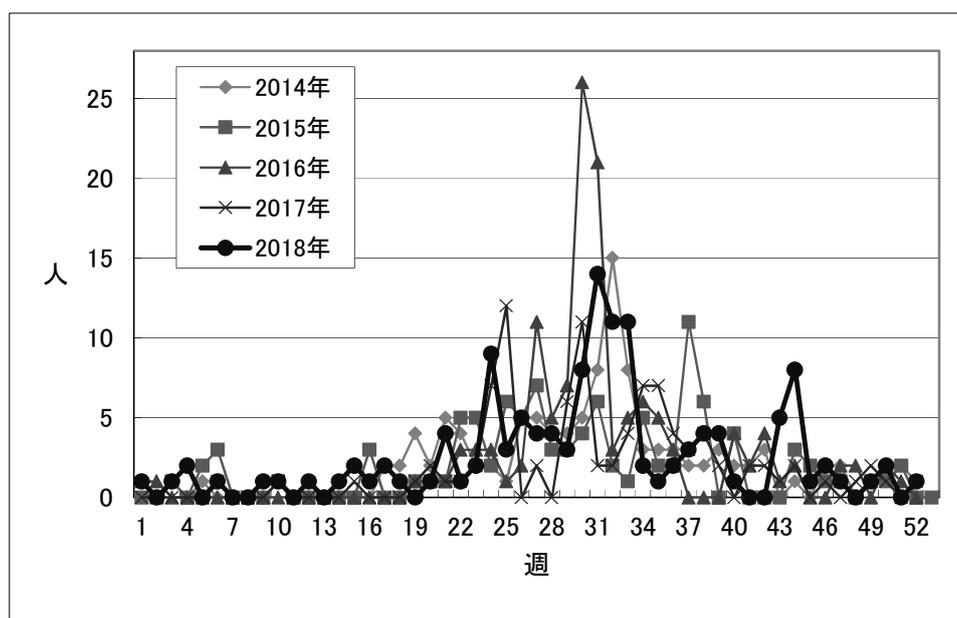
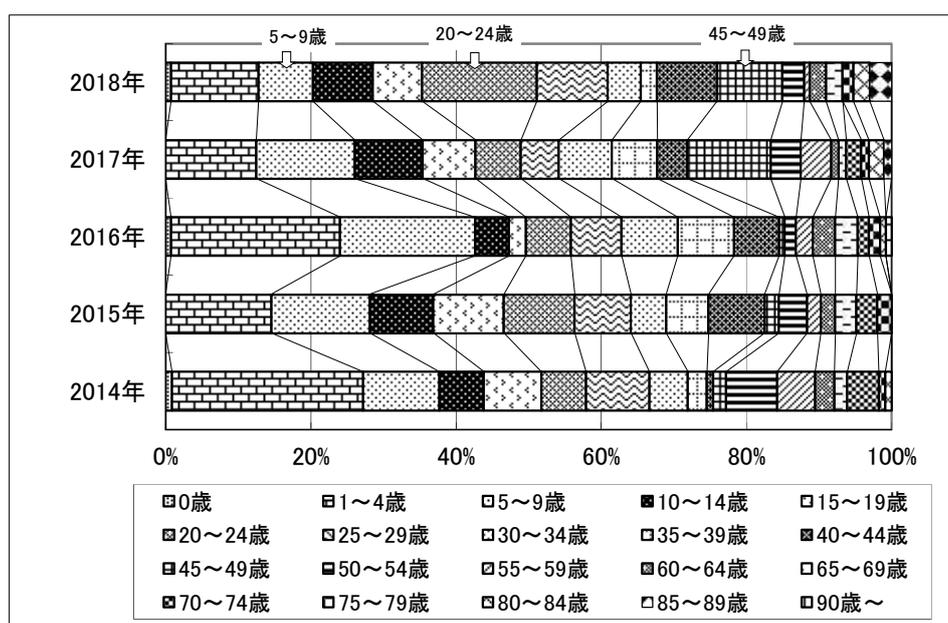


図 4-2 腸管出血性大腸菌感染症患者の年齢階級別割合



(3) 侵襲性肺炎球菌感染症

侵襲性肺炎球菌感染症の年間患者数は230人で、2017年の188人より増加した。性別分布は男性141人、女性89人であった。本疾病は、2013年4月1日より全数把握対象疾病に追加され、冬から初夏にかけて患者発生が増加する傾向が見られる。

患者の年齢階級別割合は10歳未満17%、10歳代1%、20歳代2%、30歳代3%、40歳代7%、50歳代6%、60歳代20%、70歳代25%、80歳代15%、90歳以上5%となり、4歳以下の乳幼児と65歳以上の高齢者とで全体の73%を占めていた。

4歳以下の患者31人は全員ワクチン接種をしていたが、65歳以上の患者136人中、ワクチン接種有りは27人、接種無しが63人、不明が46人であった。

図5-1 侵襲性肺炎球菌感染症の週別患者数

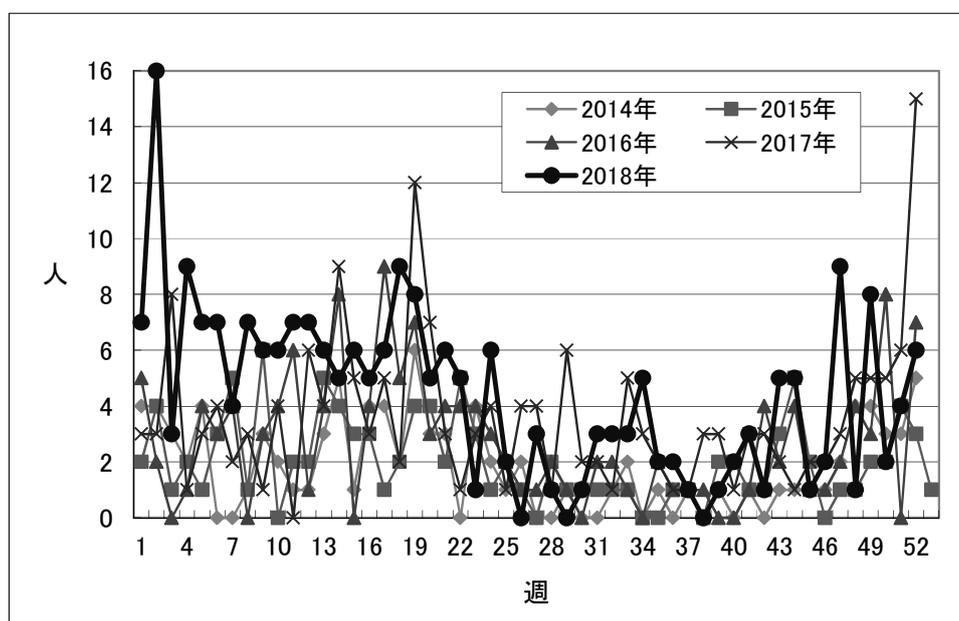
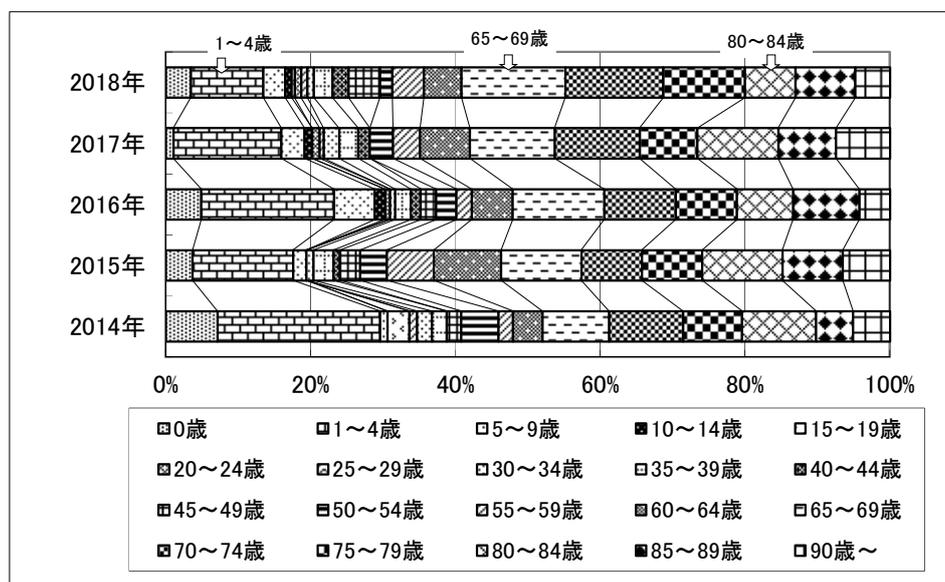


図5-2 侵襲性肺炎球菌感染症患者の年齢階級別割合



(4) 梅毒

梅毒の年間患者数は271人で、2017年の198人より増加した。ここ数年間の患者数の増加は著しく、2014年の42人の6.5倍となった。性別分布は男性190人、女性81人であった。

患者の年齢階級別割合は10歳代8%、20歳代36%、30歳代20%、40歳代14%、50歳代9%、60歳代5%、70歳代4%、80歳以上4%となり、20～30歳代の患者数が多くなっている。

感染原因として、9割が性的接触を報告しており、感染地域は兵庫県内が177人、その他国内が61人、国外が5人、不明が28人であった。

図 6-1 梅毒の週別患者数

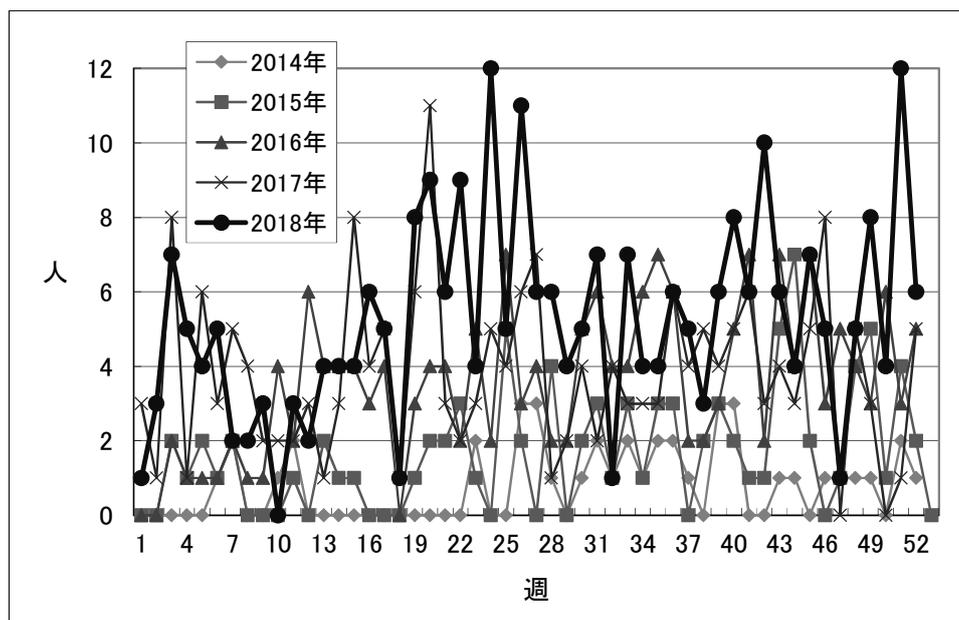


図 6-2 梅毒患者の年齢階級別割合

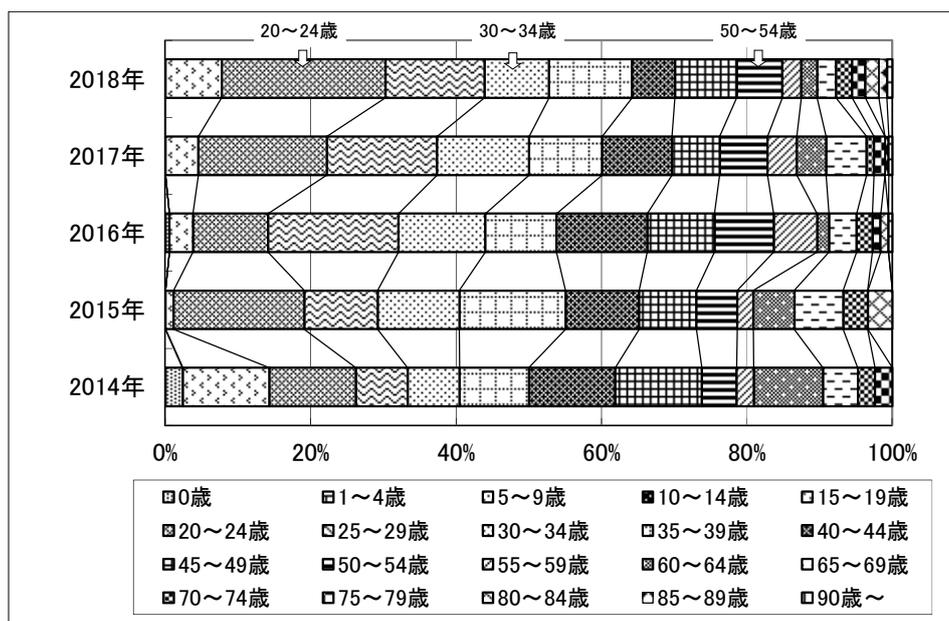


図 6-3 梅毒の年齢階級別患者数（男性）

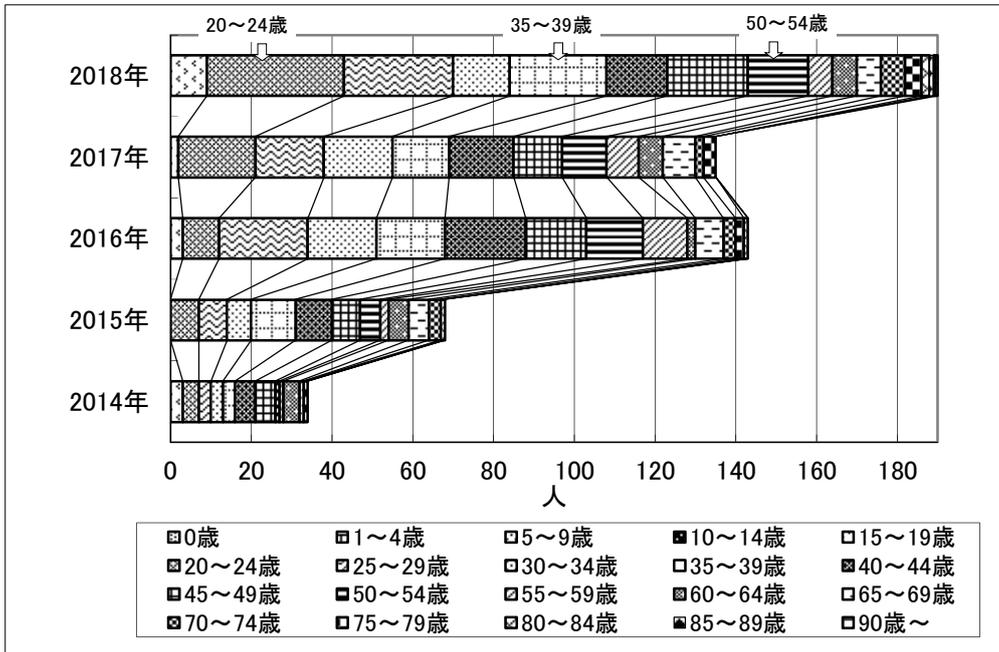
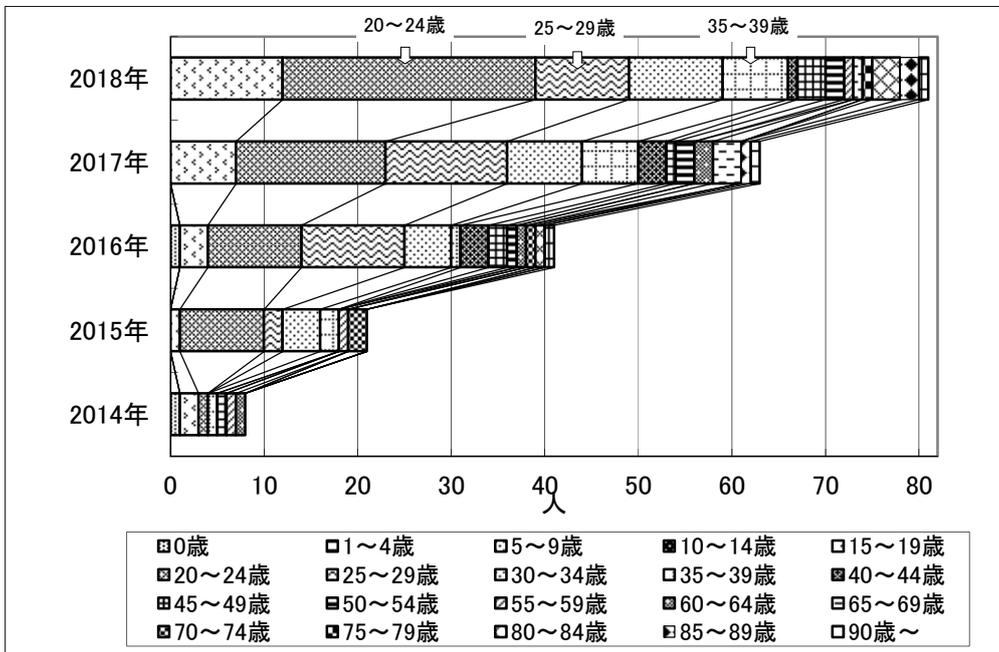


図 6-4 梅毒の年齢階級別患者数（女性）



(5) 百日咳

百日咳の年間患者数は 564 人で、性別分布は男性 262 人、女性 302 人であった。本疾病は、2018 年 1 月 1 日より、これまでの小児科定点からの届出からすべての医療機関が届出する全数把握対象疾病に変更になり、成人の患者を含めて発生状況が把握できるようになった。

患者の年齢階級別割合は 10 歳未満 44%、10 歳代 25%、20 歳代 3%、30 歳代 7%、40 歳代 10%、50 歳代 4%、60 歳代 5%、70 歳以上 3%となり、5～14 歳の割合が 53%と多く、成人患者は全体の 31%を占めていた。

感染経路として、家族内感染が 149 人から、学校での流行が 81 人から報告されている。乳児期に接種したワクチンの効果は、学童期にすでに低下していると推定される。

図 7-1 百日咳の週別患者数

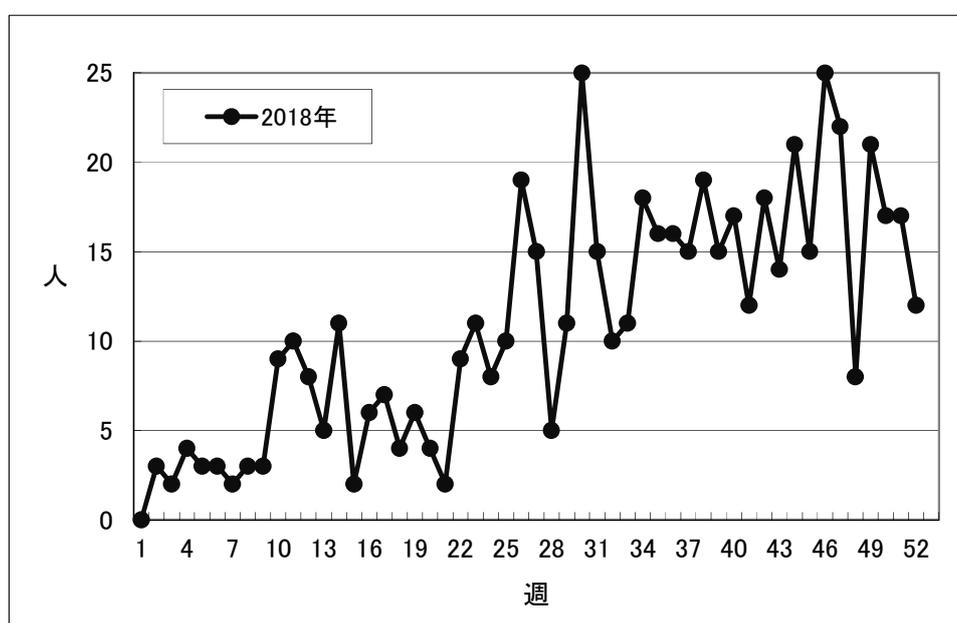
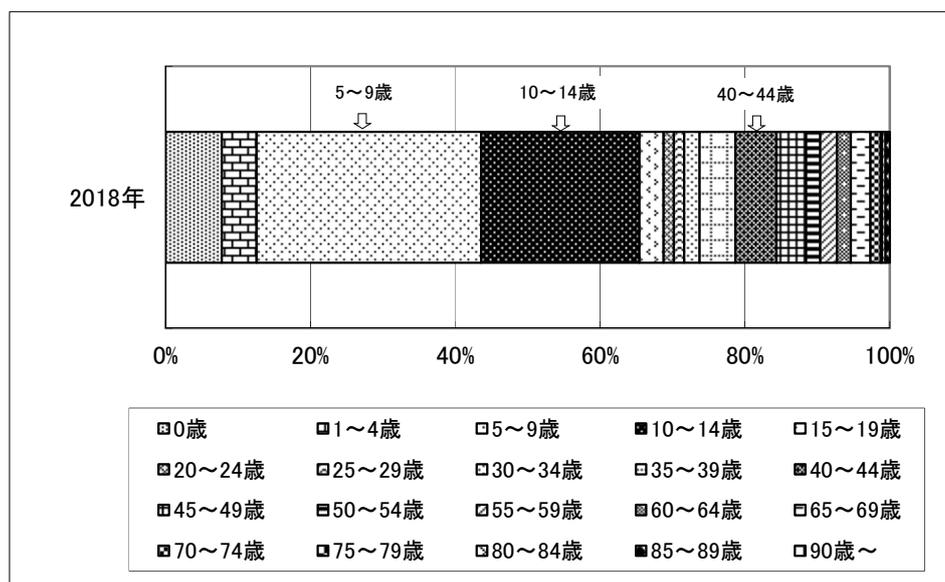


図 7-2 百日咳患者の年齢階級別割合



(6) インフルエンザ（鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く）

年間患者数は70,073人（定点あたり352.26人）で、2017年の51,814人（260.38人）より増加した。週別定点あたり患者数は、2017年52週（12月下旬）に定点あたり10人を超えて注意報レベルとなり、3週（1月中旬）には定点あたり30人を超えて警報レベルとなるとともに、最大のピーク（51.41人）を示した。その後、11週（3月中旬）には定点あたり10人を、15週（4月中旬）には定点あたり1.0人下回った。また、年末48週（11月下旬）から流行開始の目安とされる定点あたり1.0人を超えて流行期に入った。

当研究所で行った検査ではA(H1N1)pdm09、A(H3N2)型、B型（Yamagata系統）及びB型（Victoria系統）のインフルエンザウイルスを273件検出した。年初の1月にはA(H1N1)pdm09、A(H3N2)型及びB型（Yamagata系統）を同時に検出し、その後4月にかけて主にA(H3N2)型とB型（Yamagata系統）の検出が継続した。また、9月から年末までは、A(H1N1)pdm09とA(H3N2)型を同時に検出した。

患者の年齢階級別割合では、9歳以下の患者が全体の51%、14歳以下の患者が全体の69%を占めていた。

図8-1 インフルエンザの週別定点あたり患者数

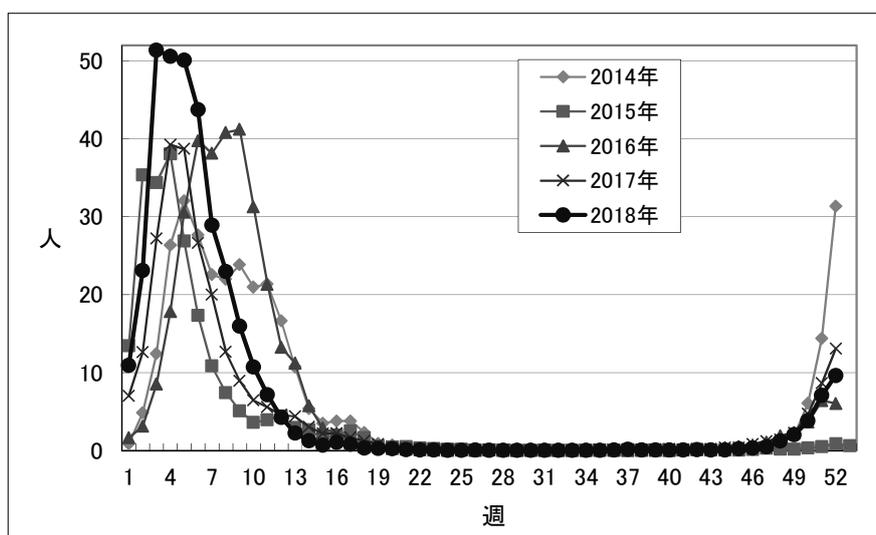
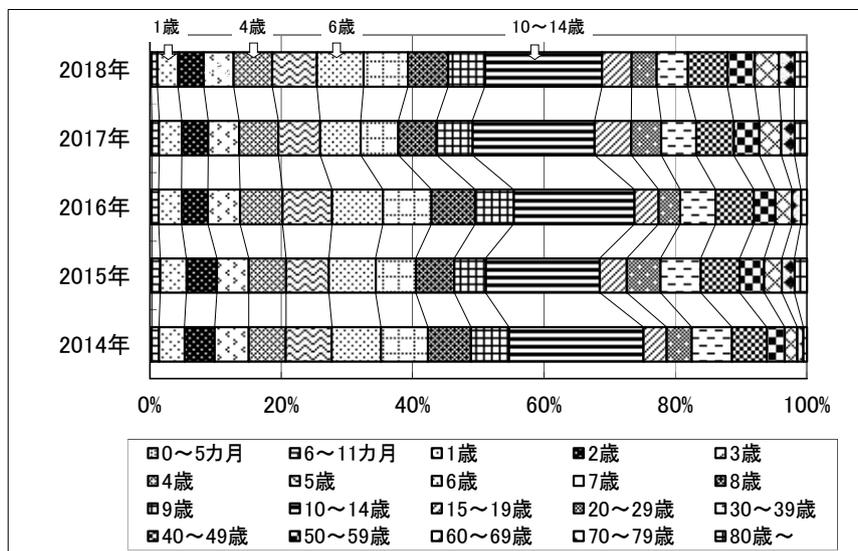


図8-2 インフルエンザ患者の年齢階級別割合



(7) RS ウイルス感染症

本疾病は2003年11月に小児科定点対象疾病となった。患者報告には検査診断が必要だが、2011年10月より迅速診断キットによる抗原検査の保険適用が拡大され、従来入院患者に加えて外来患者の乳児（1歳未満）等にも適用可能となっている。

2018年の年間患者数は4,749人（定点あたり36.85人）で、過去最大であった2017年の6,485人（50.30人）より減少した。

週別定点あたり患者数は28週（7月中旬）から増加し始め、36週（9月上旬）に最大のピーク（2.45人）を示した後、44週（11月上旬）には定点あたり1.0人を下回った。

患者の年齢階級別割合では、0歳の患者が全体の35%、1歳以下の患者が70%、2歳以下の患者が86%を占めていた。

図 9-1 RS ウイルス感染症の週別定点あたり患者数

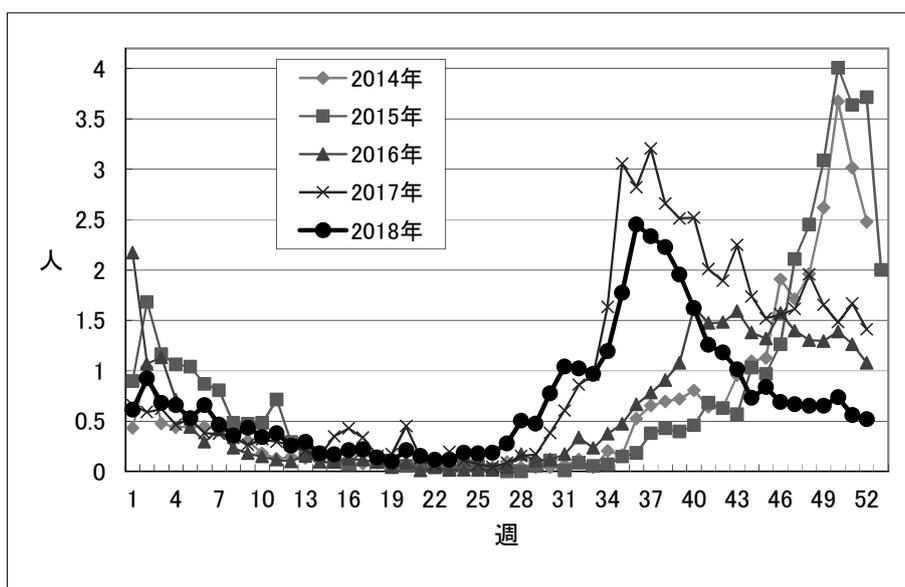
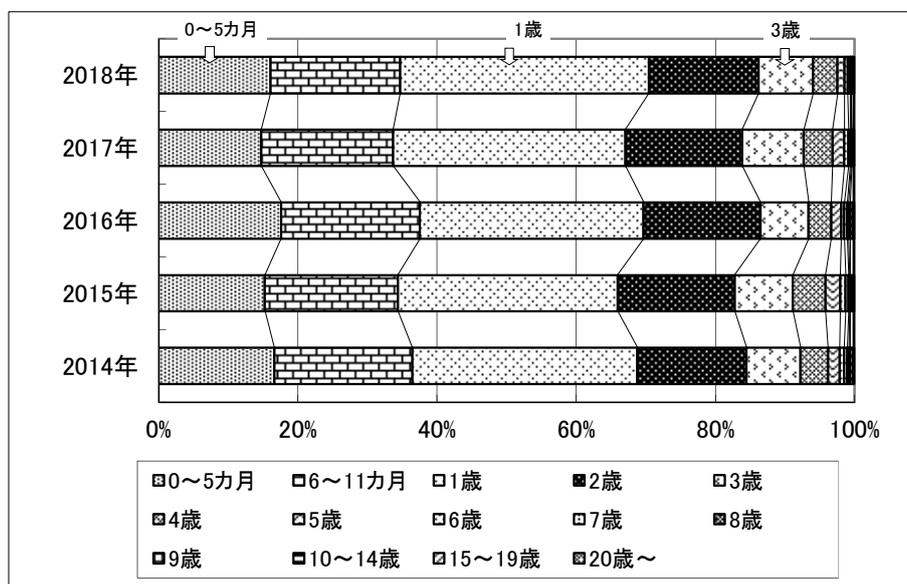


図 9-2 RS ウイルス感染症患者の年齢階級別割合



(8) 咽頭結膜熱

年間患者数は2,761人(定点あたり21.42人)で、2017年の3,737人(29.00人)より減少した。

週別定点あたり患者数は17週(4月下旬)から増加し始め、25週(6月下旬)にピーク(1.02人)を示した後、29週(7月中旬)以降は、比較的患者数が少ない状態が続いたが、44週(11月上旬)以降に再び増加した。

患者の年齢階級別割合は1歳30%、2歳15%、3歳12%、4歳11%、5歳9%の順で多く、0~5歳の患者が全体の85%、0~9歳の患者が全体の96%を占めていた。

図 10-1 咽頭結膜熱の週別定点あたり患者数

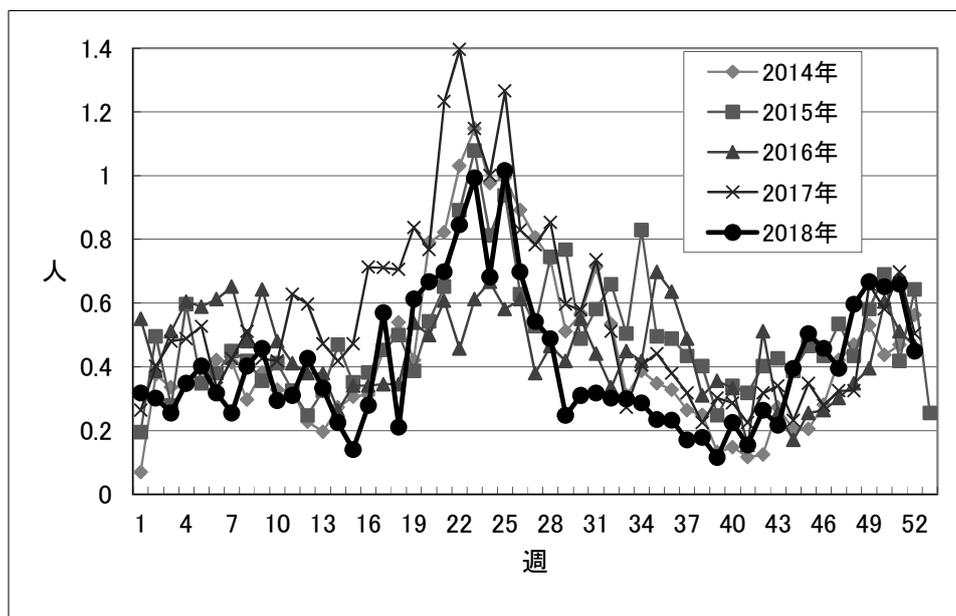
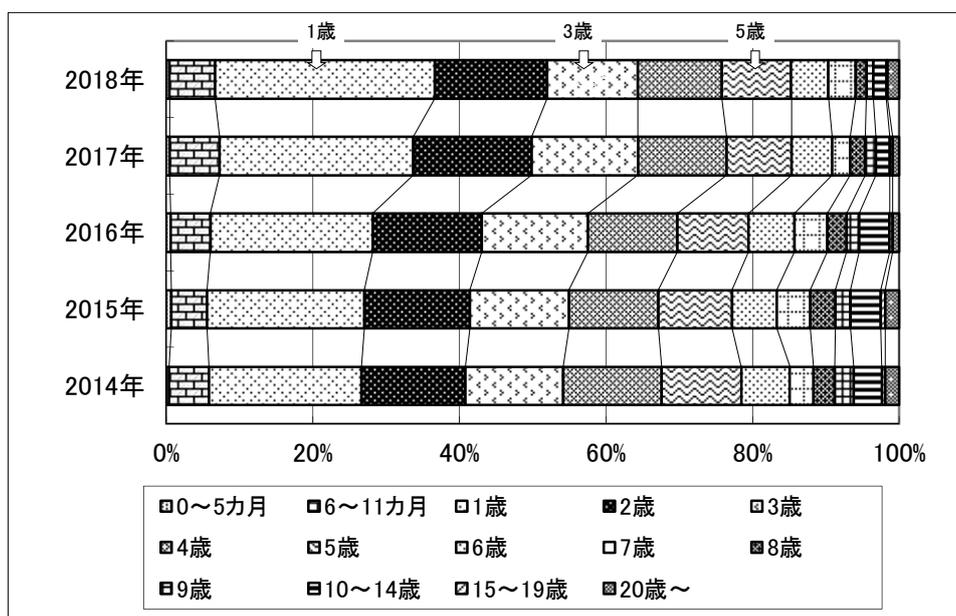


図 10-2 咽頭結膜熱患者の年齢階級別割合



(9) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

年間患者数は8,912人（定点あたり69.15人）で、2017年の9,588人（74.40人）より減少した。

週別定点あたり患者数は8週（2月下旬）と23週（6月上旬）に2.00人を超えるピークを示した後、29週（7月中旬）以降は比較的患者数が少ない状態が続いたが、43週（10月下旬）以降に再び増加した。

患者の年齢階級別割合は5歳15%、4歳13%、6歳13%、7歳10%、3歳10%の順で多く、1～9歳の患者が全体の84%、1～14歳の患者が全体の95%を占めていた。

図 11-1 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の週別定点あたり患者数

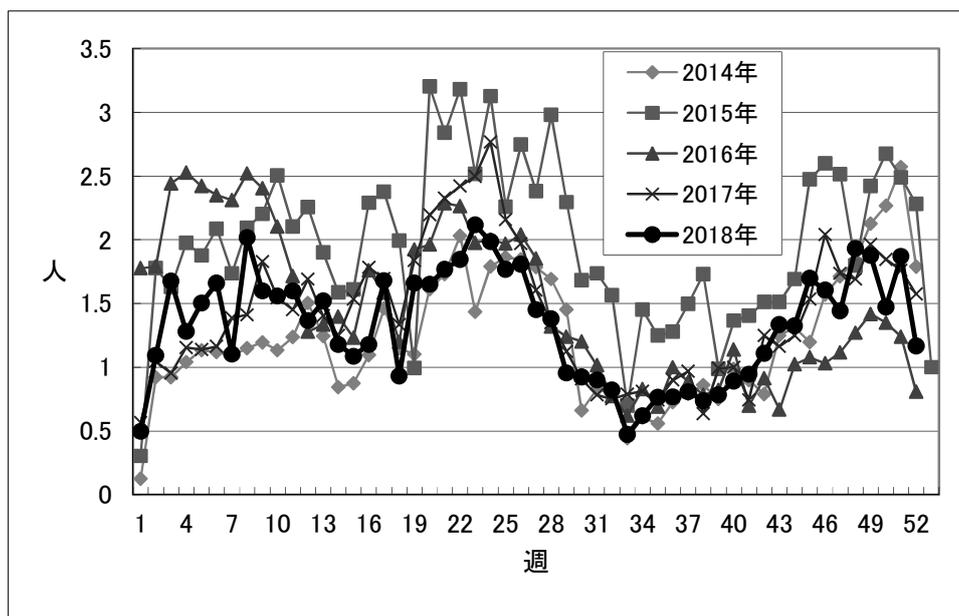
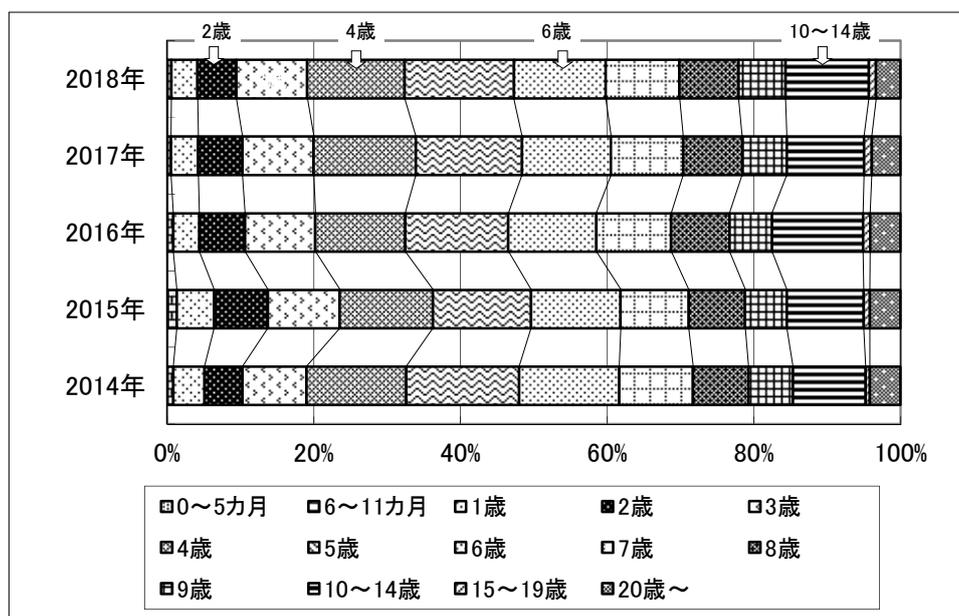


図 11-2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎患者の年齢階級別割合



(10) 感染性胃腸炎

年間患者数は38,629人（定点あたり299.78人）で、2017年の41,139人（319.22人）より減少した。

週別定点あたり患者数は19週（5月上旬）から26週（6月下旬）に7.2～9.0人とやや多くなったが、その後、秋期に向けて減少し、年末48週（11月下旬）以降に再び増加した。

患者の年齢階級別割合は1歳14%、2歳11%、3歳10%、4歳10%、3歳10%、5歳9%の順で多く、0～5歳の患者が全体の61%、0～9歳の患者が全体の80%を占めていた。

図12-1 感染性胃腸炎の週別定点あたり患者数

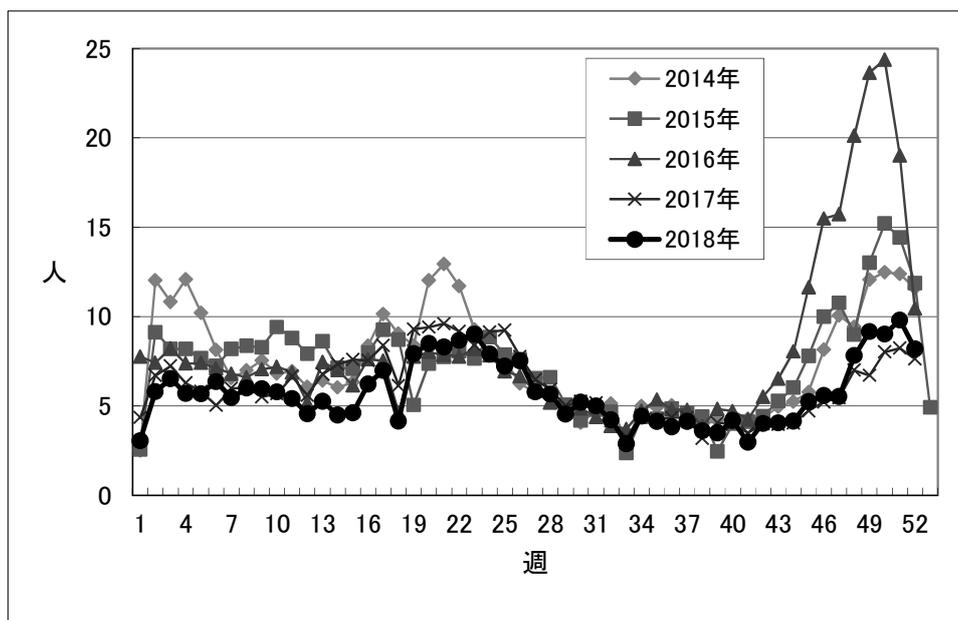
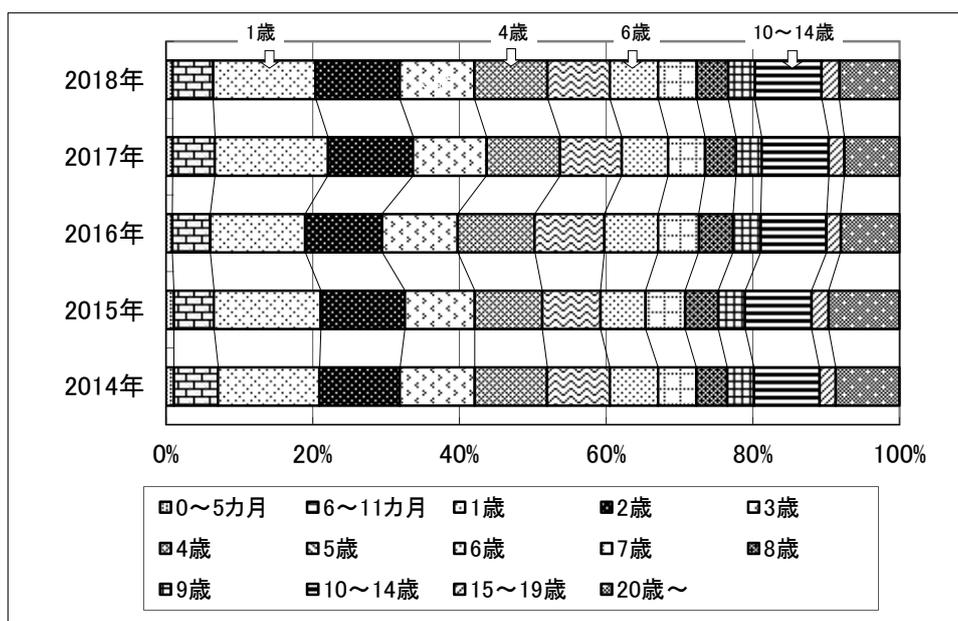


図12-2 感染性胃腸炎患者の年齢階級別割合



(11) 水痘

年間患者数は2,421人（定点あたり18.79人）で、2017年の2,255人（17.49人）より増加した。

2014年10月1日から水痘ワクチンが定期接種化され、これに先立って、2014年9月19日から24時間以上の入院を要した水痘症例が全数届出対象となった。

2015年以降の小児科定点からの週別定点あたり患者数は、ワクチン接種の効果によるものか、以前よりも少なく、小さい変動で推移している。

患者の年齢階級別割合は6歳13%、7歳12%、5歳11%、4歳10%、8歳10%の順で多く、3～8歳の患者が全体の64%を占めていた。10歳以上の患者割合が増加傾向にある。

図 13-1 水痘の週別定点あたり患者数

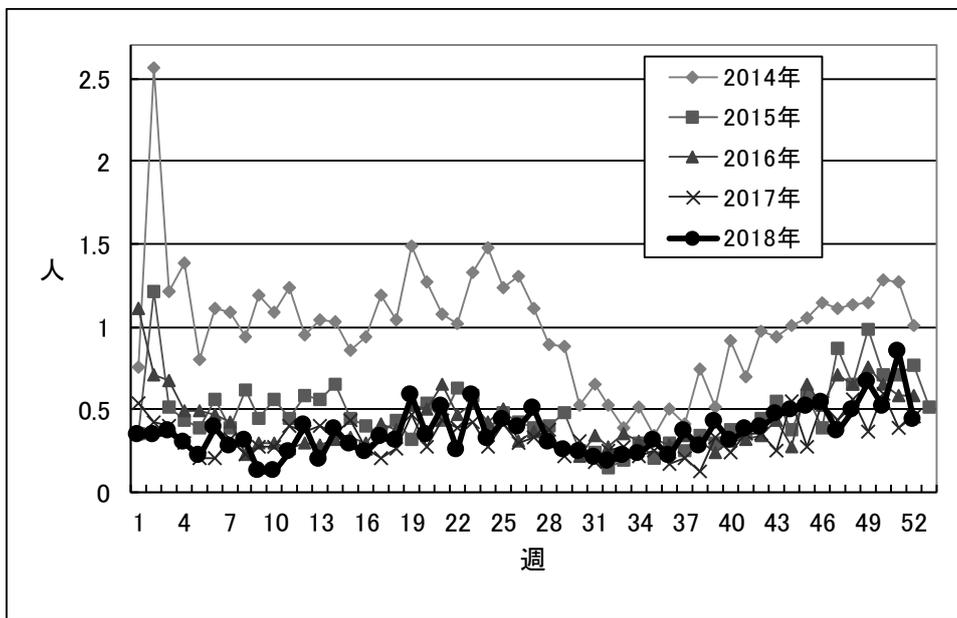
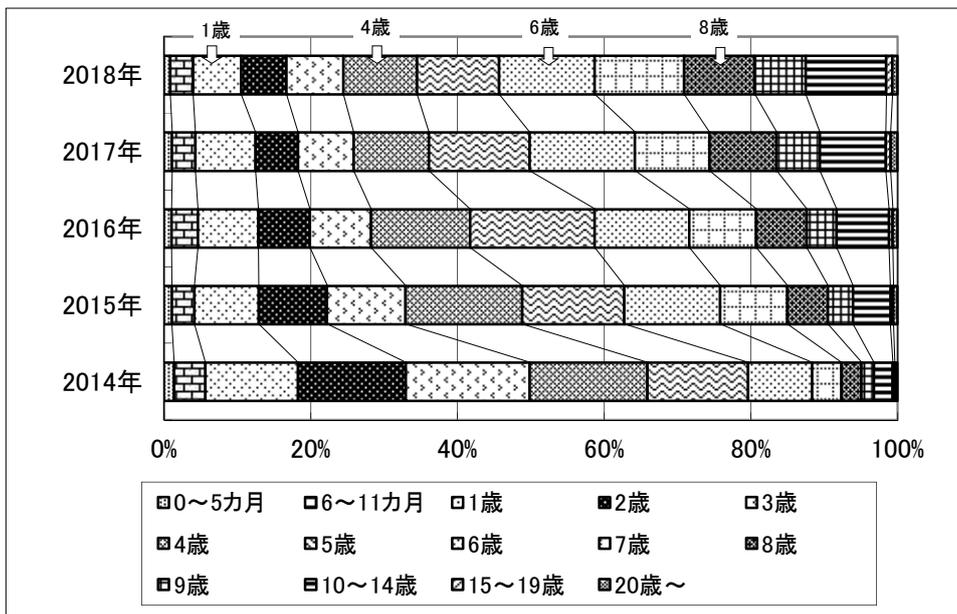


図 13-2 水痘患者の年齢階級別割合



(12) 手足口病

年間患者数は3,268人（定点あたり25.36人）で、2017年の患者数15,180人（117.88人）より大幅に減少した。

週別定点あたり患者数は30週（7月下旬）に小さなピーク（1.58人）を示した後、46週（11月中旬）まで、0.60人以上の患者数で推移した。

患者の年齢階級別割合は1歳28%、2歳23%、3歳16%、4歳10%の順で多く、0～5歳の患者が全体の90%を占めていた。

図 14-1 手足口病の週別定点あたり患者数

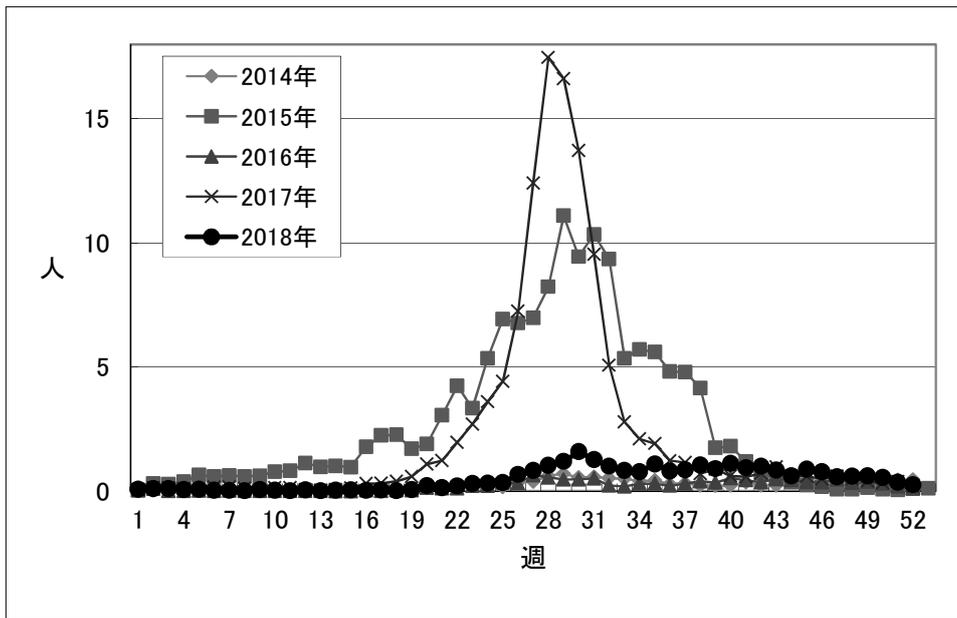
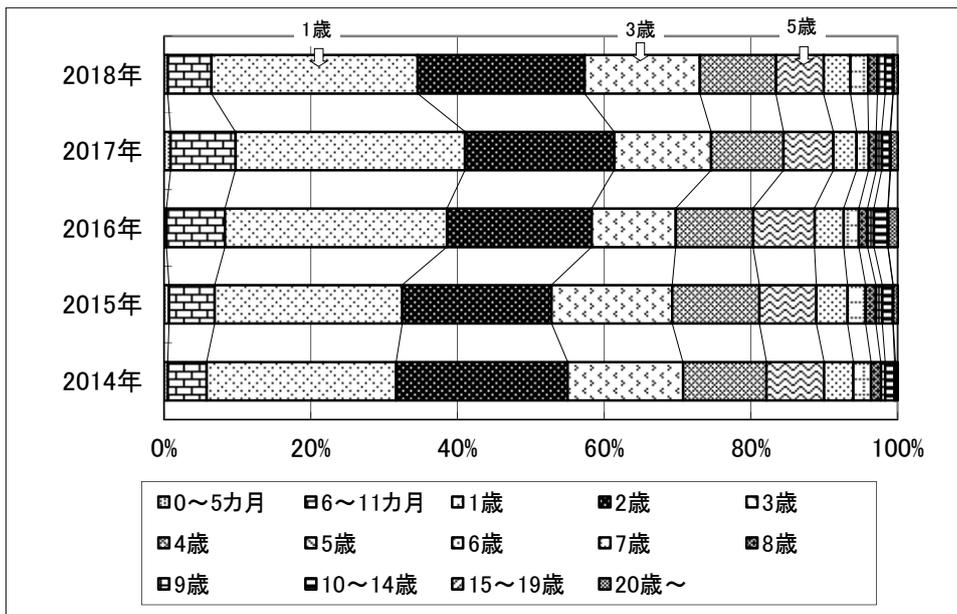


図 14-2 手足口病患者の年齢階級別割合



(13) 伝染性紅斑

年間患者数は600人（定点あたり4.66人）で、2017年の556人（4.32人）より増加した。

週別定点あたり患者数は45週（11月上旬）から増加し始め、49週（12月上旬）にピーク（0.53人）を示した。

患者の年齢階級別割合は5歳18%、6歳16%、4歳15%、3歳11%、7歳10%の順で多く、3～7歳の患者が全体の69%を占めていた。

図 15-1 伝染性紅斑の週別定点あたり患者数

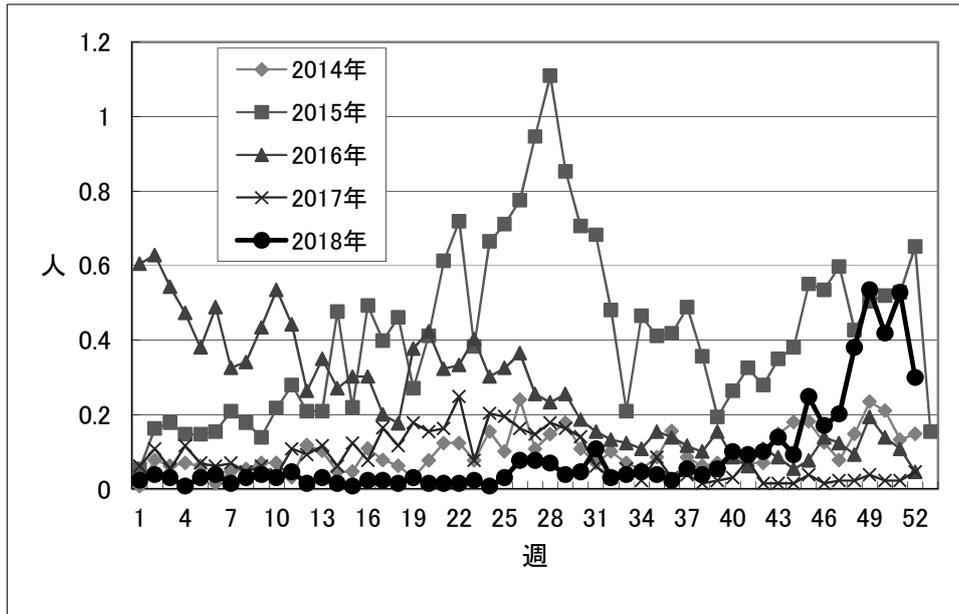
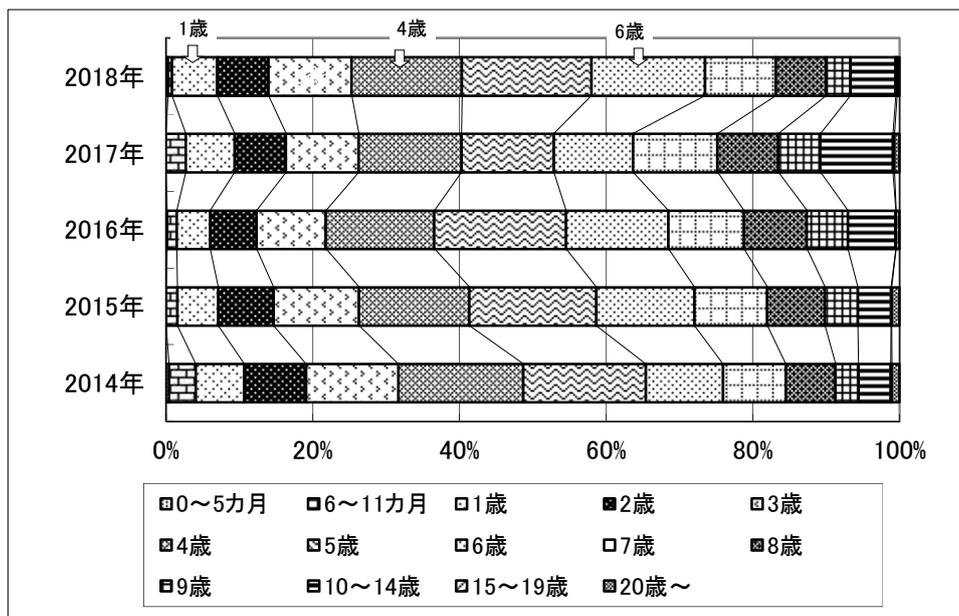


図 15-2 伝染性紅斑患者の年齢階級別割合



(14) 突発性発しん

年間患者数は2,359人（定点あたり18.31人）で、2017年の2,542人（19.73人）よりわずかに減少した。年間患者数の経年的推移に多少のバラツキはみられるが、2000年以降緩やかな減少傾向を続けている。本疾病は1年を通じて患者が発生し、季節性が明瞭でない。週別定点あたり患者数は、0.18～0.58人の中で推移した。

患者の年齢階級別割合は0歳が37%、1歳が49%、2歳が10%を占めていた。

図 16-1 突発性発しんの週別定点あたり患者数

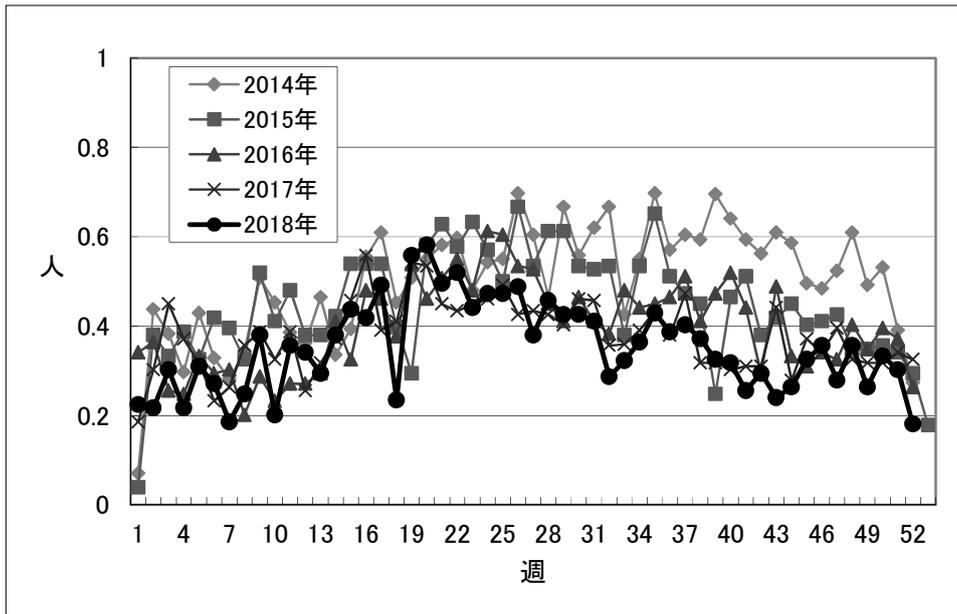
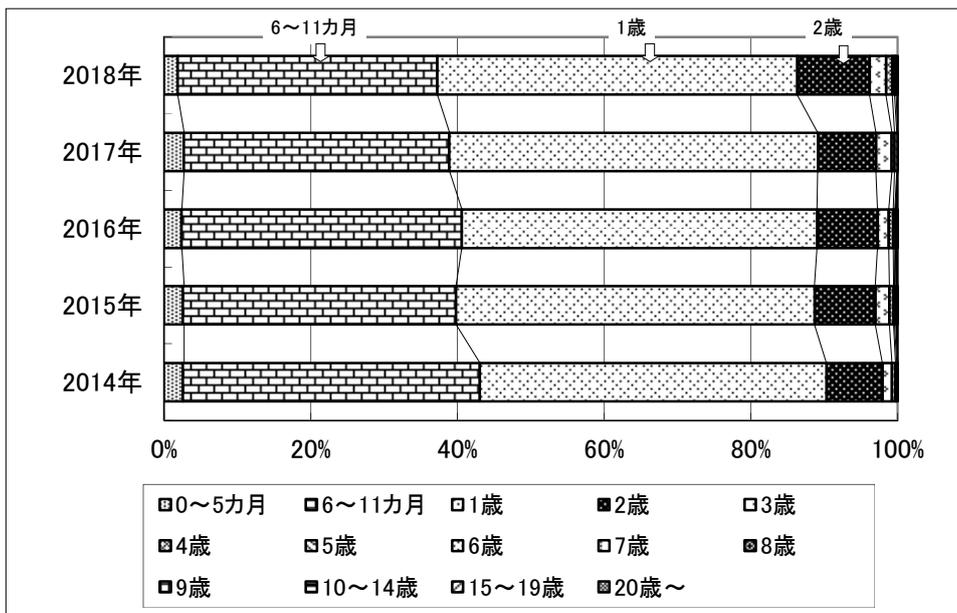


図 16-2 突発性発しん患者の年齢階級別割合



(15) ヘルパンギーナ

年間患者数は2,830人（定点あたり21.96人）で、2017年の3,338人（25.92人）より減少した。

週別定点あたり患者数は24週（6月中旬）頃から増加が始まり、31週（8月上旬）にピーク（2.70人）を示した後減少に転じ、46週（11月中旬）頃に終息した。

患者の年齢階級別割合は1歳27%、2歳22%、3歳14%、4歳12%、0歳9%の順で多く、0～5歳の患者が全体の91%を占めていた。

図 17-1 ヘルパンギーナの週別定点あたり患者数

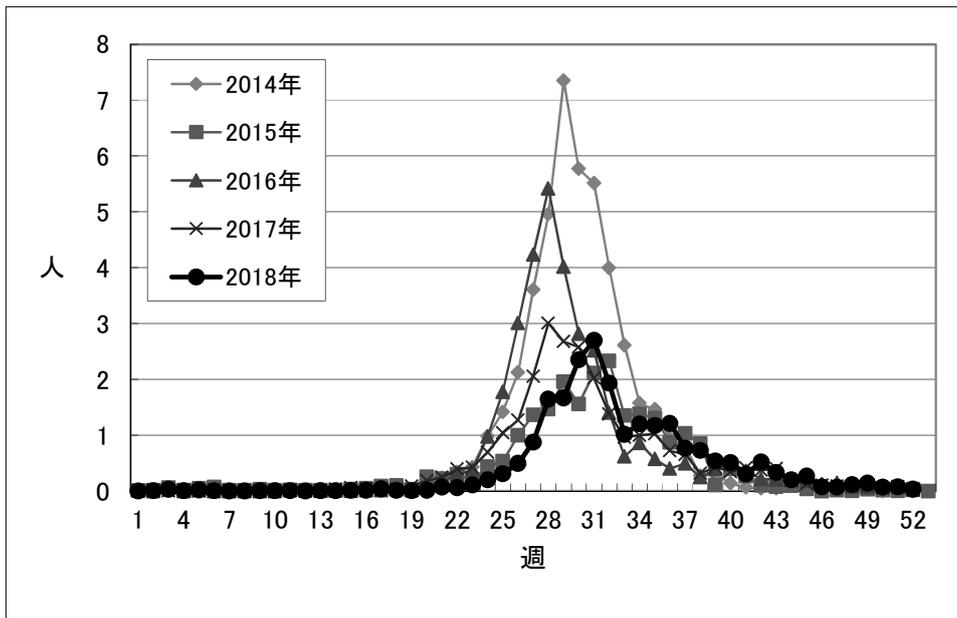
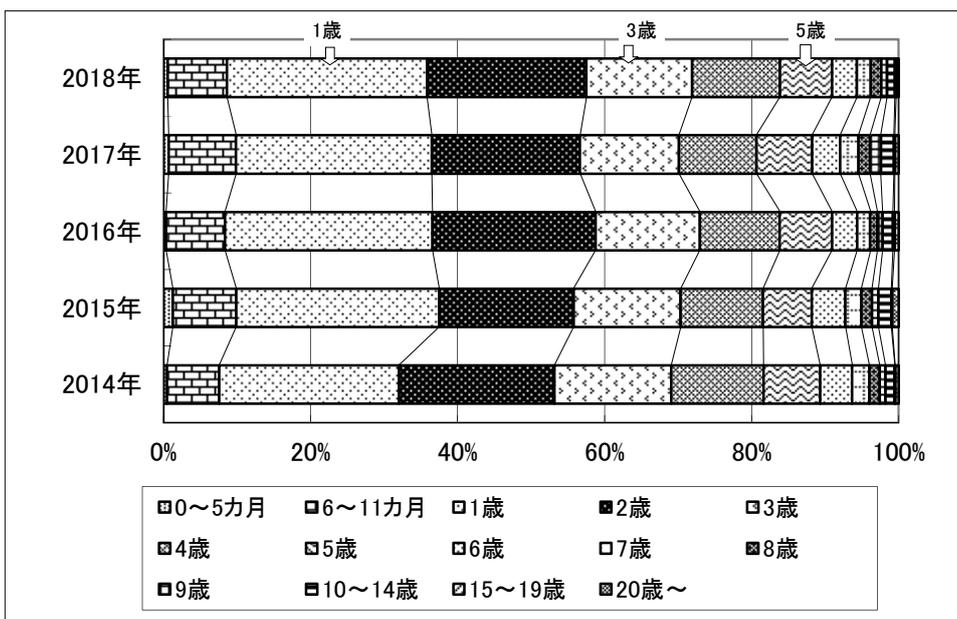


図 17-2 ヘルパンギーナ患者の年齢階級別割合



(16) 流行性耳下腺炎

年間患者数は647人（定点あたり5.02人）で、2017年の3,395人（26.34人）より大きく減少した。

週別定点あたり患者数は0.02～0.20人の間で推移した。

患者の年齢階級別割合は5歳16%、4歳13%、8歳11%、3歳11%、6歳10%の順で多く、3～8歳の患者が全体の70%を占めていた。

図 18-1 流行性耳下腺炎の週別定点あたり患者数

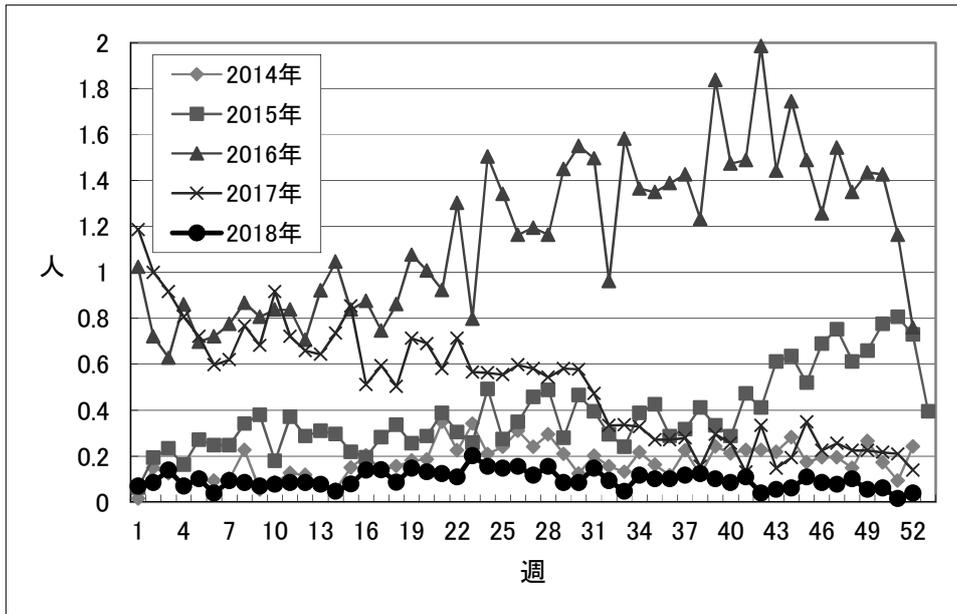
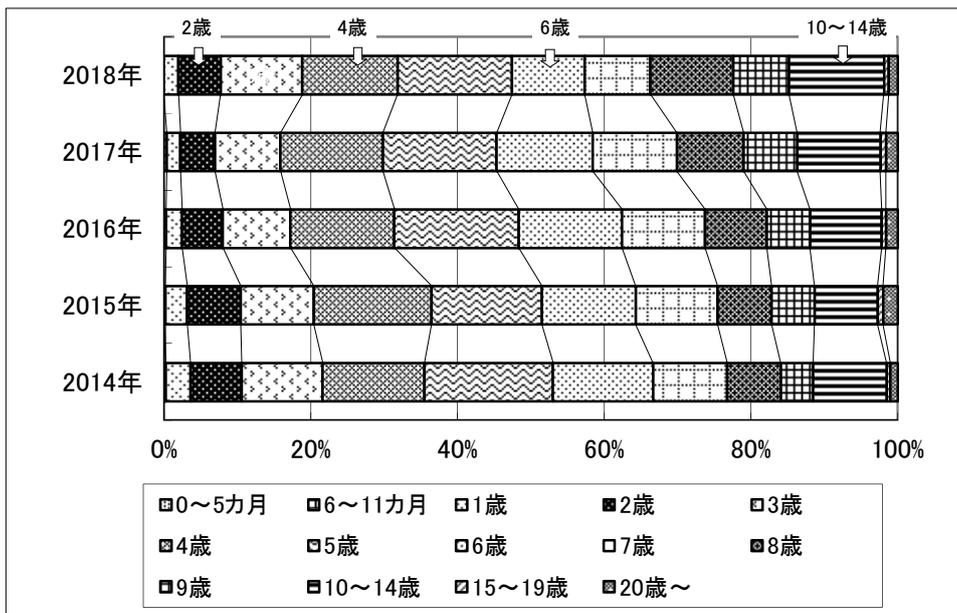


図 18-2 流行性耳下腺炎患者の年齢階級別割合



(17) 急性出血性結膜炎

本疾病は、2007年以降患者数の少ない状態で推移しているが、2018年の年間患者数は34人(定点あたり0.97人)で、2017年の17人(0.49人)より倍増した。

患者の年齢階級別割合は30歳代が21%と最も多く、次いで10~14歳と40歳代が各々15%を占めていた。

図 19-1 急性出血性結膜炎の週別定点あたり患者数

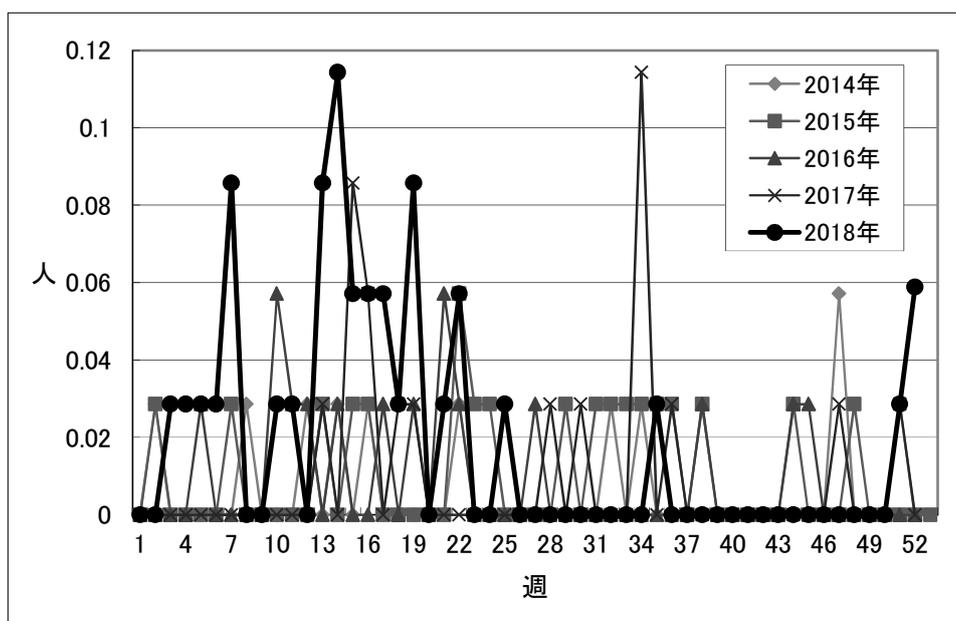
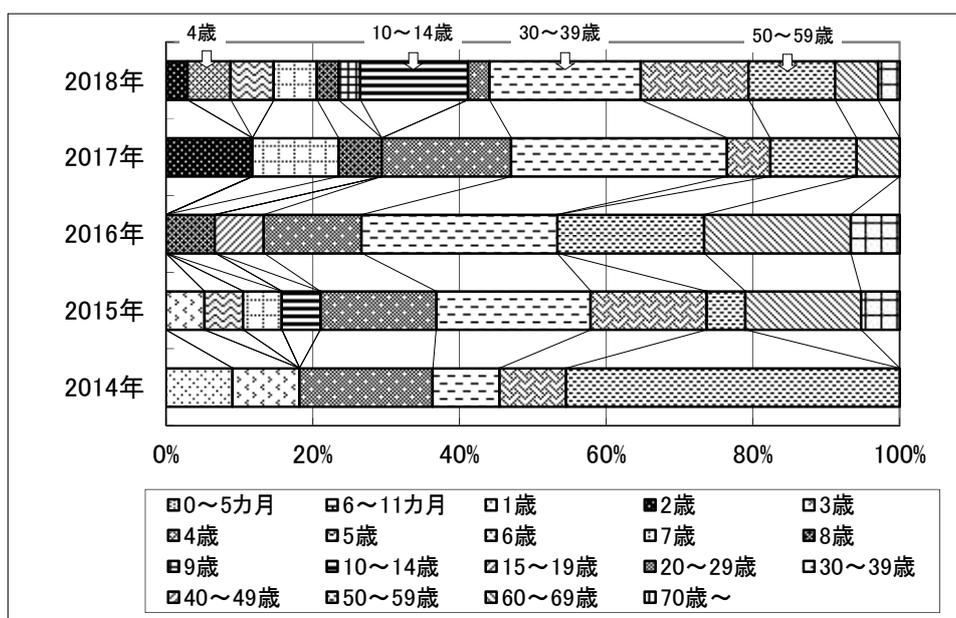


図 19-2 急性出血性結膜炎患者の年齢階級別割合



(18) 流行性角結膜炎

年間患者数は1,258人(定点あたり35.98人)で、2017年の858人(24.51人)より増加した。週別定点あたり患者数は、19週(5月上旬)と49週(12月上旬)にピーク(1.51人)を示した。

患者の年齢階級別割合は0~9歳29%、30歳代20%がやや多いが、各年齢層で患者が発生していた。

図 20-1 流行性角結膜炎の週別定点あたり患者数

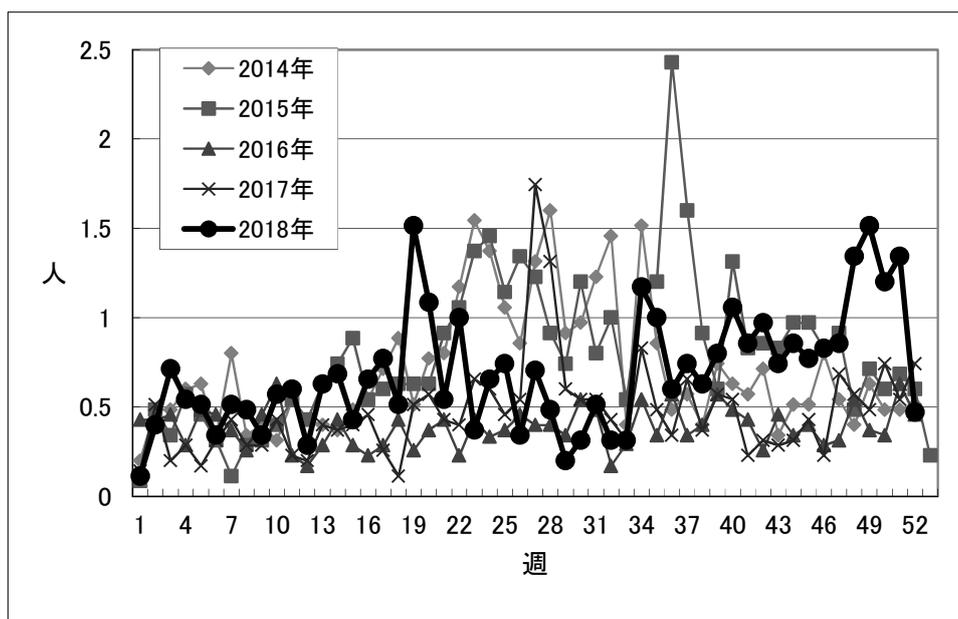
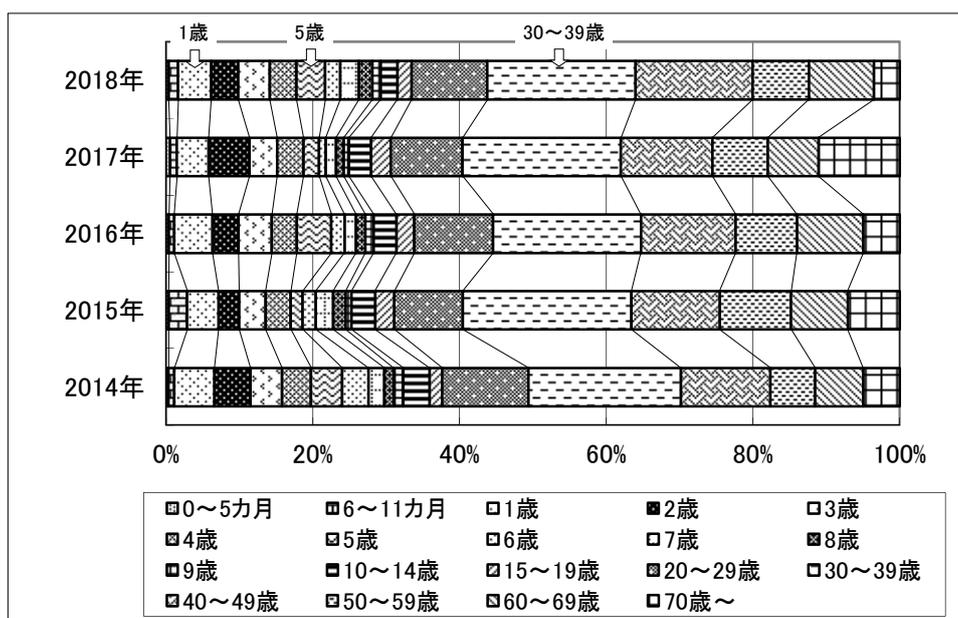


図 20-2 流行性角結膜炎患者の年齢階級別割合



(19) 細菌性髄膜炎（インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く）
 年間患者数は37人（定点あたり2.65人）で、2017年の32人（2.34人）より増加した。
 患者の年齢分布は70歳以上が19人（51%）、40～44歳、55～59歳、60～64歳及び65～69歳が各3人（8%）の順で多くなっていた。

図 21-1 細菌性髄膜炎の週別定点あたり患者数

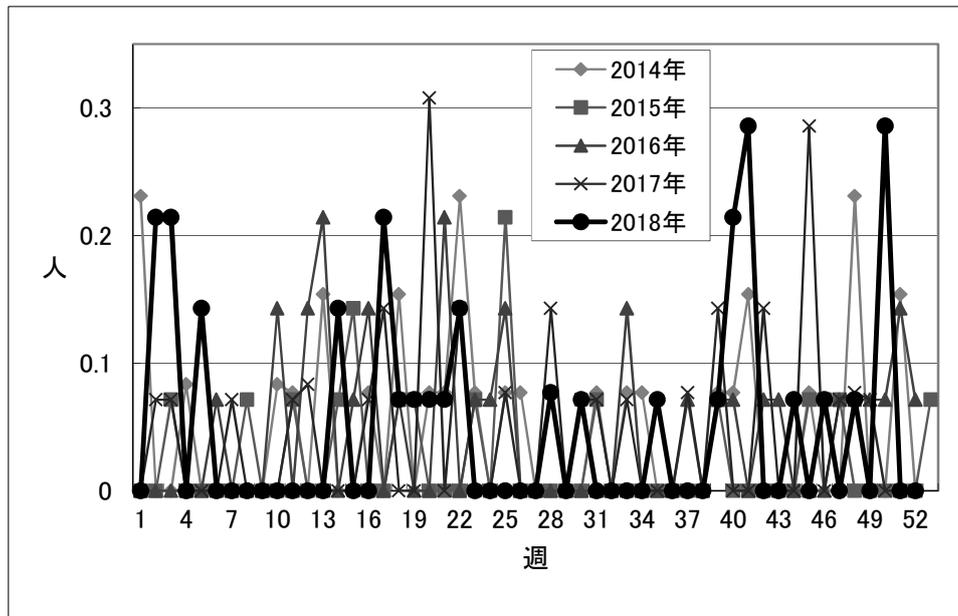
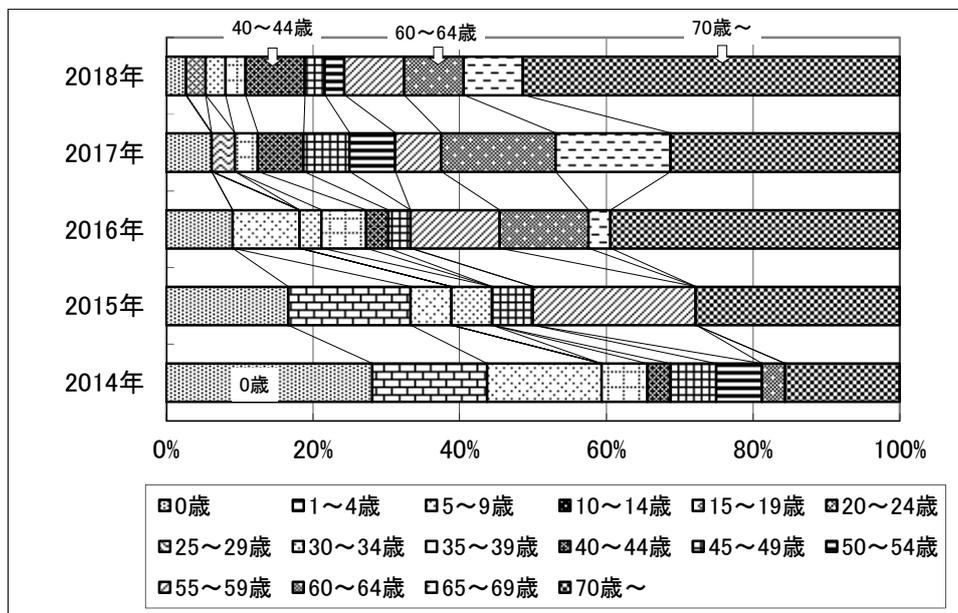


図 21-2 細菌性髄膜炎患者の年齢階級別割合



(20) 無菌性髄膜炎

年間患者数は2004年以降20～61人の範囲で増減を繰り返しており、2018年は32人（定点あたり2.29人）で、2017年の50人（3.62人）より減少した。

患者の年齢分布は70歳以上が8人（25%）、15～19歳7人（22%）、5～9歳5人（16%）の順で多くなっていた。

図 22-1 無菌性髄膜炎の週別定点あたり患者数

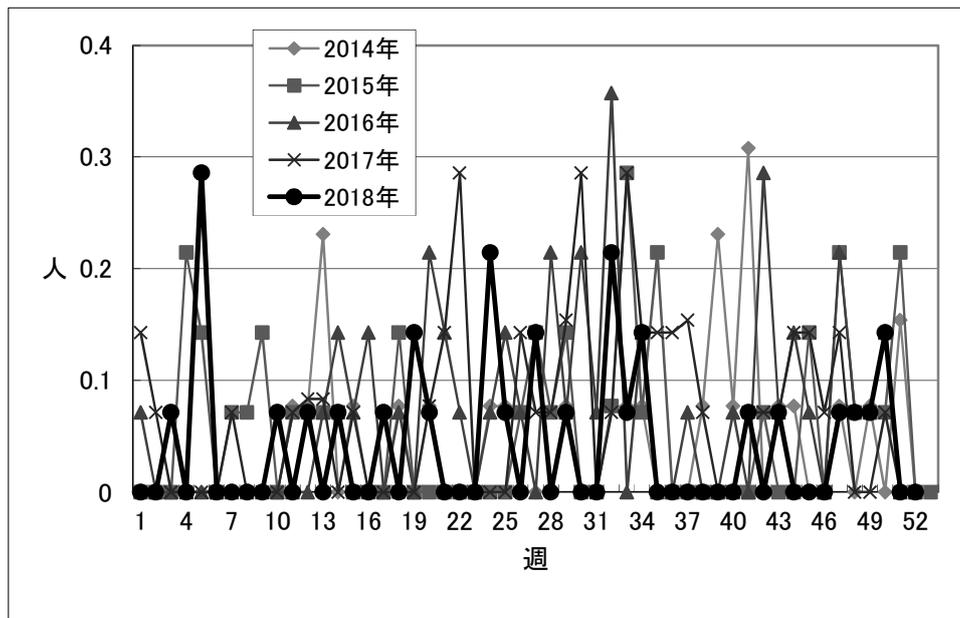
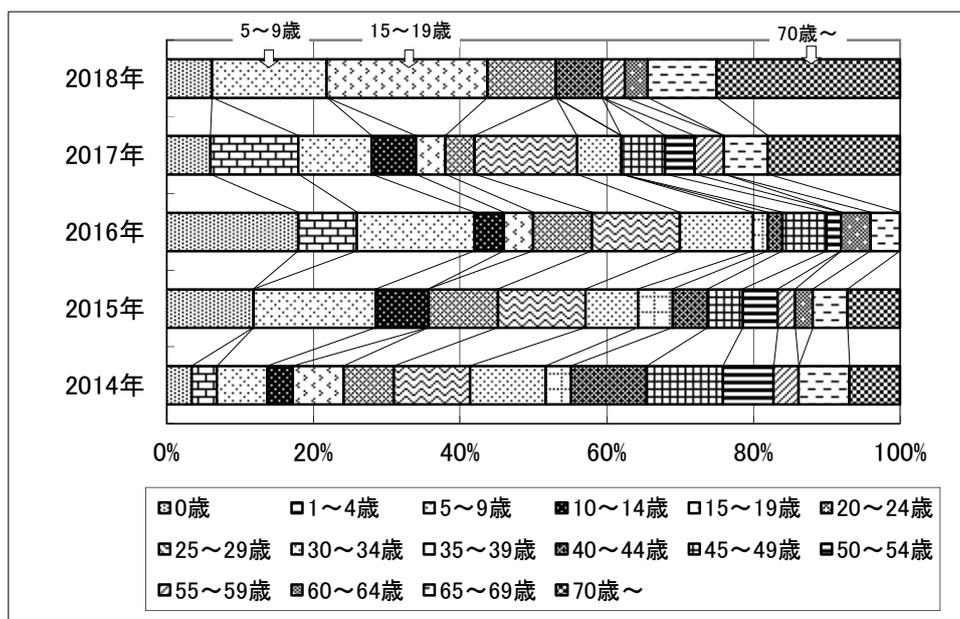


図 22-2 無菌性髄膜炎患者の年齢階級別割合



(21) マイコプラズマ肺炎

年間患者数は87人（定点あたり6.24人）で、2017年の170人（12.34人）より減少し、2014年と同レベルとなった。

患者の年齢階級別割合は5～9歳29%、10～14歳18%、1～4歳17%、70歳以上14%の順で多く、15歳未満の患者が全体の64%を占めていた。

図 23-1 マイコプラズマ肺炎の週別定点あたり患者数

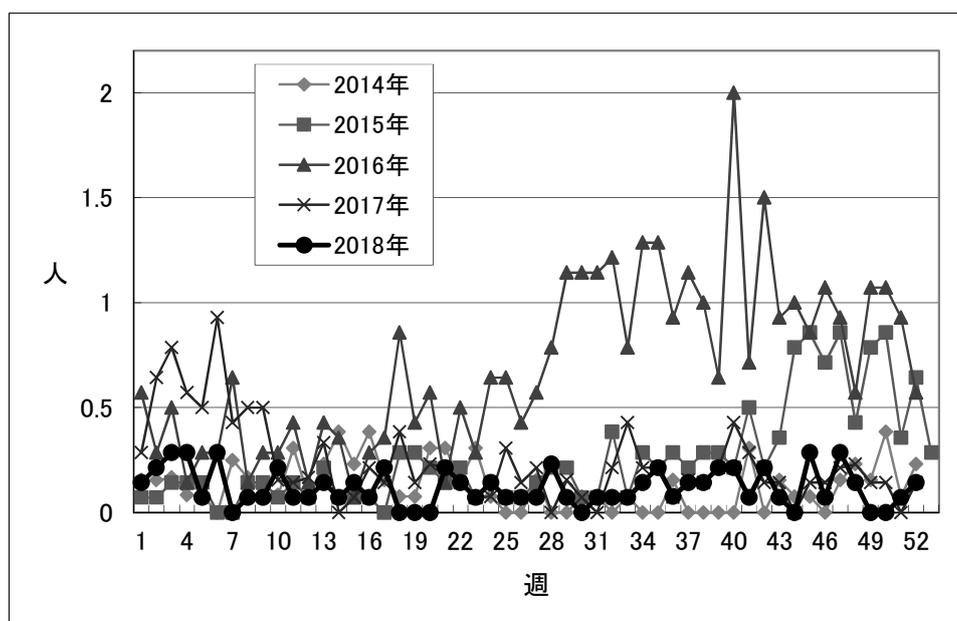
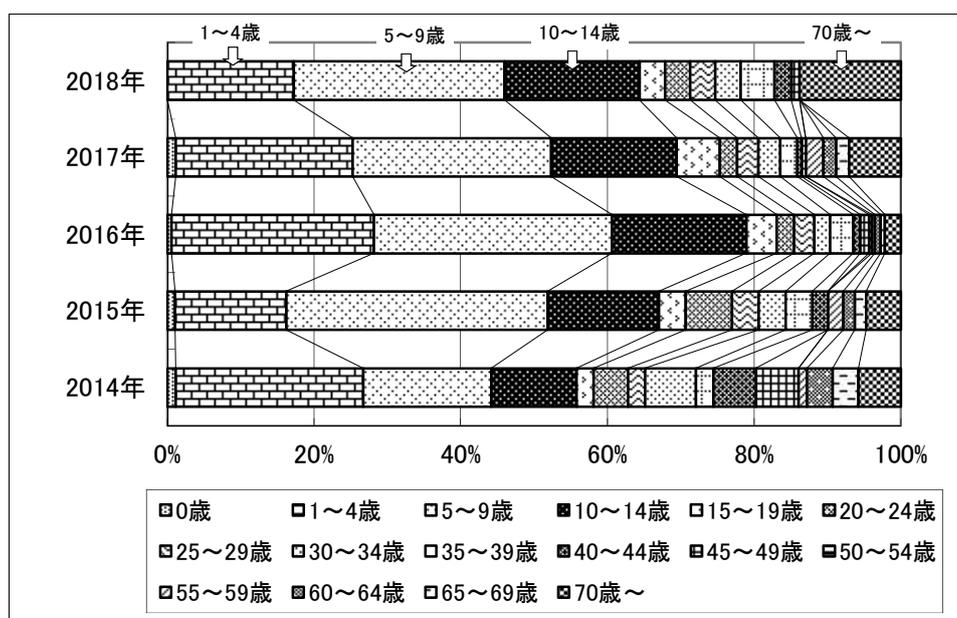


図 23-2 マイコプラズマ肺炎患者の年齢階級別割合



(22) クラミジア肺炎（オウム病を除く）

年間患者数は2人（定点あたり0.14人）で、2017年の11人（0.79人）より減少し、2014年の発生なし、2015年、2016年の各1人に近いレベルとなった。

患者の年齢分布は70歳以上が2人となっていた。

図 24-1 クラミジア肺炎（オウム病を除く）の週別定点あたり患者数

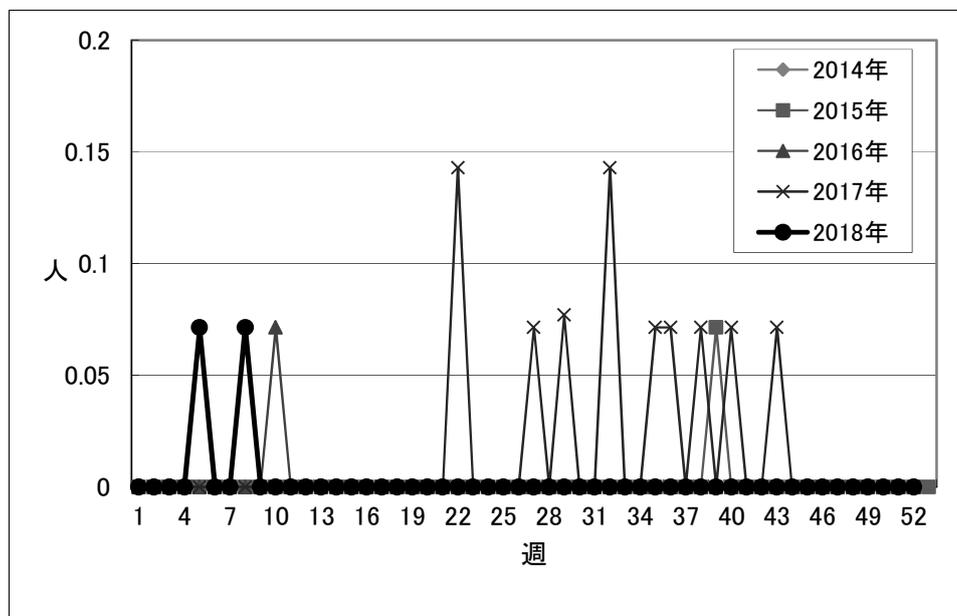
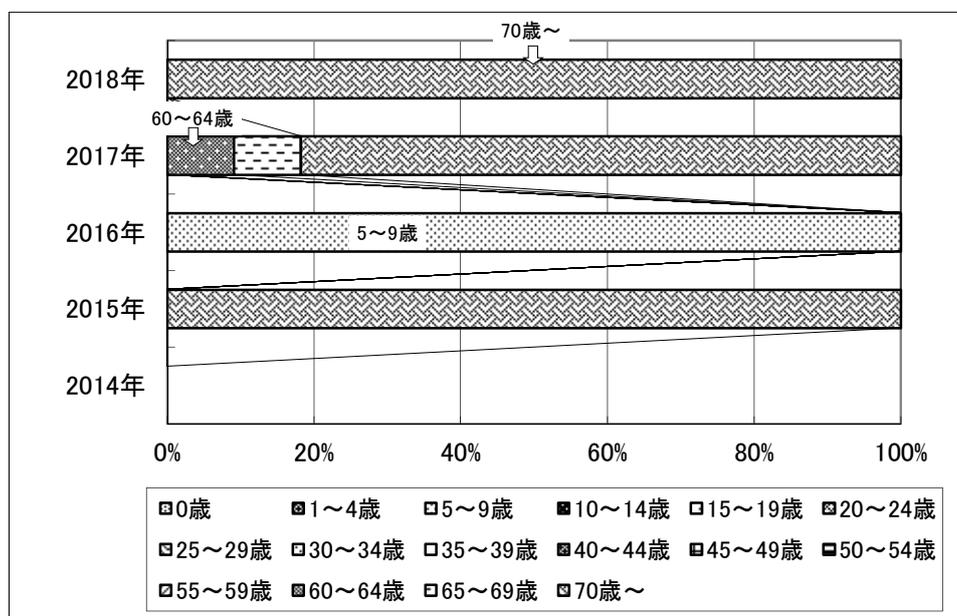


図 24-2 クラミジア肺炎（オウム病を除く）患者の年齢階級別割合



(23) 感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る）

本疾病は2013年10月24日より基幹定点対象疾病に追加された。2018年の年間患者数は117人（定点あたり8.36人）で、2017年の164人（12.09人）より減少した。

週別定点あたり患者数は8週（2月下旬）にピーク（1.14人）を示し、4週（1月下旬）から20週（5月中旬）まで、患者数の比較的多い状態で推移した。

患者の年齢階級別割合は1～4歳62%、5～9歳21%、0歳10%の順で多くなった。

図 25-1 感染性胃腸炎（病原体がロタウイルス）の週別定点あたり患者数

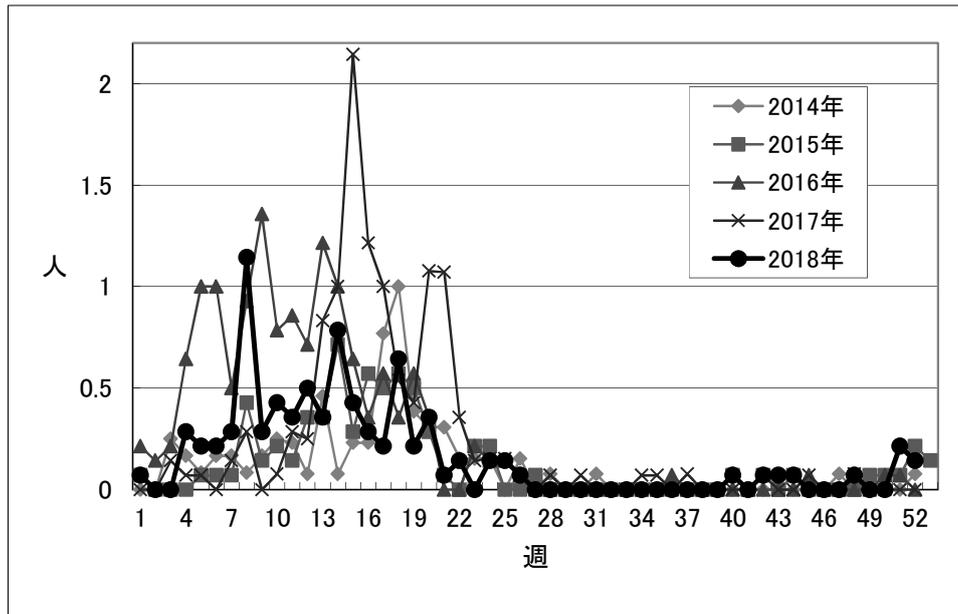
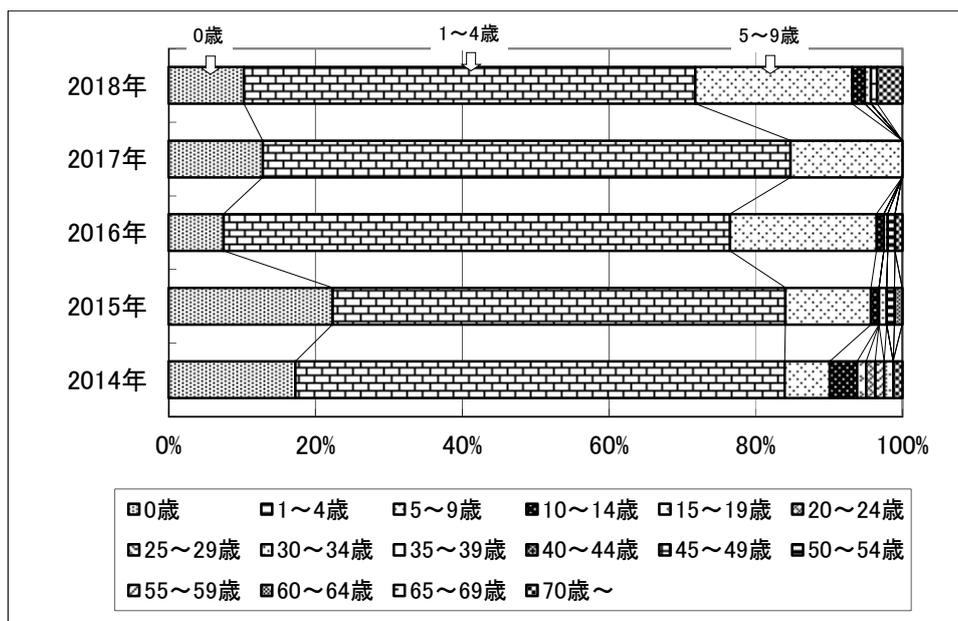


図 25-2 感染性胃腸炎（病原体がロタウイルス）患者の年齢階級別割合



(24) 性器クラミジア感染症

年間患者数は1,077人（定点あたり23.45人）で、2017年の1,025人（22.28人）よりわずかに増加した。患者の性別割合は、男性52%、女性48%であった。

患者の性別年齢階級別割合では、男性は20～24歳25%、25～29歳23%、30～34歳14%、35～39歳12%の順で多く、20～44歳の患者が男性患者の82%を占めていた。女性は20～24歳44%、25～29歳22%、30～34歳13%、15～19歳10%の順で多く、15～34歳の患者が女性患者の88%を占めていた。

図 26-1 性器クラミジア感染症の月別定点あたり患者数

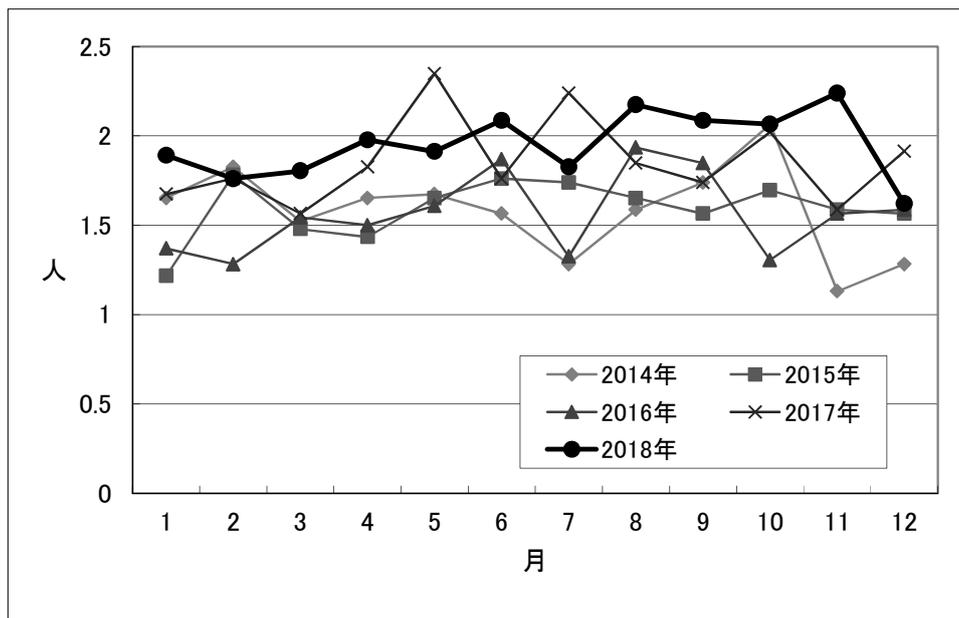


図 26-2 性器クラミジア感染症患者の性別割合

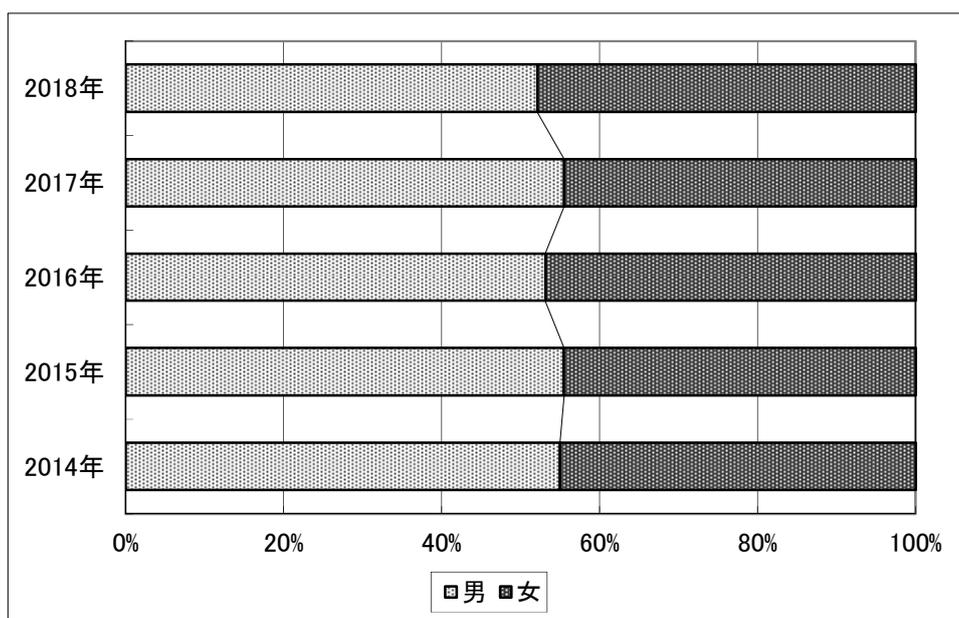


図 26-3 性器クラミジア感染症患者の年齢階級別割合（男性）

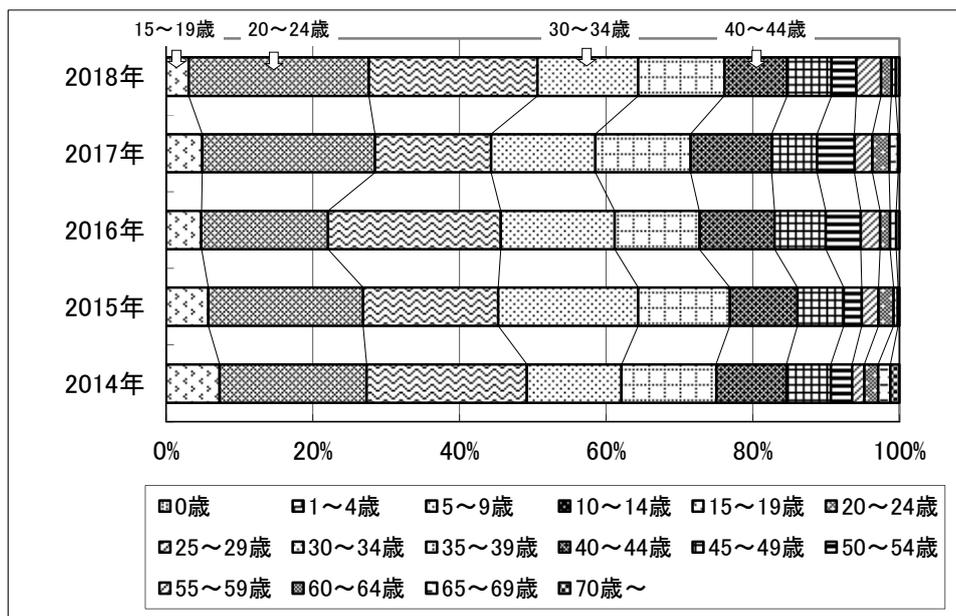
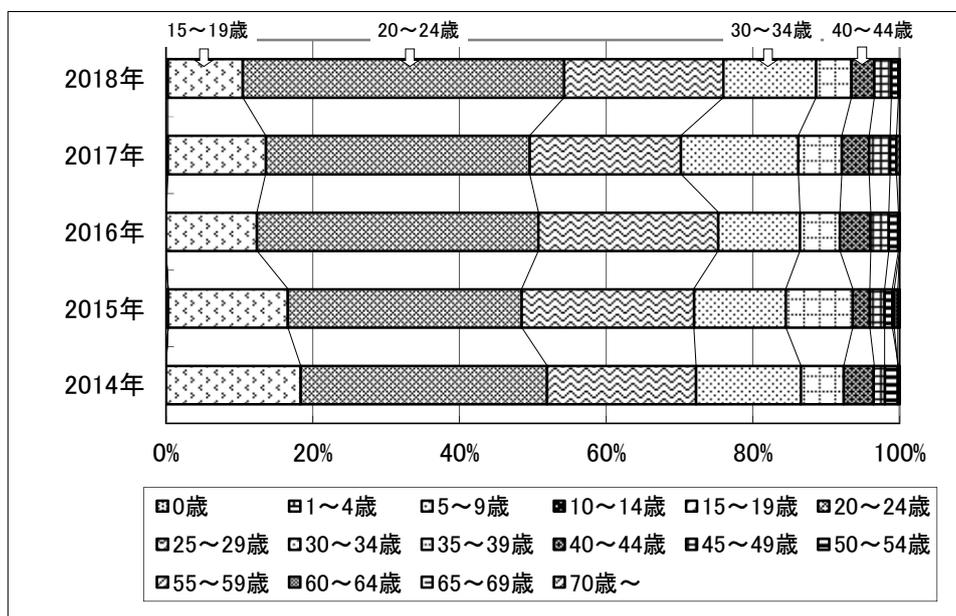


図 26-4 性器クラミジア感染症患者の年齢階級別割合（女性）



(25) 性器ヘルペスウイルス感染症

年間患者数は376人（定点あたり8.19人）で、2017年の304人（定点あたり6.61人）より増加した。患者の性別割合は、男性43%、女性57%と、男性の割合が増加傾向にある。

患者の性別年齢階級別割合では、男性は30～34歳17%、40～44歳15%、20～24歳12%、35～39歳11%の順で多く、20～44歳の患者が男性患者の65%を占めていた。女性は20～24歳17%、25～29歳13%、30～34歳12%、40～44歳12%の順で多く、20～44歳の患者が女性患者の63%を占めていた。

図 27-1 性器ヘルペスウイルス感染症の月別定点あたり患者数

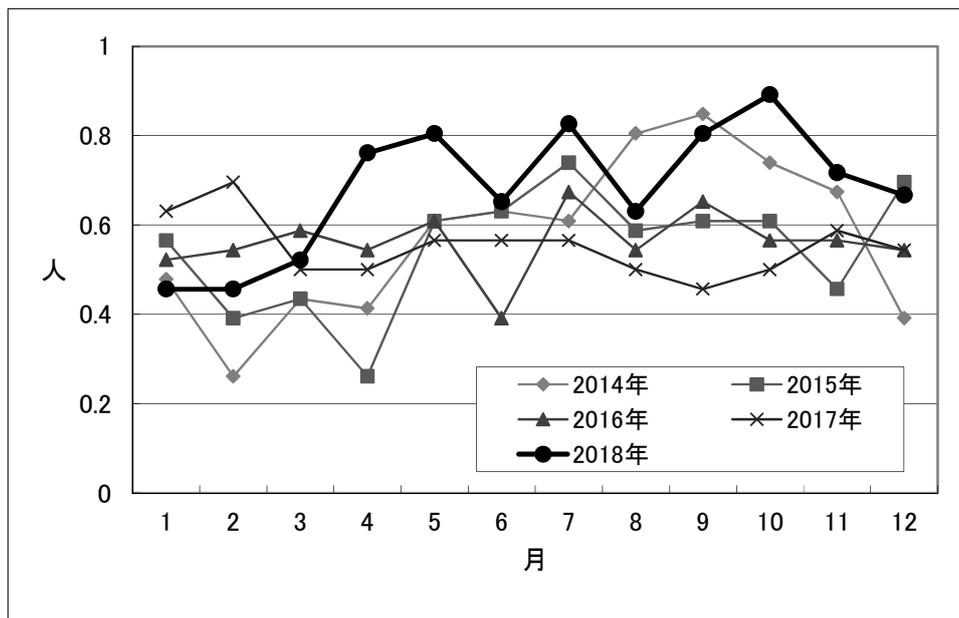


図 27-2 性器ヘルペスウイルス感染症患者の性別割合

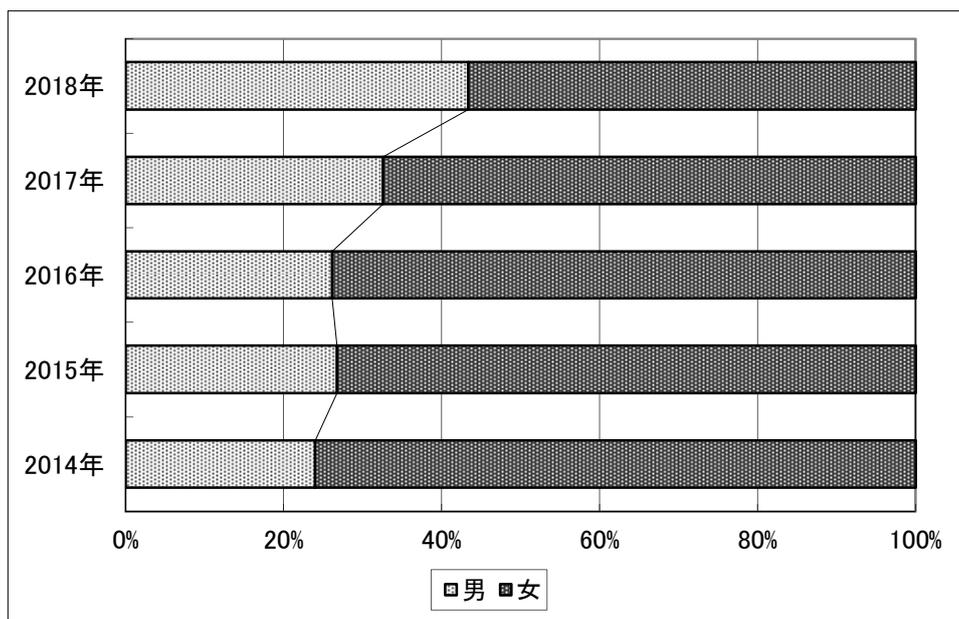


図 27-3 性器ヘルペスウイルス感染症患者の年齢階級別割合（男性）

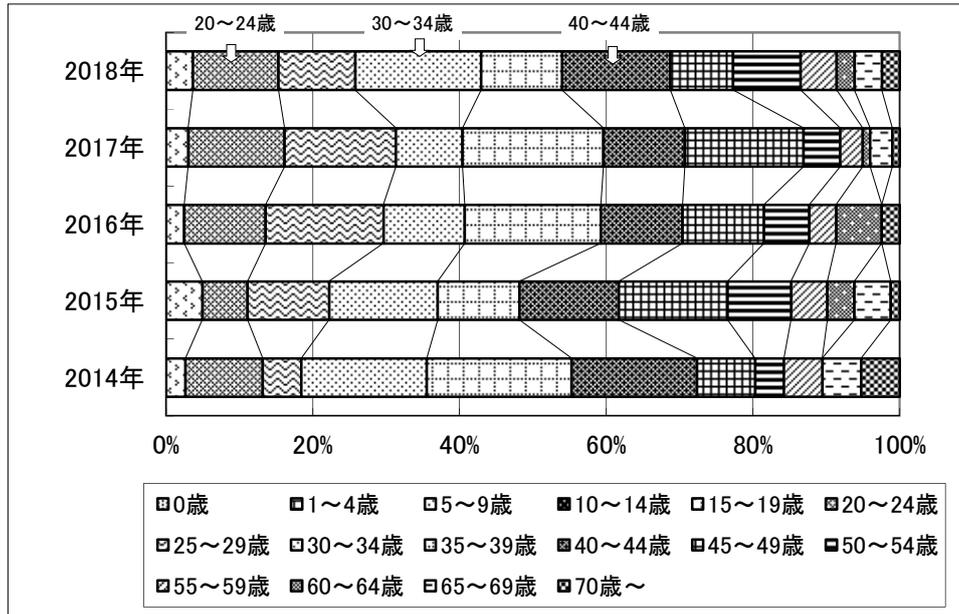
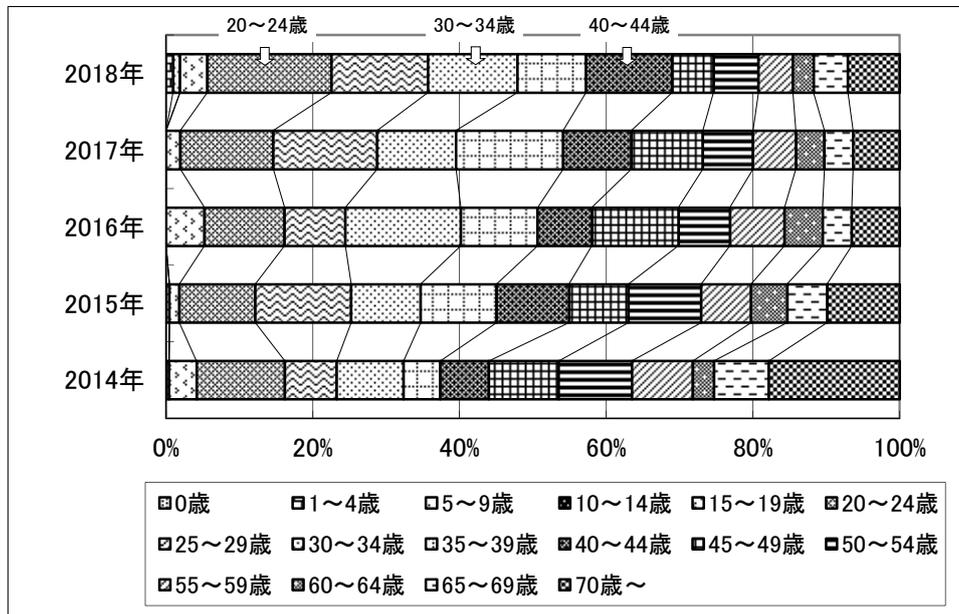


図 27-4 性器ヘルペスウイルス感染症患者の年齢階級別割合（女性）



(26) 尖圭コンジローマ

年間患者数は192人（定点あたり4.18人）で、2017年の203人（4.41人）よりわずかに減少した。患者の性別割合は、男性65%、女性35%であった。

患者の性別年齢階級別割合では、男性は25～29歳18%、40～44歳16%、20～24歳、30～34歳及び35～39歳各14%の順で多く、20～49歳の患者が男性患者の85%を占めていた。女性は20～24歳37%、25～29歳19%、30～34歳と35～39歳各10%の順で多く、20～44歳の患者が女性患者の85%を占めていた。

図 28-1 尖圭コンジローマの月別定点あたり患者数

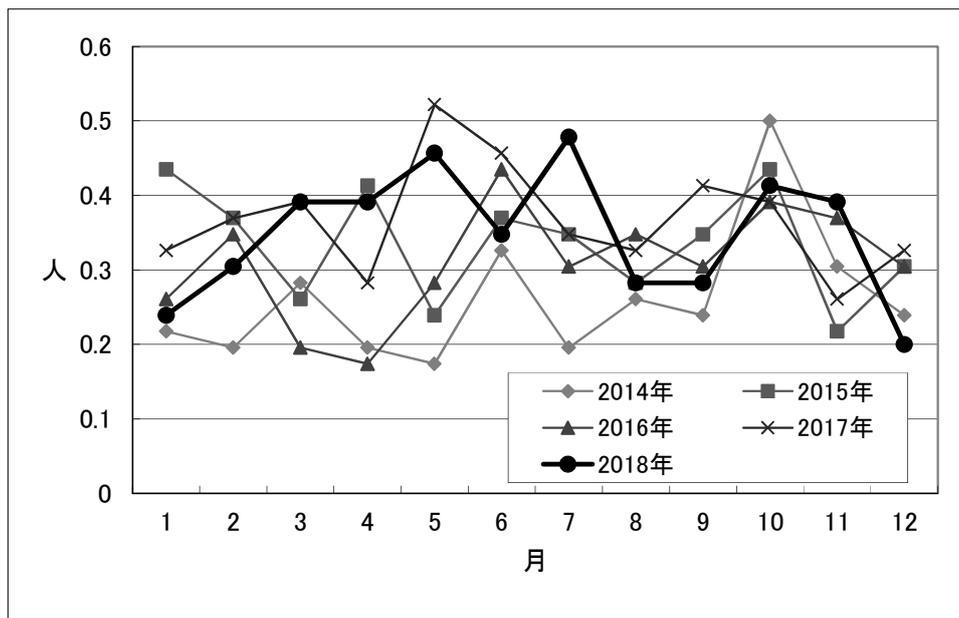


図 28-2 尖圭コンジローマ患者の性別割合

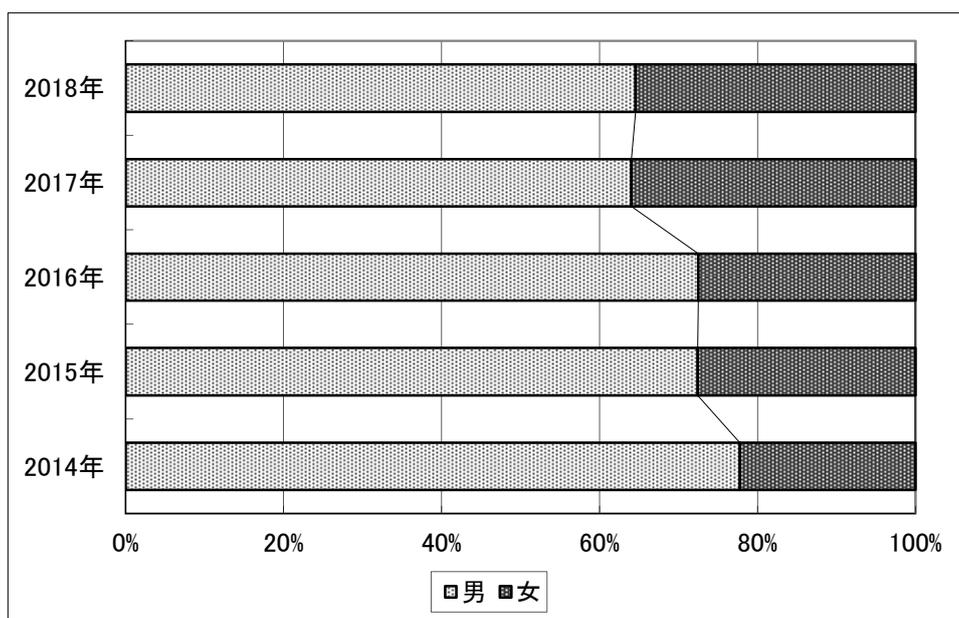


図 28-3 尖圭コンジローマ患者の年齢階級別割合（男性）

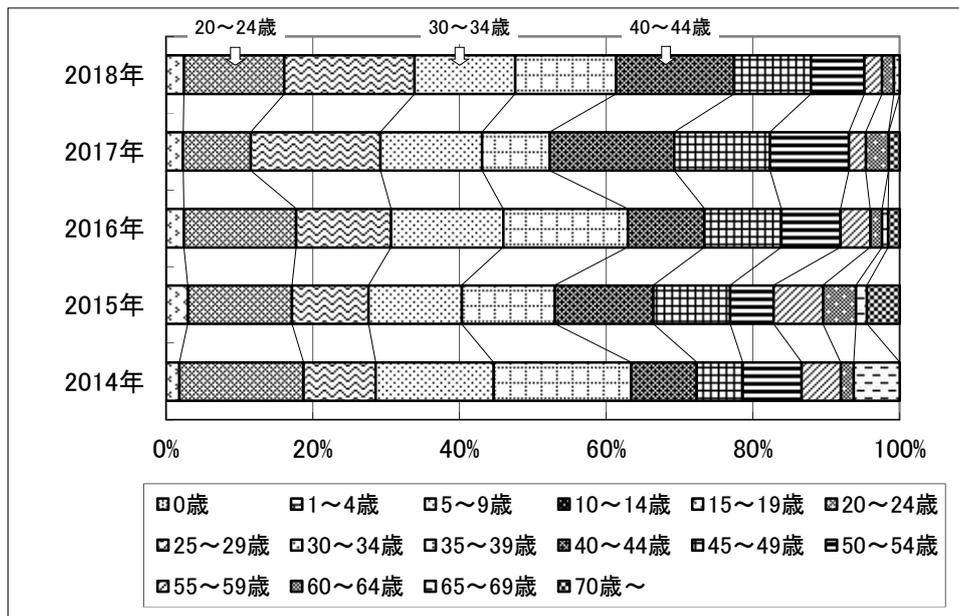
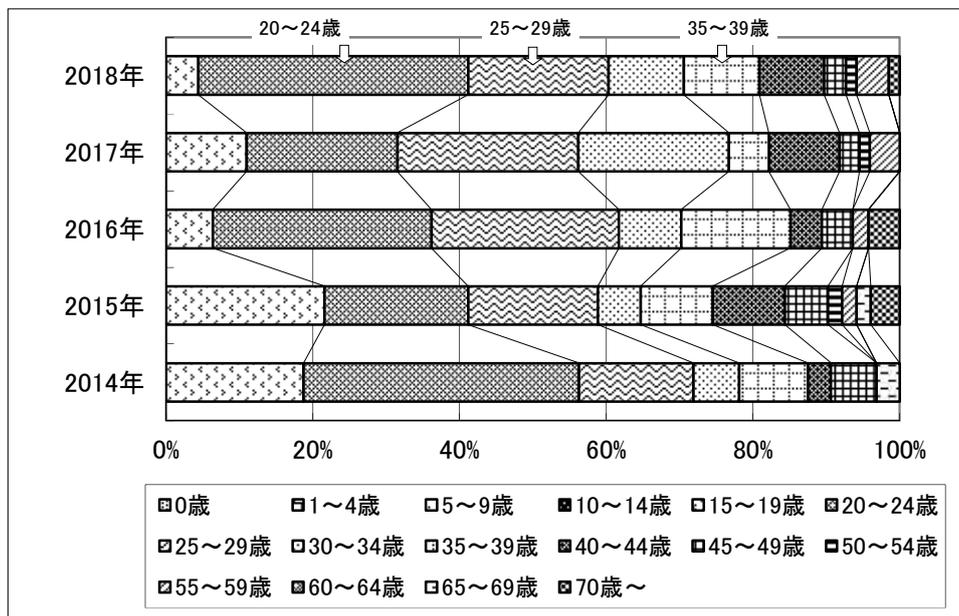


図 28-4 尖圭コンジローマ患者の年齢階級別割合（女性）



(27) 淋菌感染症

年間患者数は317人（定点あたり6.90人）で、2017年の309人（6.72人）よりわずかに増加した。患者の性別割合は、男性84%、女性16%であった。

患者の性別年齢階級別割合では、男性は20～24歳28%、25～29歳19%、30～34歳16%、35～39歳11%の順で多く、20～39歳の患者が男性患者の74%を占めていた。女性は20～24歳43%、25～29歳20%、15～19歳16%、30～34歳12%の順で多く、15～34歳の患者が女性患者の90%を占めていた。

図 29-1 淋菌感染症の月別定点あたり患者数

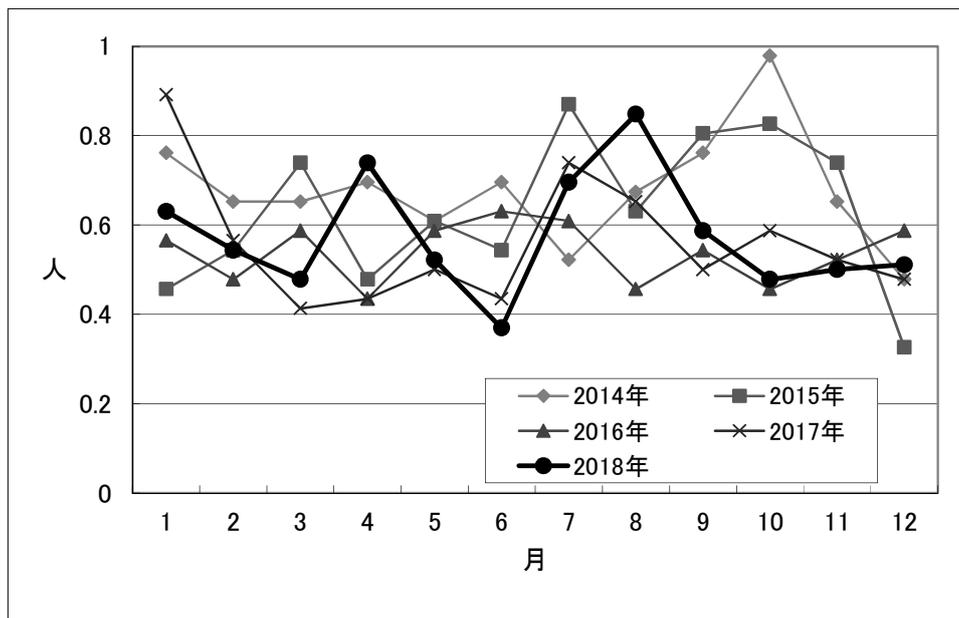


図 29-2 淋菌感染症患者の性別割合

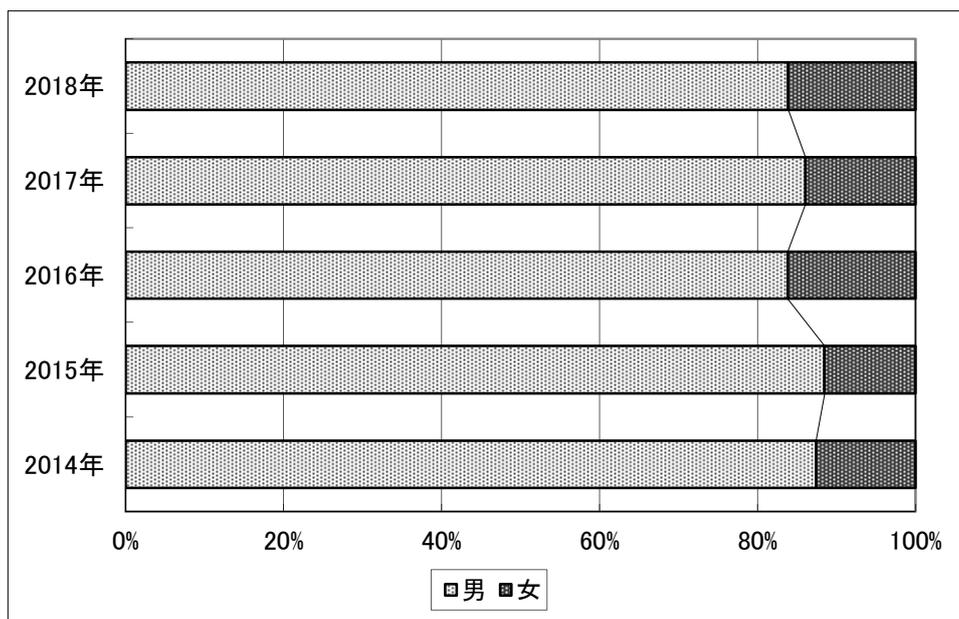


図 29-3 淋菌感染症患者の年齢階級別割合（男性）

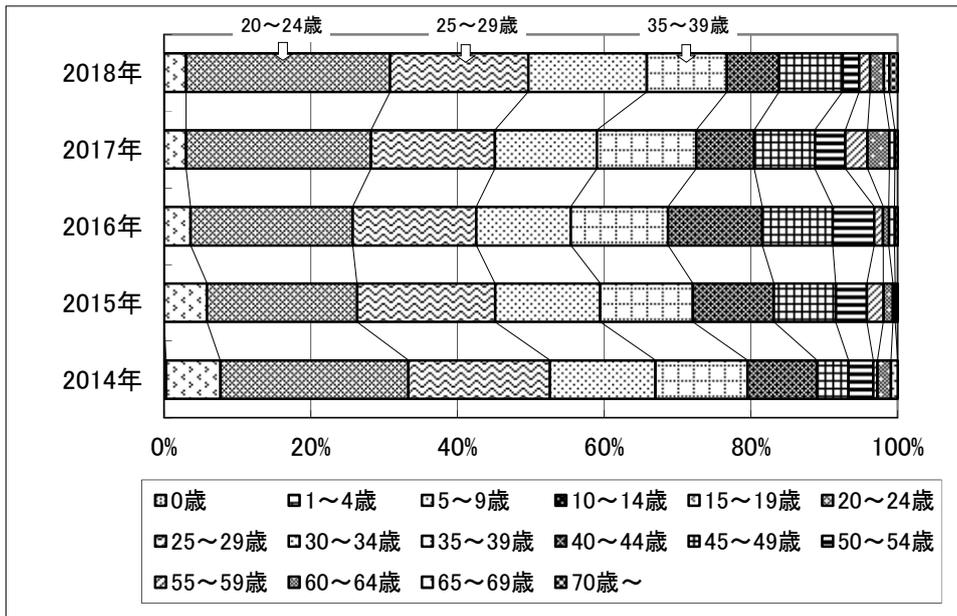
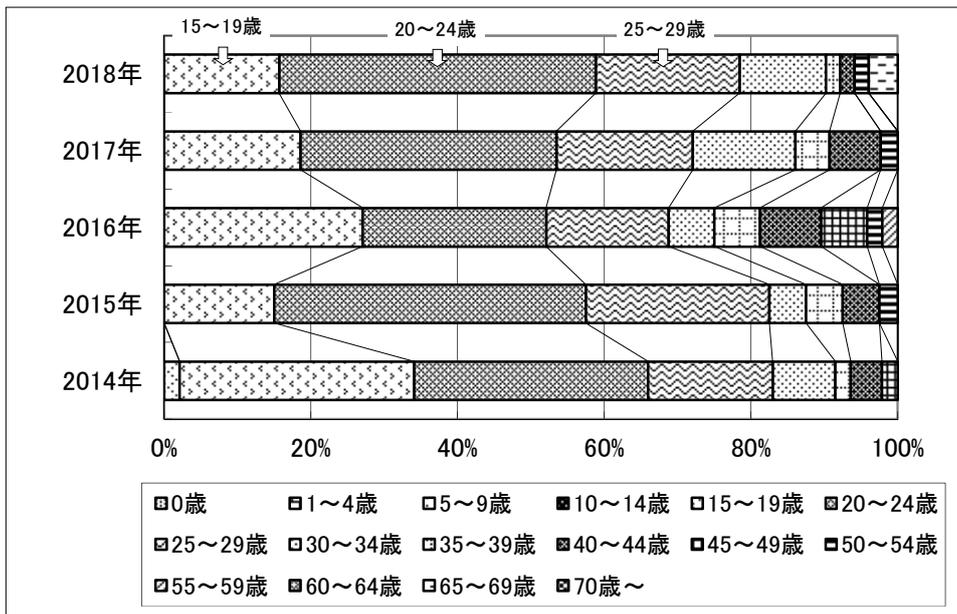


図 29-4 淋菌感染症患者の年齢階級別割合（女性）



(28) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

年間患者数は528人（定点あたり38.73人）で、2017年の458人（32.71人）より増加した。患者の年齢階級別割合は、70歳以上の患者が全体の63%、60歳以上が全体の76%を占めていた。

図 30-1 メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症の月別定点あたり患者数

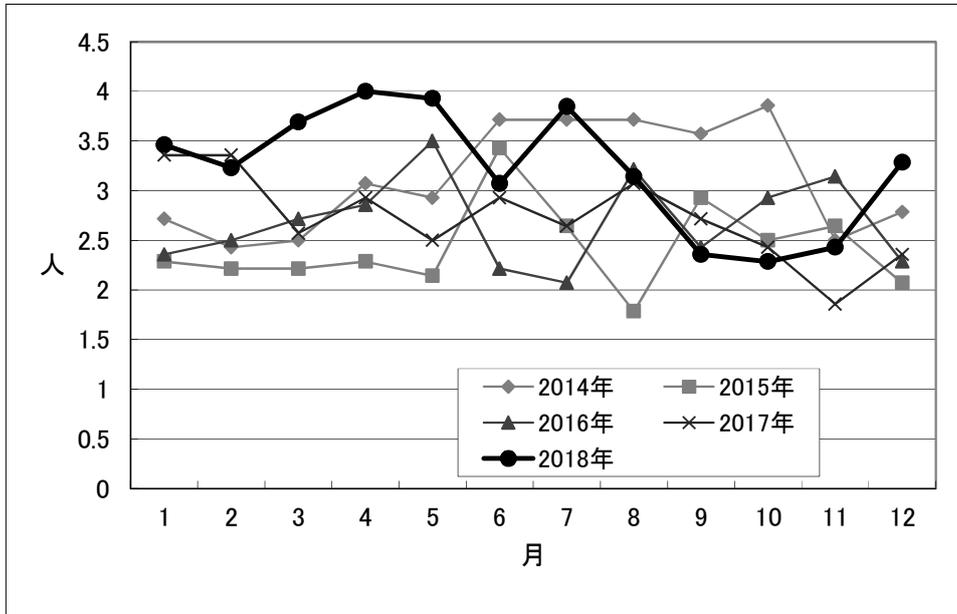
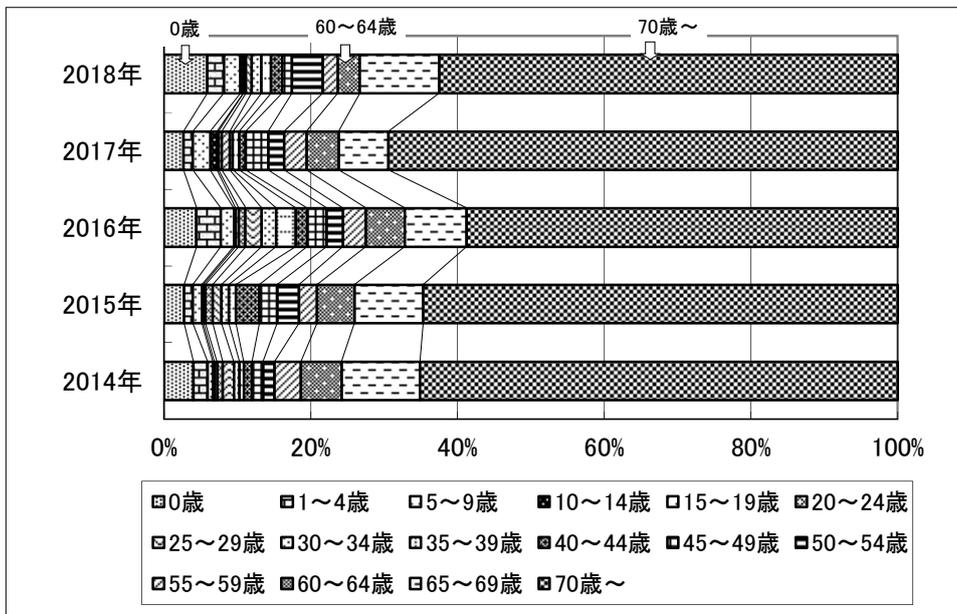


図 30-2 メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症患者の年齢階級別割合



(29) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

年間患者数は51人（定点あたり3.74人）で、2017年の78人（5.57人）より減少した。患者の年齢階級別割合は、70歳以上の患者が全体の63%、60歳以上が全体の84%を占めていた。

図 31-1 ペニシリン耐性肺炎球菌感染症の月別定点あたり患者数

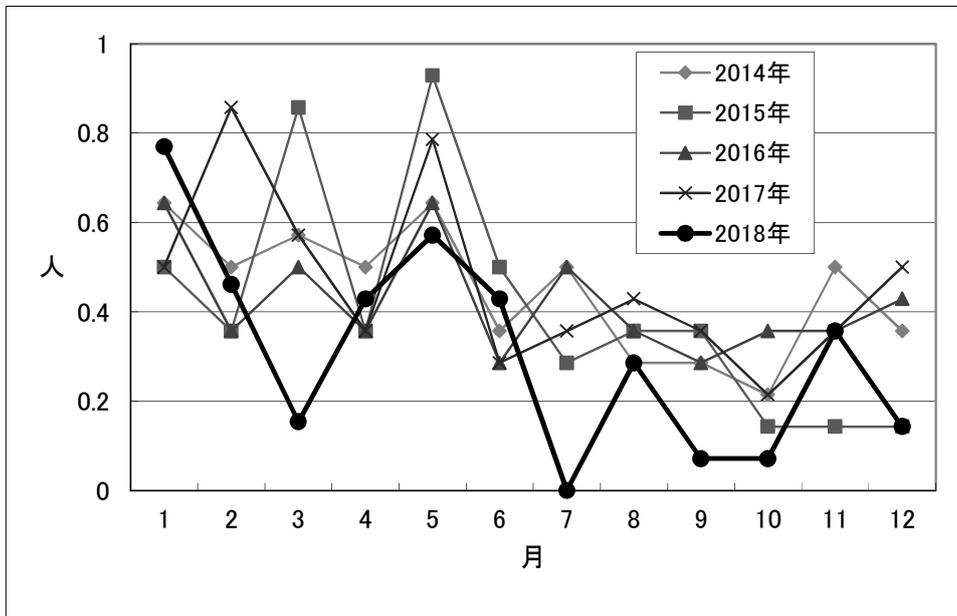
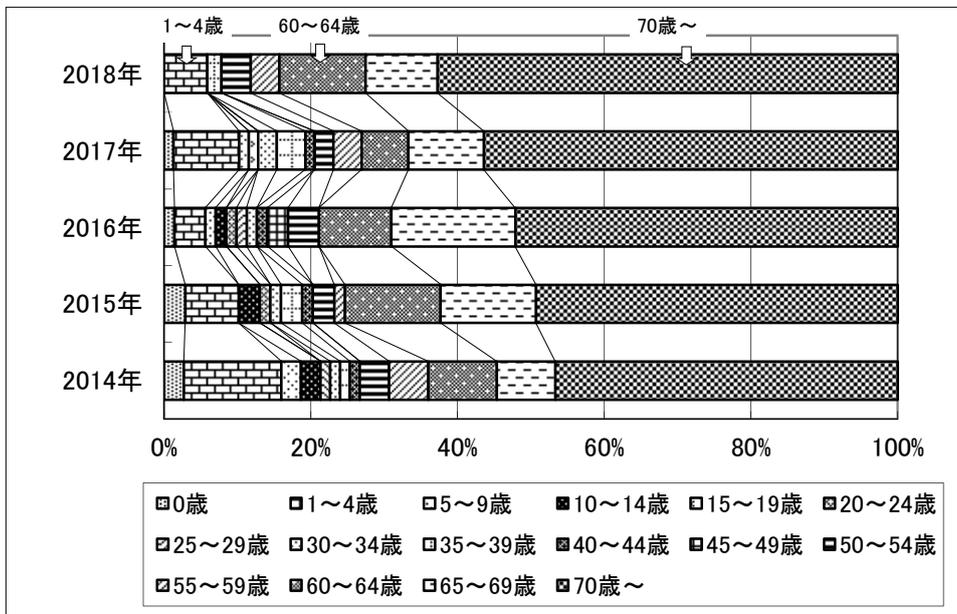


図 31-2 ペニシリン耐性肺炎球菌感染症患者の年齢階級別割合



(30) 薬剤耐性緑膿菌感染症

年間患者数は9人（定点あたり0.65人）で、2017年の6人（0.43人）より増加した。患者の年齢分布は70歳以上が6人、65～69歳が2人、55～59歳が1人であった。

図 32-1 薬剤耐性緑膿菌感染症の月別定点あたり患者数

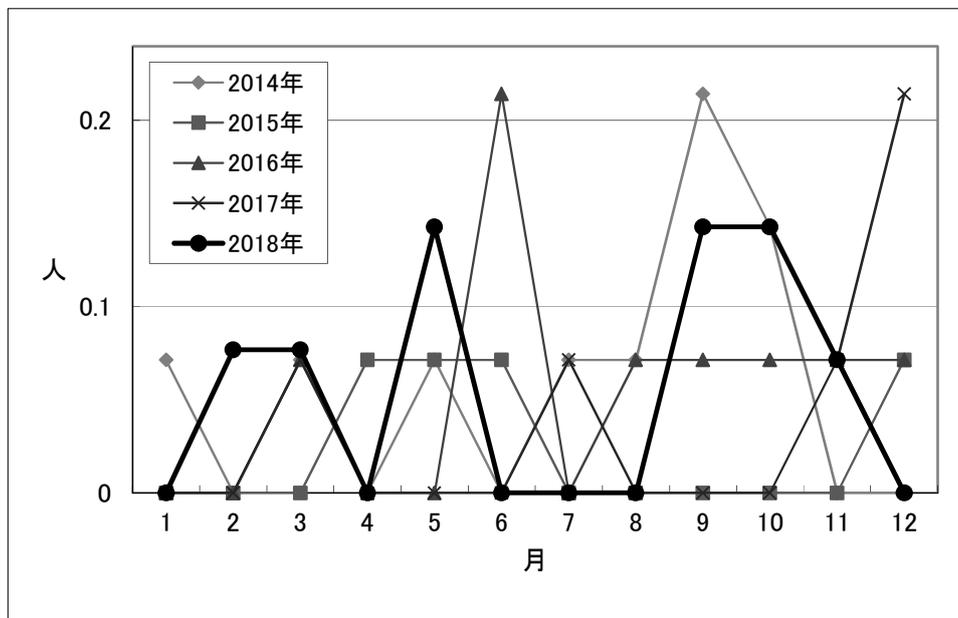
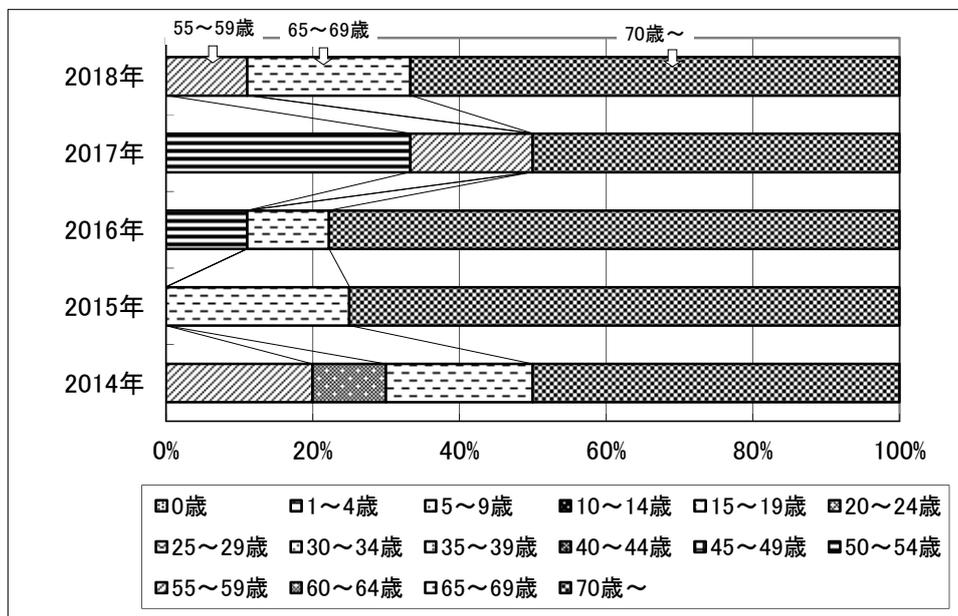


図 32-2 薬剤耐性緑膿菌感染症患者の年齢階級別割合



3. 病原微生物検出状況

(1) 腸管出血性大腸菌感染症事例 (2018年)

年月日	保健所	血清型	毒素型 (VT)	感染者数 (株数)	感染者間の関係等	MLVA型 [※]	
2018.01.11	宝塚	O157:H-	1&2	1		17m0203	
2018.01.23	丹波	O157:H7	2	1		17m0080(17c019)	
2018.02.07	加古川	O157:H7	1&2	1		18m0007	
2018.02.07	龍野	O157:H7	2	1		17m0080(17c019)	
2018.02.23	明石	O157:H7	2	1		18m0008	
2018.03.12	龍野	O157:H7	1&2	1		18m0032	
2018.03.26	洲本	O145:H-	1	1		18m6001	
2019.05.25	丹波	O157:H7	1&2	2	飲食店食中毒事例	18m0033	
2018.05.28	加東	O157:H7	1&2	1		18m0033	
2018.06.08	伊丹	O157:H7	1&2	1	家族 (保菌者1)	17m0229(18c006)	
2018.06.08	伊丹	O157:H7	1&2	1		18m0060(18c006)	
2018.06.12	龍野	O157:H7	2	1		18m0061(18c008)	
2018.06.13	豊岡	O91:H8	1&2	1		18m8004	
2018.06.19	龍野	O157:H7	2	5	家族 (保菌者2)	18m0062(18c009)	
2018.06.19	龍野	O157:H7	2	3	家族 (保菌者3)	18m0062(18c009)	
2018.06.19	龍野	O157:H7	2	1		18m0063(18c009)	
2018.07.10	龍野	O157:H7	2	2	従姉妹	18m0062(18c009)	
2018.07.11	加古川	O157:H7	1&2	2	家族	18m0167	
2018.07.31	加古川	O157:H7	2	2	家族 (保菌者1)	18m0168	
2018.08.01	福崎	O26:H11	1	1	家族	15m2050	
2018.08.06	福崎	O26:H11	1	1		15m2050	
2018.08.08	宝塚	O157:H7	1&2	1	焼肉店 食中毒事例	18m0177	
2018.08.15	伊丹	O157:H7	1&2	1		家族	18m0177
2018.08.15	伊丹	O86a:H18	VT(-)	1		-	
2018.08.03	加古川	O157:H7	1&2	2	飲食店 生焼け ハンバーグ (推定) 食中毒事例	家族 (保菌者1)	18m0169(18c032)
2018.08.16	加東	O157:H-	1&2	1		家族 (保菌者1)	18m0169(18c032)
2018.08.22	加古川	O157:H-	1&2	1			18m0286(18c032)
2018.08.22	加古川	O157:H-	1&2	3		家族 (保菌者3)	18m0169(18c032)
2018.08.22	加古川	O157:H-	1&2	1			18m0285(18c032)
2018.08.22	加古川	O157:H-	1&2	3		家族 (保菌者2)	18m0169(18c032)
2018.08.22	加古川	O157:H-	1&2	2	家族 (保菌者1)	18m0169(18c032)	
2018.08.17	伊丹	O157:H7	1&2	1		18m0284	
2018.08.22	加古川	O157:H7	1&2	1		18m0232(18c040)	
2018.08.22	加古川	O157:H7	1&2	1		18m0025(18c022)	
2018.08.22	加古川	O157:H7	1&2	1		18m0025(18c022)	
2018.08.22	加東	O157:H7	1&2	1		18m0025(18c022)	
2018.08.31	伊丹	O63:H6	2	1		-	
2018.08.31	伊丹	O26:H11	1	1		16m2155	
2018.09.28	加東	O157:H7	1&2	1		18m0460	
2018.10.04	赤穂	O157:H7	1&2	2	家族 (保菌者1)	13m0816	
2018.10.05	加東	O157:H7	2	1		18m0465	
2018.10.19	洲本	O157:H7	2	2	家族 (保菌者1)	18m0466	

[※]国立感染症研究所で実施

(2) 細菌による食中毒(疑)事例(2018年)

年月日	保健所	検体	件数	当所での検査等
2018.06.25	加東	食品	2	黄色ブドウ球菌エンテロトキシンの検出
		患者吐物	2	
		患者便	2	
2018.07.02	加東	黄色ブドウ球菌菌株	10	黄色ブドウ球菌のエンテロトキシン産生性及びコアグラゼ型別

(3) クドア(ヒラメ寄生虫)の検査(2018年)

月日	保健所	病原体	検査件数	陽性検体		陰性検体	
2018.01.23	加古川	<i>Kudoa septempunctata</i>	2	2	患者便	0	
2018.01.24	加古川	<i>Kudoa septempunctata</i>	1	1	患者便	0	
2018.11.07	宝塚	<i>Kudoa septempunctata</i>	1	0		1	患者便
2018.11.14	宝塚	<i>Kudoa septempunctata</i>	1	0		1	患者便
2018.11.15	宝塚	<i>Kudoa septempunctata</i>	1	0		1	患者便
2018.11.19	伊丹	<i>Kudoa septempunctata</i>	2	0		2	患者便

(4) カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症事例(2018年)

年月日	保健所	菌種	件数	薬剤耐性β-ラクタマーゼ遺伝子の型別
2018.01.25	赤穂	<i>Klebsiella aerogenes</i>	1	耐性遺伝子不検出
2018.02.09	赤穂	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	1	IMP-6, CTX-M-2, SHV-27
2018.02.14	西宮市	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	1	IMP-6, CTX-M-2, SHV-11
2018.03.02	赤穂	<i>Escherichia coli</i>	1	IMP-6, CTX-M-2, CTX-M-27
2018.03.02	加古川	<i>Enterobacter cloacae</i>	1	CTX-M-14
2018.03.05	加東	<i>Klebsiella aerogenes</i>	1	耐性遺伝子不検出
2018.03.15	豊岡	<i>Klebsiella aerogenes</i>	1	耐性遺伝子不検出
2018.03.20	明石	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	1	CTX-M-15, TEM-1, SHV-1
2018.04.09	加古川	<i>Escherichia coli</i>	1	IMP-6, CTX-M-15, CTX-M-2
2018.04.12	加東	<i>Escherichia coli</i>	1	IMP-6, CTX-M-2, CTX-M-27
2018.04.12	加東	<i>Klebsiella aerogenes</i>	1	耐性遺伝子不検出
2018.04.12	加東	<i>Klebsiella aerogenes</i>	1	耐性遺伝子不検出
2018.04.20	豊岡	<i>Klebsiella aerogenes</i>	1	耐性遺伝子不検出
2018.04.27	赤穂	<i>Escherichia coli</i>	1	IMP-6, CTX-M-2
2018.04.27	赤穂	<i>Escherichia coli</i>	1	IMP-6, CTX-M-2, CTX-M-14, TEM-1
2018.06.12	洲本	<i>Klebsiella aerogenes</i>	1	耐性遺伝子不検出
2018.06.12	龍野	<i>Klebsiella aerogenes</i>	1	耐性遺伝子不検出
2018.07.06	伊丹	<i>Escherichia coli</i>	1	IMP-1, CTX-M-15, CTX-M-2
2018.07.11	加古川	<i>Escherichia coli</i>	1	IMP-6, CTX-M-2, TEM-1
2018.07.23	丹波	<i>Klebsiella aerogenes</i>	1	耐性遺伝子不検出
2018.08.02	加東	<i>Klebsiella aerogenes</i>	1	耐性遺伝子不検出
2018.10.04	赤穂	<i>Escherichia coli</i>	1	IMP-6, CTX-M-2, CTX-M-27
2018.10.26	加東	<i>Klebsiella aerogenes</i>	1	耐性遺伝子不検出
2018.10.26	加東	<i>Klebsiella aerogenes</i>	1	耐性遺伝子不検出
2018.11.02	加東	<i>Escherichia coli</i>	1	IMP-6, CTX-M-2, TEM-1
2018.11.05	丹波	<i>Klebsiella aerogenes</i>	1	耐性遺伝子不検出
2018.11.05	丹波	<i>Klebsiella aerogenes</i>	1	耐性遺伝子不検出
2018.11.07	加東	<i>Escherichia coli</i>	1	CTX-M-15
2018.11.28	宝塚	<i>Enterobacter cloacae</i>	1	TEM-1
2018.12.07	赤穂	<i>Raoultella ornithinolytica</i>	1	IMP-1
2018.12.18	加東	<i>Klebsiella aerogenes</i>	1	耐性遺伝子不検出

Klebsiella aerogenes (旧: *Enterobacter aerogenes*)

(5) 侵襲性肺炎球菌感染症事例 (2018年)

年月日	保健所、他	菌種	件数	血清型
2018.01.11	加古川	<i>Streptococcus pneumoniae</i>	1	12F/(12A/44/46)
2018.02.08	加古川	<i>Streptococcus pneumoniae</i>	1	12F/(12A/44/46)
2018.03.27	加古川	<i>Streptococcus pneumoniae</i>	1	11A/11D/11E
2018.04.18	尼崎総合医療センター	<i>Streptococcus pneumoniae</i>	1	35B
2018.06.01	加古川	<i>Streptococcus pneumoniae</i>	1	6C/D
2018.07.03	洲本	<i>Streptococcus pneumoniae</i>	1	15A/15F
2018.07.19	尼崎総合医療センター	<i>Streptococcus pneumoniae</i>	1	24/(24A/24B/24F)
2018.10.26	加古川	<i>Streptococcus pneumoniae</i>	1	3
2018.12.07	加古川	<i>Streptococcus pneumoniae</i>	1	23A
2018.12.07	加古川	<i>Streptococcus pneumoniae</i>	1	15A/15F
2018.12.07	加古川	<i>Streptococcus pneumoniae</i>	1	12F/(12A/44/46)
2018.12.07	加古川	<i>Streptococcus pneumoniae</i>	1	12F/(12A/44/46)
2018.12.07	加古川	<i>Streptococcus pneumoniae</i>	1	12F/(12A/44/46)
2018.12.20	加古川	<i>Streptococcus pneumoniae</i>	1	12F/(12A/44/46)

(6) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症事例 (2018年)

年月日	保健所	菌種	件数	群別 [※] 、T型別 [※] 、EMM型 [※]
2018.02.07	加古川	<i>Streptococcus pyogenes</i>	1	A群, T1, EMM1.0
2018.02.22	加古川	<i>Streptococcus pyogenes</i>	1	A群, T5/27/44, EMM82.0
2018.03.15	豊岡	<i>Streptococcus pyogenes</i>	2	A群, T12, EMM112.0
2018.04.17	加東	<i>Streptococcus dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i>	1	A群, STG485.0
2018.05.10	宝塚	<i>Streptococcus dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i>	1	G群, STG485.0
2018.05.30	加古川	<i>Streptococcus pyogenes</i>	1	A群, TB3264, EMM89.0
2018.07.26	加東	<i>Streptococcus pyogenes</i>	1	A群, T1, EMM1.0
2018.11.15	加古川	<i>Streptococcus pyogenes</i>	1	A群, T1, EMM1.0
2018.12.05	加東	<i>Streptococcus dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i>	1	G群, STG10.0

※国立感染症研究所で実施

(7) その他の細菌検査 (2018年)

年月日	保健所、他	検体	件数	当所での検査等
2018.02.20	豊岡	患者便及びハチミツ	2	ボツリヌス菌の分離、ボツリヌス毒素遺伝子の検出
2018.04.13	洲本	髄膜炎菌菌株	1	血清型 [※] 、遺伝子型 [※]
2018.04.25	洲本	髄膜炎菌菌株	1	血清型 [※] 、遺伝子型 [※]
2018.05.11	豊岡	コレラ菌菌株	1	血清型、コレラ毒素遺伝子の検出
2018.06.12	龍野	バンコマイシン耐性腸球菌菌株	1	菌種の同定、薬剤耐性遺伝子の検出
2018.06.19	龍野	サルモネラ属菌菌株	1	血清型
2018.06.26	加古川医療センター	腸管スピロヘータ属菌菌株	1	遺伝子による同定検査
2018.07.04	赤穂	髄膜炎菌菌株	1	血清型 [※] 、遺伝子型 [※]
2018.08.07	宝塚	血清	1	ライム病抗体検査 [※] 、ボレリア遺伝子の検出 [※]
2018.08.22	加東	コレラ菌菌株	1	血清型、コレラ毒素遺伝子の検出
2018.08.22	加古川	サルモネラ属菌菌株	4	血清型
2018.08.22	加古川	大腸菌菌株	5	血清型
2018.09.07	洲本	サルモネラ属菌菌株	1	血清型、ファージ型 [※]

※国立感染症研究所で実施

(8) 結核 QFT 検査 (2018年)

年月日	保健所	件数	陽性	判定保留	陰性	判定不可
2018.05.07	豊岡	22	5	3	14	0
2018.07.09	加古川	25	1	4	20	0
2018.07.18	加古川	14	0	2	12	0

(9) 結核菌の同定試験及び結核の感染源調査 (2018年)

菌株搬入日	保健所	菌株番号	クラスター番号 ^{※1}		薬剤感受性試験	
			JATA(12)	24Beijing	耐性を示した薬剤 ^{※2}	PZA ^{※3}
2018.01.12	明石	MY17099				
2018.01.12	明石	MY17100				
2018.01.12	明石	MY17101				
2018.01.12	明石	MY17102	110			
2018.01.26	丹波	MY17103				
2018.01.24	丹波	MY17104	004			
2018.01.24	赤穂	MY17105	111			
2018.01.26	赤穂	MY17106	063			
2018.01.26	明石	MY17107	096	029		
2018.01.26	明石	MY17108				
2018.01.26	明石	MY17109				
2018.02.08	明石	MY17110	096	029		
2018.02.09	加古川	MY17111				
2018.02.22	加古川	MY17112	018			
2018.02.22	加古川	MY17113	119			
2018.02.22	加古川	MY17114				
2018.02.20	豊岡	MY17115	002			
2018.02.08	龍野	MY17116				
2018.02.08	龍野	MY17117	016			
2018.02.08	龍野	MY17118				
2018.02.08	龍野	MY17119	112			
2018.02.22	洲本	MY17120				
2018.02.22	加古川	MY17121				
2018.02.22	加古川	MY17122	113			
2018.03.19	福崎	MY17123			耐性なし	
2018.03.27	加東	MY17124				耐性なし
2018.04.25	加東	MY17125				判定不能
2018.04.25	加東	MY17126				耐性なし
2018.04.25	加東	MY17127				耐性なし
2018.04.25	加東	MY17128	008			耐性なし
2018.04.25	加東	MY17129				耐性なし
2018.04.27	加東	MY17130	064			耐性なし
2018.03.27	加東	MY17131				耐性なし
2018.03.27	加東	MY17132				耐性なし
2018.03.27	加東	MY17133				耐性なし
2018.03.27	加東	MY17134	098			耐性なし
2018.04.27	赤穂	MY18001	114			
2018.04.27	赤穂	MY18002	052			
2018.04.27	赤穂	MY18003				
2018.04.27	赤穂	MY18004				
2018.04.27	豊岡	MY18005	036			
2018.05.18	豊岡	MY18006				
2018.06.13	朝来	MY18007	117			
2018.05.18	朝来	MY18008				
2018.05.21	加古川	MY18009	115			
2018.05.21	加古川	MY18010	116			
2018.05.21	加古川	MY18011				
2018.06.13	加古川	MY18012				
2018.06.13	加古川	MY18013	063			
2018.06.13	加古川	MY18014				
2018.06.13	加古川	MY18015				
2018.05.21	福崎	MY18016				
2018.05.21	龍野	MY18017			判定不能	
2018.05.23	龍野	MY18018	020			
2018.05.23	龍野	MY18019	088			
2018.05.23	龍野	MY18020	118	032		
2018.05.23	龍野	MY18021	079		耐性なし	
2018.05.31	龍野	MY18022				
2018.05.28	丹波	MY18023				
2018.05.28	丹波	MY18024	001	002		
2018.07.12	加古川	MY18025			耐性なし	
2018.07.11	龍野	MY18026				
2018.07.18	朝来	MY18027	068			

菌株搬入日	保健所	菌株番号	クラスター番号 ^{※1}		薬剤感受性試験	
			JATA(12)	24Beijing	耐性を示した薬剤 ^{※2}	PZA ^{※3}
2018.07.18	朝来	MY18028	119			
2018.08.08	龍野	MY18029				
2018.08.30	伊丹	MY18030				
2018.08.20	加古川	MY18031				
2018.08.20	加古川	MY18032				
2018.08.20	加古川	MY18033	122			
2018.08.20	加古川	MY18034	043			
2018.08.24	龍野	MY18035	102			
2018.09.03	龍野	MY18036	022			
2018.08.30	加東	MY18037				耐性なし
2018.08.30	加東	MY18038				耐性なし
2018.08.30	加東	MY18039				耐性なし
2018.08.30	加東	MY18040				耐性なし
2018.08.30	加東	MY18041	002			耐性なし
2018.08.30	加東	MY18042				耐性なし
2018.09.06	加東	MY18043	002			耐性あり
2018.09.06	加東	MY18044				耐性なし
2018.09.06	加東	MY18045				耐性なし
2018.09.06	加東	MY18046	018	033		耐性なし
2018.09.27	豊岡	MY18047				
2018.09.27	福崎	MY18048				
2018.09.27	福崎	MY18049	001			
2018.10.16	加東	MY18050				判定不能
2018.10.16	加東	MY18051				耐性なし
2018.10.16	加東	MY18052	008			判定不能
2018.10.12	朝来	MY18053				
2018.10.12	朝来	MY18054				
2018.10.22	洲本	MY18055				
2018.10.22	洲本	MY18056				
2018.10.22	洲本	MY18057				
2018.10.22	洲本	MY18058				
2018.10.22	洲本	MY18059				
2018.10.22	洲本	MY18060	001			
2018.10.22	洲本	MY18061	018			
2018.10.22	洲本	MY18062				
2018.10.22	洲本	MY18063	081			
2018.10.22	洲本	MY18064				
2018.10.22	洲本	MY18065	129	034		
2018.10.22	洲本	MY18066	006			
2018.10.22	洲本	MY18067				
2018.11.20	龍野	MY18068				
2018.11.30	龍野	MY18069				
2018.11.30	龍野	MY18070	023			
2018.11.28	宝塚	MY18071	125	035		
2018.11.30	龍野	MY18072	065	017		
2018.12.18	加古川	MY18073	001	002		
2018.12.18	加古川	MY18074				
2018.12.18	加古川	MY18075				
2018.12.21	加東	MY18076				
2018.12.21	加東	MY18077				
2018.12.21	加東	MY18078				
2018.12.21	加東	MY18079				
2018.12.21	加東	MY18080				
2018.12.21	加東	MY18081	124			
2018.12.21	加東	MY18082	070			
2018.12.21	加東	MY18083				
2018.12.21	伊丹	MY18084	125	035		
2018.07.11	尼崎市	MY18201	065			
2018.08.17	尼崎市	MY18202				
2018.08.17	尼崎市	MY18203				
2018.08.17	尼崎市	MY18204				
2018.08.17	尼崎市	MY18205	004			
2018.08.17	尼崎市	MY18206				
2018.08.17	尼崎市	MY18207				
2018.08.17	尼崎市	MY18208	002			

菌株搬入日	保健所	菌株番号	クラスター番号 ^{※1}		薬剤感受性試験	
			JATA(12)	24Beijing	耐性を示した薬剤 ^{※2}	PZA ^{※3}
2018.08.17	尼崎市	MY18209				
2018.08.17	尼崎市	MY18210	001			
2018.08.17	尼崎市	MY18211	123			
2018.08.17	尼崎市	MY18212	003			
2018.08.17	尼崎市	MY18213				
2018.08.17	尼崎市	MY18214				
2018.08.17	尼崎市	MY18215				
2018.08.17	尼崎市	MY18216				
2018.08.17	尼崎市	MY18217				
2018.08.17	尼崎市	MY18218	004	036		
2018.08.17	尼崎市	MY18219				
2018.08.17	尼崎市	MY18220	002			
2018.08.17	尼崎市	MY18221	006			
2018.08.17	尼崎市	MY18222				
2018.08.30	尼崎市	MY18223				
2018.08.30	尼崎市	MY18224	004			
2018.08.30	尼崎市	MY18225	001			
2018.08.30	尼崎市	MY18226	008			
2018.08.30	尼崎市	MY18227	071			
2018.08.30	尼崎市	MY18228	013			
2018.08.30	尼崎市	MY18229				
2018.08.30	尼崎市	MY18230				
2018.08.30	尼崎市	MY18231	079			
2018.08.30	尼崎市	MY18232	028			
2018.08.30	尼崎市	MY18233	018	033		
2018.09.18	尼崎市	MY18234	094			
2018.09.18	尼崎市	MY18235	002			
2018.09.18	尼崎市	MY18236				
2018.09.18	尼崎市	MY18237	008			
2018.09.18	尼崎市	MY18238	036			
2018.09.18	尼崎市	MY18239	015	031		
2018.09.18	尼崎市	MY18240				
2018.10.03	尼崎市	MY18241	004	036		
2018.08.01	西宮市	MY18301				
2018.10.29	西宮市	MY18302	079			
2018.12.13	西宮市	MY18303	015			
2018.06.13	明石市	MY18401				
2018.06.13	明石市	MY18402				
2018.06.13	明石市	MY18403	001			
2018.06.13	明石市	MY18404				
2018.06.13	明石市	MY18405	001			
2018.06.13	明石市	MY18406	114			
2018.06.13	明石市	MY18407				
2018.06.13	明石市	MY18408	091	026		
2018.08.09	明石市	MY18409				
2018.08.09	明石市	MY18410				
2018.08.09	明石市	MY18411				
2018.08.09	明石市	MY18412	043	013		
2018.08.09	明石市	MY18413	120			
2018.08.09	明石市	MY18414				
2018.08.09	明石市	MY18415	121			

*1: JATA(12)-VNTRプロファイル及び24領域(24Beijing)VNTRプロファイルが一致したものに同一の番号を付した。空白は2012年から当所で蓄積しているデータベース内に一致する菌株がみられなかったことを表す。

*2: 検査対象薬剤: INH(イソニアジド)、RFP(リファンピシン)、SM(硫酸ストレプトマイシン)、EB(塩酸エタンブトール)、KM(硫酸カナマイシン)TH(エチオナミド)、EVM(硫酸エンビオマイシン)、PAS(パラアミノサリチル酸ナトリウム)、CS(サイクロセリン)、LVFX(レボフロキサシン) 空白は検査していないことを表す。

*3: 検査対象薬剤: PZA(ピラジナミド)

(10) インフルエンザウイルスの検出状況 (2018年)

検体採取年月	検体数	ウイルス検出数				
		A(H1N1) pdm09	A香港型	B型 (Victoria系統)	B型 (Yamagata系統)	陰性
2018.01	112	24	34	1	50	5
2018.02	72	4	24	0	43	1
2018.03	37	1	13	1	19	3
2018.04	14	0	6	0	7	1
2018.05	5	0	4	0	0	1
2018.06	0	0	0	0	0	0
2018.07	1	1	0	0	0	0
2018.08	1	0	0	0	0	1
2018.09	5	1	3	0	0	1
2018.10	1	1	0	0	0	0
2018.11	5	4	0	0	0	1
2018.12	34	21	11	0	0	2
合計	287	57	95	2	119	16

(11) 日本脳炎流行予測調査結果：ブタ血清中のHI抗体価 (2018年)

採血 年月日	検査頭数	HI抗体価								陽性率 (%)	2ME 感受性(%)
		<10	10	20	40	80	160	320	≥640		
2018.06.13	10	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2018.06.20	10	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2018.07.04	10	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2018.07.18	10	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2018.08.08	10	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2018.08.22	10	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2018.09.05	10	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2018.09.19	10	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(12) 蚊媒介感染症の検査 (2018年)

疾患名	検体数 (患者数)	陽性 患者数	ウイルス型	渡航先
デング熱	10 (5)	1	デングウイルス1型	マレーシア
チクングニア熱		0	—	—
ジカウイルス感染症		0	—	—

(13) ダニ媒介感染症の検査 (2018年)

疾患名	検体数	患者数 (陽性数)	備考
日本紅斑熱	23	10 (6)	遺伝子及び抗体検査
つつが虫病	7	3 (3)	遺伝子及び抗体検査
重症熱性血小板減少症候群	3	3 (0)	遺伝子検査

(14) HIV及び肝炎ウイルスの検査 (2018年)

疾患名	検体数	患者数 (陽性数)	備考
HIV	50	50 (0)	職員特殊健診
	3	3 (0)	確認検査
A型肝炎	8	5 (5)	遺伝子検査
E型肝炎	6	4 (3)	遺伝子検査

(15) 集団嘔吐下痢症事例からのノロウイルス等の検出状況 (2018年)

事例No.	月	日	保健所	原因施設	感染経路	原因食	対象者	患者数	検体	検体数	陽性数	検出ウイルス	
1	1	5	宝塚	飲食店	食品疑い	不明	246	不明	有症者便	1	1	NoV G II	
2		6	芦屋	飲食店	食品疑い	不明	7	6	有症者便	1	1	NoV G II	
3		9	明石	仕出し	食品疑い	不明	27	9	有症者便	1	0	-	
									調理従事者便	3	1	NoV G I	
4		13	加古川	飲食店	食品疑い	不明	不明	不明	拭き取り	2	0	-	
									有症者便	1	0	-	
5		17	明石	飲食店	食品疑い	不明	37	12	有症者便	2	2	NoV G II	
									調理従事者便	3	2	NoV G II	
6		24	伊丹 明石	飲食店	食品疑い	不明	56	19	拭き取り	6	0	-	
									有症者便	1	1	NoV G II	
7		9	赤穂	中学校 調理実習	食品疑い	不明	84	25	有症者便	1	1	NoV G II	
									調理従事者便	6	6	NoV G II	
8		15	加東	飲食店	食品疑い	不明	20	17	有症者便	1	0	-	
									食品	1	0	-	
9		1	伊丹	寮食堂	食品疑い	不明	100	不明	有症者便	7	6	NoV G II	
									調理従事者便	5	3	NoV G II	
10		7	洲本	飲食店	食品疑い	不明	48	14	有症者便	1	1	NoV G II	
									有症吐物	3	3	NoV G II	
11		13	加古川	飲食店	食品疑い	不明	217	25	有症吐物	1	0	-	
									調理従事者便	3	0	-	
12		14	宝塚	飲食店	食品疑い	不明	不明	不明	有症者便	10	7	NoV G II	
									調理従事者便	10	4	NoV G II	
13		5	15	丹波	民宿	食品疑い	不明	不明	有症者便	1	1	NoV G I	
14			16	丹波	飲食店	食品疑い	不明	35	有症者便	2	1	NoV G II	
15			24	豊岡	飲食店	食品疑い	不明	74	不明	有症者便	2	1	NoV G II
16			26	加古川	飲食店	食品疑い	不明	12	8	有症者便	2	0	-
	有症者便									2	0	-	
17	22	豊岡 加古川	飲食店	食品疑い	不明	192	10	有症者便	2	1	NoV G II		
								有症者便	2	2	NoV G II		
18	27	赤穂	弁当	食品疑い	不明	206	8	有症者便	6	2	NoV G II		
								調理従事者便	4	0	-		
19	9	13	宝塚	飲食店	食品疑い	あさり疑い	不明	72	有症者便	1	1	NoV G I & G II	
20		29	加東	飲食店	食品疑い	不明	44	18	有症者便	11	6	NoV G II	
									有症吐物	4	2	NoV G II	
									調理従事者便	3	1	NoV G II	
									拭き取り	10	3	NoV G II	
21	11	14	宝塚	飲食店	食品疑い	不明	21	15	有症者便	22	0	-	
22	5	加東	飲食店	食品疑い	不明	44	11	有症者便	2	0	-		
								有症吐物	3	2	NoV G II		
23	13	宝塚	飲食店	食品疑い	不明	7	4	調理従事者便	3	2	NoV G II		
								拭き取り	9	0	-		
24	19	宝塚	飲食店	食品疑い	不明	11	11	食品	5	0	-		
								有症者便	1	0	-		
25	19	朝来	飲食店	食品疑い	不明	34	6	有症者便	8	8	NoV G II		
								調理従事者便	3	0	-		
26	26	洲本	飲食店	食品疑い	不明	82	71	有症者便	3	3	NoV G II		
								調理従事者便	4	2	NoV G II		
26	26	洲本	飲食店	食品疑い	不明	82	71	有症者便	10	10	NoV G I		
								調理従事者便	5	3	NoV G I		
								拭き取り	11	0	-		

NoV G I : ノロウイルスG I、NoV G II : ノロウイルスG II

(16) 麻しん及び風しんウイルスの検出状況 (2018年)

保健所	麻しんウイルス				風しんウイルス			
	検査数		陽性数		検査数		陽性数	
	患者数	検体数	患者数	遺伝子型(患者数)	患者数	検体数	患者数	遺伝子型(患者数)
芦屋	1	3	0	-	4	10	2	1a(1), 1E(1)
宝塚	3	8	0	-	5	11	0	-
伊丹	3	7	0	-	8	22	2	1E(2)
加古川	8	21	0	-	3	9	1	1E(1)
加東	3	9	0	-	2	6	1	1E(1)
龍野	1	2	0	-	3	8	1	1E(1)
豊岡	1	3	0	-	0	0	0	-
朝来	0	0	0	-	1	1	0	-
丹波	1	3	0	-	0	0	0	-
洲本	1	3	0	-	2	6	1	1E(1)
西宮市	4	12	1	A(1)	12	37	4	1E(3), 型不明(1)
明石市	6	16	1	D8(1)	7	18	3	1E(2), 2B(1)
合計	32	87	2		47	128	15	

(17) 感染症発生動向調査における月別病原体検出件数 (2018年)

(インフルエンザの検体を除く)

(検体数)

検体採取月	2018年												合計	
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
検体数	36	12	22	45	33	56	44	43	37	49	41	26	444	
患者数	23	12	14	23	17	21	32	28	23	28	27	16	264	
検査材料	咽頭ぬぐい液	15	8	3	12	12	11	19	12	8	11	8	4	123
	鼻腔ぬぐい液	8	1	6	4	3	9	9	13	15	12	18	6	104
	髄液	1	0	1	3	2	10	3	3	0	5	3	3	34
	便	3	2	4	15	5	11	6	3	3	5	3	7	67
	尿	3	0	0	6	5	9	3	3	3	3	2	2	39
	血液	5	0	2	5	6	4	4	9	6	13	6	4	64
	気管吸引液	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	4
	その他	1	0	6	0	0	1	0	0	1	0	0	0	9

(検出件数)

疾患名	検出病原体	2018年												合計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
咽頭結膜熱	アデノウイルス 1型	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	3
	アデノウイルス 2型	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	3
	アデノウイルス 3型	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	ライノウイルス	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
手足口病	コクサッキーウイルス A9型	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	コクサッキーウイルス A10型	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2
	コクサッキーウイルス A16型	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
	エンテロウイルス 71型	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
	パレコウイルス 3型	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	ヒトヘルペスウイルス 6 (HHV6)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	ヒトヘルペスウイルス 7 (HHV7)	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
ヘルパンギーナ	コクサッキーウイルス A2型	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
	コクサッキーウイルス A4型	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	コクサッキーウイルス A5型	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	パレコウイルス 3型	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	ライノウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	ヒトヘルペスウイルス 7 (HHV7)	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2

疾患名	検出病原体	2018年												合計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
無菌性髄膜炎	エコーウイルス 11型	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	4
	ライノウイルス	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	2
	ヒトヘルペスウイルス 6 (HHV6)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
感染性胃腸炎	ノロウイルス GⅡ.2	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
	ノロウイルス GⅡ.3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	ノロウイルス GⅡ.4	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	5
	ノロウイルス GⅡ.6	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	A群ロタウイルスG3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	A群ロタウイルスG9	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	3
	サポウイルス	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	アストロウイルス 1型	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	アデノウイルス 41型	0	0	1	3	1	1	0	0	0	0	1	0	7
	パレコウイルス 3型	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	コクサッキーウイルス A10型	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
ライノウイルス	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2	
RSウイルス感染症	RSウイルス	4	1	2	1	1	0	3	8	13	8	15	2	58
	エンテロウイルス 68型	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
	コクサッキーウイルス A6型	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	コクサッキーウイルス A9型	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	4
	ライノウイルス	0	0	1	1	1	0	0	1	1	2	1	1	9
	ヒトボカウイルス	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	アデノウイルス 2型	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	A群溶血性レンサ球菌	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	ライノウイルス	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
水痘	水痘帯状疱疹ウイルス	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2
発疹症	ヒトヘルペスウイルス 6 (HHV6)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
	ヒトヘルペスウイルス 7 (HHV7)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	パルボウイルスB19	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
	コクサッキーウイルス A9型	0	0	0	0	0	0	5	2	0	0	0	0	7
	パレコウイルス 3型	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3
急性脳炎・脳症	ヒトヘルペスウイルス 6 (HHV6)	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2
	ヒトヘルペスウイルス 7 (HHV7)	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	ヒトボカウイルス	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2
呼吸器疾患 (上気道炎・下気道炎)	ライノウイルス	0	0	1	4	0	0	0	0	0	1	0	0	6
	RSウイルス	0	0	0	2	0	0	0	1	1	0	0	0	4
	ヒトメタニューモウイルス	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	ヒトボカウイルス	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	コクサッキーウイルス B4型	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
	コクサッキーウイルス A9型	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	コクサッキーウイルス A10型	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
	エコーウイルス 11型	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	4
	エンテロウイルス 68型	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
	パレコウイルス 3型	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	ヒトヘルペスウイルス 6 (HHV6)	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	3
	ヒトヘルペスウイルス 7 (HHV7)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	その他 (不明熱・けいれん等)	アデノウイルス 2型	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
コクサッキーウイルス A6型		0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
コクサッキーウイルス B5型		0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
エコーウイルス 11型		0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	4
ライノウイルス		0	0	0	2	0	1	0	0	4	1	2	0	10
単純ヘルペスウイルス 1型		0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
ヒトヘルペスウイルス 7 (HHV7)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	3
RSウイルス	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	5	
検出数(合計)		13	3	8	23	10	16	21	26	30	24	35	12	221

4. 資 料

(1) 全数把握対象疾病の患者数	
付表1-1：全数把握対象疾病の年間患者数（2018年）	55
付表1-2：全数把握対象疾病の週別患者数（届出のあった疾病）（2018年）	56
付表1-3：全数把握対象疾病の保健所別患者数（届出のあった疾病）（2018年）	57
付表1-4：全数把握対象疾病の年齢階級別患者数（届出のあった疾病）（2018年）	58
(2) 定点把握対象疾病の週（月）別患者数	
付表2-1：週報対象疾病の週別患者数（2018年）	59
付表2-2：週報対象疾病の週別定点あたり患者数（2018年）	60
付表2-3：月報対象疾病の月別患者数（2018年）	61
付表2-4：月報対象疾病の月別定点あたり患者数（2018年）	61
(3) 定点把握対象疾病の保健所別患者数	
付表3-1：週報対象疾病の保健所別患者数（2018年）	62
付表3-2：週報対象疾病の保健所別定点あたり患者数（2018年）	63
付表3-3：月報対象疾病の保健所別患者数（2018年）	64
付表3-4：月報対象疾病の保健所別定点あたり患者数（2018年）	64
(4) 定点把握対象疾病の年齢階級別患者数	
付表4-1：週報対象疾病の年齢階級別患者数（2018年）	65
付表4-2：週報対象疾病患者の年齢階級別割合（2018年）	66
付表4-3：月報対象疾病の年齢階級別患者数（2018年）	67
付表4-4：月報対象疾病患者の年齢階級別割合（2018年）	67
(5) 定点把握対象疾病（月報）の性別患者数	
付表5：月報対象疾病の性別患者数と割合（2018年）	67

付表1-1 全数把握対象疾病の年間患者数(2018年)

疾病名		計	疾病名		計	
一類感染症	エボラ出血熱	0	四類感染症(2)	日本紅斑熱	9	
	クリミア・コンゴ出血熱	0		日本脳炎	0	
	痘そう	0		ハンタウイルス肺症候群	0	
	南米出血熱	0		Bウイルス病	0	
	ペスト	0		鼻疽	0	
	マールブルグ病	0		ブルセラ症	0	
	ラッサ熱	0		ベネズエラウマ脳炎	0	
二類感染症	急性灰白髄炎	0		ヘンドラウイルス感染症	0	
	結核	1170		発しんチフス	0	
	ジフテリア	0		ボツリヌス症	0	
	重症急性呼吸器症候群* ^A	0		マラリア	1	
	中東呼吸器症候群* ^B	0		野兔病	0	
	鳥インフルエンザ(H5N1)	0		ライム病	2	
	鳥インフルエンザ(H7N9)	0		リッサウイルス感染症	0	
三類感染症	コレラ	1		リフトバレー熱	0	
	細菌性赤痢	6		類鼻疽	0	
	腸管出血性大腸菌感染症	133		レジオネラ症	88	
	腸チフス	0		レプトスピラ症	2	
	パラチフス	2		ロッキー山紅斑熱	0	
四類感染症(1)	E型肝炎	13		五類感染症	アメーバ赤痢	30
	ウエストナイル熱* ^C	0			ウイルス性肝炎* ^F	15
	A型肝炎	17			カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	84
	エキノкокクス症	0			急性弛緩性麻痺* ^{G*1}	9
	黄熱	0			急性脳炎* ^H	34
	オウム病	0			クリプトスポリジウム症	1
	オムスク出血熱	0			クロイツフェルト・ヤコブ病	11
	回帰熱	0			劇症型溶血性レンサ球菌感染症	40
	キャサナル森林病	0			後天性免疫不全症候群	26
	Q熱	1	ジアルジア症		4	
	狂犬病	0	侵襲性インフルエンザ菌感染症		20	
	コクシジオイデス症	0	侵襲性髄膜炎菌感染症		6	
	サル痘	0	侵襲性肺炎球菌感染症		230	
	ジカウイルス感染症	0	水痘(入院例)		20	
	重症熱性血小板減少症候群* ^D	0	先天性風しん症候群		0	
	腎症候性出血熱	0	梅毒		271	
	西部ウマ脳炎	0	播種性クリプトкокクス症		10	
	ダニ媒介脳炎	0	破傷風		3	
	炭疽	0	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		0	
	チクングニア熱	0	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		3	
	つつが虫病	4	百日咳* ²		564	
	デング熱	7	風しん		51	
	東部ウマ脳炎	0	麻しん		2	
鳥インフルエンザ* ^E	0	薬剤耐性アシネトバクター感染症	0			
ニパウイルス感染症	0					

^A病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。^B病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。

^Cウエストナイル脳炎を含む。^D病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。*^EH5N1及びH7N9を除く。*^FE型肝炎及びA型肝炎を除く。

^G急性灰白髄炎を除く。^Hウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

*¹2018年5月1日より追加 *²2018年1月1日より追加

付表1-2 全数把握対象疾病の週別患者数(届出のあった疾病)(2018年)

疾病名		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	
二類	結核	6	22	23	11	15	19	28	16	25	22	23	18	24	28	18	29	27	12	28	29	20	16	23	27	23	25	34	
三類	コレラ	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
感染	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
	腸管出血性大腸菌感染症	1	0	1	2	0	1	0	0	1	1	0	1	0	1	2	1	2	1	0	1	4	1	2	9	3	5	4	
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
四類	E型肝炎	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0
	A型肝炎	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	
	Q熱	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	つつが虫病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	デング熱	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	1	0	0	
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	マラリア	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ライム病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	レジオネラ症	1	1	0	0	1	2	0	0	3	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	1	2	1	2	4	4	3	2	3
	レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
五類	アメーバ赤痢	0	0	1	2	1	1	0	0	3	0	0	2	1	1	0	0	2	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	
	ウイルス性肝炎* ^A	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	1	0	0	1	0	0	1	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	1	2	1	3	0	1	0	2	1	2	4	0	2	3	1	0	0	0	1	4	2	1	0	1	0	1	
	急性弛緩性麻痺* ^B * ¹	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	
	急性脳炎* ^C	1	1	1	2	3	0	0	0	1	1	3	0	3	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	2	0	0	
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	2	2	1	1	0	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	0	2	0	0	1	0	2	1	1	
	後天性免疫不全症候群	0	1	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2	0	1	1	1	0	0	0	
	ジアルジア症	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	1	0	0	0	1	
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
	侵襲性肺炎球菌感染症	7	16	3	9	7	7	4	7	6	6	7	7	6	5	6	5	6	9	8	5	6	5	1	6	2	0	3	
	水痘(入院例)	1	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	
	梅毒	1	3	7	5	4	5	2	3	0	3	2	4	4	4	6	5	1	8	9	6	9	4	12	5	11	6	6	
	播種性クリプトコックス症	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
	破傷風	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	
	百日咳* ²	0	3	2	4	3	3	2	3	3	9	10	8	5	11	2	6	7	4	6	4	2	9	11	8	10	19	15	
	風しん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	
麻しん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
疾病名		28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	計		
二類	結核	25	24	22	30	29	18	24	27	31	28	16	25	25	21	23	22	21	18	23	21	22	21	21	18	24	1170		
三類	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1		
感染	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	6		
	腸管出血性大腸菌感染症	4	3	8	14	11	11	2	1	2	3	4	4	1	0	0	5	8	1	2	1	0	1	2	0	1	133		
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2		
四類	E型肝炎	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13		
	A型肝炎	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2	1	0	2	0	0	1	0	1	0	0	2	0	0	0	0	17		
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1		
	つつが虫病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	1	0	0	0	0	4		
	デング熱	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	7		
	日本紅斑熱	0	1	0	1	0	1	0	0	1	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9		
	マラリア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1		
	ライム病	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2		
	レジオネラ症	3	7	2	0	1	1	0	1	1	1	2	3	6	2	4	2	4	2	1	2	3	0	2	2	2	88		
	レプトスピラ症	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2		
五類	アメーバ赤痢	1	1	0	2	1	1	0	0	2	1	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	30		
	ウイルス性肝炎* ^A	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	15		
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	0	1	1	1	0	5	1	1	4	4	1	0	1	1	2	4	1	1	1	2	6	1	1	4	4	84		
	急性弛緩性麻痺* ^B * ¹	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	9		
	急性脳炎* ^C	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	1	2	34		
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3	1	0	0	11		
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	2	0	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	1	2	0	1	0	1	2	1	2	2	40		
	後天性免疫不全症候群	2	0	1	2	1	2	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2	26		
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4		
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	1	0	1	0	1	1	0	20		
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	6		
	侵襲性肺炎球菌感染症	1	0	1	3	3	3	5	2	2	1	0	1	2	3	1	5	5	1	2	9	1	8	2	4	6	230		
	水痘(入院例)	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	4	1	0	1	20		
	梅毒	6	4	5	7	1																							

付表1-3 全数把握対象疾病の保健所別患者数(届出のあった疾病)(2018年)

疾病名		神戸市	尼崎市	姫路市	西宮市	明石市	芦屋	伊丹	宝塚	加古川	加東
二類	結核	376	130	85	92	79	21	72	51	85	46
三類	コレラ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染	細菌性赤痢	4	0	1	0	1	0	0	0	0	0
	腸管出血性大腸菌感染症	22	7	27	6	11	0	7	2	21	5
	パラチフス	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
四類	E型肝炎	4	0	2	1	1	0	0	1	0	0
	A型肝炎	8	0	2	1	0	0	2	0	1	1
	Q熱	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	つつが虫病	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	デング熱	2	2	1	0	1	0	0	0	1	0
	日本紅斑熱	1	0	0	4	1	0	0	0	1	0
	マラリア	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ライム病	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0
	レジオネラ症	28	4	11	9	12	0	2	4	1	8
	レプトスピラ症	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
五類	アメーバ赤痢	6	5	0	5	3	1	2	1	2	3
	ウイルス性肝炎 ^{*A}	5	0	3	3	1	0	0	0	0	1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	16	10	12	10	2	0	2	2	4	10
	急性弛緩性麻痺 ^{*B*1}	4	0	4	0	0	0	0	0	1	0
	急性脳炎 ^{*C}	21	7	0	0	0	0	0	0	4	1
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	クロイツフェルト・ヤコブ病	3	0	3	2	0	1	0	0	1	1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	13	8	2	2	3	0	0	2	5	3
	後天性免疫不全症候群	7	8	1	2	2	0	0	0	2	2
	ジアルジア症	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	11	1	2	2	2	0	0	1	1	0
	侵襲性髄膜炎菌感染症	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0
	侵襲性肺炎球菌感染症	75	18	26	11	23	0	5	8	26	13
	水痘(入院例)	5	3	1	0	0	0	2	2	1	1
	梅毒	110	22	27	21	11	3	12	14	14	11
	播種性クリプトコックス症	2	1	3	1	0	0	0	0	2	0
	破傷風	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	百日咳 ^{*2}	94	39	50	55	3	14	15	34	108	3
	風しん	9	12	5	7	3	1	5	2	2	1
	麻しん	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0

疾病名		龍野	赤穂	福崎	豊岡	朝来	丹波	洲本	計
二類	結核	24	14	7	20	12	22	34	1170
三類	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	1
感染	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	0	6
	腸管出血性大腸菌感染症	14	2	2	1	0	2	4	133
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	2
四類	E型肝炎	1	1	0	0	0	2	0	13
	A型肝炎	0	0	0	2	0	0	0	17
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	1
	つつが虫病	1	0	0	0	1	0	0	4
	デング熱	0	0	0	0	0	0	0	7
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	2	9
	マラリア	0	0	0	0	0	0	0	1
	ライム病	0	0	0	0	0	0	0	2
	レジオネラ症	3	1	1	1	0	1	2	88
	レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	0	2
五類	アメーバ赤痢	0	1	0	1	0	0	0	30
	ウイルス性肝炎 ^{*A}	0	2	0	0	0	0	0	15
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	8	0	1	0	5	1	84
	急性弛緩性麻痺 ^{*B*1}	0	0	0	0	0	0	0	9
	急性脳炎 ^{*C}	0	1	0	0	0	0	0	34
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	1
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	0	0	11
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	1	0	1	0	0	0	40
	後天性免疫不全症候群	0	1	0	0	0	0	1	26
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	0	4
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	20
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	1	0	0	0	0	1	6
	侵襲性肺炎球菌感染症	4	2	1	13	0	4	1	230
	水痘(入院例)	1	0	0	0	1	1	2	20
	梅毒	2	5	4	2	3	0	10	271
	播種性クリプトコックス症	0	0	0	1	0	0	0	10
	破傷風	0	0	0	0	0	0	0	3
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	0	0	0	0	0	0	3
	百日咳 ^{*2}	24	40	4	13	3	12	53	564
	風しん	1	0	0	0	1	0	2	51
	麻しん	0	0	0	0	0	0	0	2

^{*A}E型肝炎及びA型肝炎を除く。^{*B}急性灰白髄炎を除く。^{*C}ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。 ^{*1}2018年5月1日より追加 ^{*2}2018年1月1日より追加

付表1-4 全数把握対象疾病の年齢階級別患者数(届出のあった疾病)(2018年)

疾病名		0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳
二類	結核	14	8	7	3	16	38	40	22	32	40	46
三類	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
四類 感染症	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1
	腸管出血性大腸菌感染症	1	16	10	11	9	21	13	6	3	11	12
	パラチフス	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	E型肝炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
四類 感染症	A型肝炎	0	0	0	0	0	0	3	2	2	1	1
	Q熱	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	つつが虫病	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	デング熱	0	0	0	0	0	2	0	2	2	0	0
	日本紅斑熱	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	マラリア	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	ライム病	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0
	レジオネラ症	0	0	0	0	0	1	0	0	0	4	4
	レプトスピラ症	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	五類 感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
ウイルス性肝炎 ^{*A}		0	0	0	0	0	0	2	0	3	4	3
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症		0	0	0	0	0	1	1	1	1	2	0
急性弛緩性麻痺 ^{*B*1}		2	5	1	1	0	0	0	0	0	0	0
急性脳炎 ^{*C}		2	14	5	3	1	1	0	0	1	1	3
クリプトスポリジウム症		0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
クロイツフェルト・ヤコブ病		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		2	0	0	0	1	0	0	1	0	3	1
後天性免疫不全症候群		0	0	0	0	1	2	2	4	4	2	2
ジアルジア症		0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
侵襲性インフルエンザ菌感染症		0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1
侵襲性髄膜炎菌感染症		0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0
侵襲性肺炎球菌感染症		8	23	7	2	1	2	2	2	6	5	10
水痘(入院例)		1	3	2	1	0	1	1	3	0	1	2
梅毒		0	0	0	0	21	61	37	24	31	16	23
播種性クリプトコックス症		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
破傷風		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
バンコマイシン耐性腸球菌感染症		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
百日咳 ^{*2}		44	27	175	123	19	8	8	12	28	32	23
風しん		0	3	0	0	0	5	6	5	5	9	8
麻しん	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	

疾病名		50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳以上	計
二類	結核	48	58	57	96	107	136	138	150	114	1170
三類	コレラ	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
四類 感染症	細菌性赤痢	0	1	1	0	1	0	0	0	0	6
	腸管出血性大腸菌感染症	4	1	3	3	0	2	3	4	0	133
	パラチフス	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	E型肝炎	4	0	2	1	1	2	2	0	0	13
四類 感染症	A型肝炎	2	1	2	0	1	0	1	1	0	17
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	つつが虫病	0	0	0	0	1	0	2	0	0	4
	デング熱	0	0	0	0	0	1	0	0	0	7
	日本紅斑熱	0	0	0	3	3	0	1	1	0	9
	マラリア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	ライム病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	レジオネラ症	4	8	12	10	18	9	8	6	4	88
	レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	五類 感染症	アメーバ赤痢	4	5	3	6	2	0	2	0	0
ウイルス性肝炎 ^{*A}		0	2	0	0	0	1	0	0	0	15
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症		2	3	2	5	9	17	19	11	10	84
急性弛緩性麻痺 ^{*B*1}		0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
急性脳炎 ^{*C}		1	1	0	1	0	0	0	0	0	34
クリプトスポリジウム症		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
クロイツフェルト・ヤコブ病		0	0	1	3	2	3	1	1	0	11
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		3	4	2	2	3	1	5	6	6	40
後天性免疫不全症候群		1	2	3	3	0	0	0	0	0	26
ジアルジア症		0	0	0	0	1	1	1	0	0	4
侵襲性インフルエンザ菌感染症		0	1	1	1	1	2	1	6	4	20
侵襲性髄膜炎菌感染症		1	1	0	1	0	1	0	0	0	6
侵襲性肺炎球菌感染症		4	10	12	33	31	26	16	19	11	230
水痘(入院例)		0	2	1	1	0	0	1	0	0	20
梅毒		17	7	6	7	6	5	5	3	2	271
播種性クリプトコックス症		0	0	1	1	2	1	3	0	0	10
破傷風		0	0	0	0	0	0	2	0	0	3
バンコマイシン耐性腸球菌感染症		2	0	0	1	0	0	0	0	0	3
百日咳 ^{*2}		11	13	11	15	8	1	3	2	1	564
風しん		5	3	1	0	1	0	0	0	0	51
麻しん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	

^{*A}E型肝炎及びA型肝炎を除く。^{*B}急性灰白髄炎を除く。^{*C}ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。 *2018年5月1日より追加 *2018年1月1日より追加

付表2-1 週報対象疾病の週別患者数(2018年)

疾 病 名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
インフルエンザ ^{*A}	2177	4599	10230	10068	9971	8706	5757	4572	3176	2132	1426	843	442	245	131	202	154	65
RSウイルス感染症	79	119	88	85	68	85	60	46	56	44	49	33	38	23	22	27	28	18
咽頭結膜熱	41	39	33	45	52	41	33	52	59	38	40	55	43	29	18	36	73	27
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	64	141	216	165	194	214	142	260	206	201	206	176	196	152	139	152	215	119
感染性胃腸炎	394	749	843	736	733	820	704	774	769	747	698	589	679	579	590	803	895	531
水痘	45	44	47	38	28	51	35	40	17	17	31	52	25	49	37	31	43	39
手足口病	10	12	12	8	10	5	3	1	7	4	2	6	1	4	6	3	6	2
伝染性紅斑	3	5	4	1	4	5	2	4	5	4	6	2	4	2	1	3	3	2
突発性発しん	29	28	39	28	40	35	24	32	49	26	46	44	38	49	56	54	63	30
ヘルパンギーナ	0	1	4	1	3	1	0	0	1	1	1	0	1	1	1	2	5	1
流行性耳下腺炎	9	11	18	9	13	5	12	11	9	10	11	11	10	6	10	18	18	11
急性出血性結膜炎	0	0	1	1	1	1	3	0	0	1	1	0	3	4	2	2	2	1
流行性角結膜炎	4	14	25	19	18	12	18	17	12	20	21	10	22	24	15	23	27	18
細菌性髄膜炎 ^{*B}	0	3	3	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	3	1
無菌性髄膜炎	0	0	1	0	4	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	1	0
マイコプラズマ肺炎	2	3	4	4	1	4	0	1	1	3	1	1	2	1	2	1	3	0
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるもの)	1	0	0	4	3	3	4	16	4	6	5	7	5	11	6	4	3	9

疾 病 名	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
インフルエンザ ^{*A}	48	40	24	17	14	3	0	6	0	1	0	0	0	1	0	3	2	5
RSウイルス感染症	13	27	20	15	15	24	23	24	36	65	61	100	134	132	123	154	227	316
咽頭結膜熱	79	86	90	109	128	88	131	90	70	63	32	40	41	39	38	37	30	30
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	214	213	228	238	273	256	228	233	187	178	123	119	116	106	60	80	98	99
感染性胃腸炎	1021	1096	1069	1119	1164	1019	931	972	747	731	587	671	645	545	367	572	530	495
水痘	76	44	66	33	75	41	56	51	65	39	33	31	27	24	28	30	40	28
手足口病	7	29	17	27	40	41	44	87	107	134	154	204	164	129	106	100	139	104
伝染性紅斑	4	2	2	2	3	1	4	10	10	9	5	6	14	4	5	6	5	3
突発性発しん	72	75	64	67	57	61	61	63	49	59	55	55	53	37	41	47	55	50
ヘルパンギーナ	1	2	9	8	14	26	40	64	113	212	215	303	348	249	129	155	150	156
流行性耳下腺炎	19	17	16	14	26	20	19	20	15	20	11	11	19	12	6	15	13	13
急性出血性結膜炎	3	0	1	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
流行性角結膜炎	53	38	19	35	13	23	26	12	24	17	7	11	18	11	11	41	35	21
細菌性髄膜炎 ^{*B}	1	1	1	2	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0
無菌性髄膜炎	2	1	0	0	0	3	1	0	2	0	1	0	0	3	1	2	0	0
マイコプラズマ肺炎	0	0	3	2	1	2	1	1	1	3	1	0	1	1	1	2	3	1
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるもの)	3	5	1	2	0	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

疾 病 名	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	計
インフルエンザ ^{*A}	29	11	15	9	13	21	15	13	40	54	92	236	401	758	1410	1896	70073
RSウイルス感染症	301	287	252	209	162	152	131	94	108	89	86	84	84	95	72	66	4749
咽頭結膜熱	22	23	15	29	20	34	28	51	65	59	51	77	86	84	85	57	2761
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	104	95	101	115	122	143	172	171	219	207	186	249	242	190	241	148	8912
感染性胃腸炎	533	466	450	540	383	519	522	536	676	719	713	1008	1181	1163	1265	1041	38629
水痘	48	35	55	40	49	50	60	63	67	70	47	63	86	66	110	56	2421
手足口病	110	136	116	144	121	129	108	78	113	101	74	77	78	70	45	33	3268
伝染性紅斑	7	5	7	13	12	13	18	12	32	22	26	49	69	54	68	38	600
突発性発しん	52	48	42	41	33	38	31	34	42	46	36	46	34	43	39	23	2359
ヘルパンギーナ	99	94	69	66	39	67	43	26	34	10	9	15	18	9	10	4	2830
流行性耳下腺炎	15	16	13	11	14	5	7	8	14	11	10	13	7	8	2	5	647
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	34
流行性角結膜炎	26	22	28	37	30	34	26	30	27	29	30	47	53	42	47	16	1258
細菌性髄膜炎 ^{*B}	0	0	1	3	4	0	0	1	0	1	0	1	0	4	0	0	37
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	1	1	2	0	0	32
マイコプラズマ肺炎	2	2	3	3	1	3	1	0	4	1	4	2	0	0	1	2	87
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるもの)	0	0	0	1	0	1	1	1	0	0	0	1	0	0	3	2	117

^{*A}鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。^{*B}インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。

付表2-2 週報対象疾病の週別定点あたり患者数(2018年)

疾 病 名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
インフルエンザ ^{*A}	10.94	23.11	51.41	50.59	50.11	43.75	28.93	22.97	15.96	10.71	7.17	4.24	2.22	1.24	0.66	1.02	0.78	0.33
RSウイルス感染症	0.61	0.92	0.68	0.66	0.53	0.66	0.47	0.36	0.43	0.34	0.38	0.26	0.29	0.18	0.17	0.21	0.22	0.14
咽頭結膜熱	0.32	0.30	0.26	0.35	0.40	0.32	0.26	0.40	0.46	0.29	0.31	0.43	0.33	0.22	0.14	0.28	0.57	0.21
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.50	1.09	1.67	1.28	1.50	1.66	1.10	2.02	1.60	1.56	1.60	1.36	1.52	1.18	1.09	1.18	1.68	0.93
感染性胃腸炎	3.05	5.81	6.53	5.71	5.68	6.36	5.46	6.00	5.96	5.79	5.41	4.57	5.26	4.49	4.61	6.22	6.99	4.15
水痘	0.35	0.34	0.36	0.29	0.22	0.40	0.27	0.31	0.13	0.13	0.24	0.40	0.19	0.38	0.29	0.24	0.34	0.30
手足口病	0.08	0.09	0.09	0.06	0.08	0.04	0.02	0.01	0.05	0.03	0.02	0.05	0.01	0.03	0.05	0.02	0.05	0.02
伝染性紅斑	0.02	0.04	0.03	0.01	0.03	0.04	0.02	0.03	0.04	0.03	0.05	0.02	0.03	0.02	0.01	0.02	0.02	0.02
突発性発しん	0.22	0.22	0.30	0.22	0.31	0.27	0.19	0.25	0.38	0.20	0.36	0.34	0.29	0.38	0.44	0.42	0.49	0.23
ヘルパンギーナ	0.00	0.01	0.03	0.01	0.02	0.01	0.00	0.00	0.01	0.01	0.01	0.00	0.01	0.01	0.01	0.02	0.04	0.01
流行性耳下腺炎	0.07	0.09	0.14	0.07	0.10	0.04	0.09	0.09	0.07	0.08	0.09	0.09	0.08	0.05	0.08	0.14	0.14	0.09
急性出血性結膜炎	0.00	0.00	0.03	0.03	0.03	0.03	0.09	0.00	0.00	0.03	0.03	0.00	0.09	0.11	0.06	0.06	0.06	0.03
流行性角結膜炎	0.11	0.40	0.71	0.54	0.51	0.34	0.51	0.49	0.34	0.57	0.60	0.29	0.63	0.69	0.43	0.66	0.77	0.51
細菌性髄膜炎 ^{*B}	0.00	0.21	0.21	0.00	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.14	0.00	0.00	0.21	0.07
無菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.07	0.00	0.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.07	0.00	0.07	0.00	0.07	0.00	0.07	0.00	0.00
マイコプラズマ肺炎	0.14	0.21	0.29	0.29	0.07	0.29	0.00	0.07	0.07	0.21	0.07	0.07	0.14	0.07	0.14	0.07	0.21	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.07	0.00	0.00	0.07	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるもの)	0.07	0.00	0.00	0.29	0.21	0.21	0.29	1.14	0.29	0.43	0.36	0.50	0.36	0.79	0.43	0.29	0.21	0.64

疾 病 名	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
インフルエンザ ^{*A}	0.24	0.20	0.12	0.09	0.07	0.02	0.00	0.03	0.00	0.01	0.00	0.00	0.00	0.01	0.00	0.02	0.01	0.03
RSウイルス感染症	0.10	0.21	0.16	0.12	0.12	0.19	0.18	0.19	0.28	0.50	0.47	0.78	1.04	1.02	0.97	1.19	1.77	2.45
咽頭結膜熱	0.61	0.67	0.70	0.84	0.99	0.68	1.02	0.70	0.54	0.49	0.25	0.31	0.32	0.30	0.30	0.29	0.23	0.23
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.66	1.65	1.77	1.84	2.12	1.98	1.77	1.81	1.45	1.38	0.95	0.92	0.90	0.82	0.47	0.62	0.77	0.77
感染性胃腸炎	7.91	8.50	8.29	8.67	9.02	7.90	7.22	7.53	5.79	5.67	4.55	5.20	5.00	4.22	2.89	4.43	4.14	3.84
水痘	0.59	0.34	0.51	0.26	0.58	0.32	0.43	0.40	0.50	0.30	0.26	0.24	0.21	0.19	0.22	0.23	0.31	0.22
手足口病	0.05	0.22	0.13	0.21	0.31	0.32	0.34	0.67	0.83	1.04	1.19	1.58	1.27	1.00	0.83	0.78	1.09	0.81
伝染性紅斑	0.03	0.02	0.02	0.02	0.02	0.01	0.03	0.08	0.08	0.07	0.04	0.05	0.11	0.03	0.04	0.05	0.04	0.02
突発性発しん	0.56	0.58	0.50	0.52	0.44	0.47	0.47	0.49	0.38	0.46	0.43	0.43	0.41	0.29	0.32	0.36	0.43	0.39
ヘルパンギーナ	0.01	0.02	0.07	0.06	0.11	0.20	0.31	0.50	0.88	1.64	1.67	2.35	2.70	1.93	1.02	1.20	1.17	1.21
流行性耳下腺炎	0.15	0.13	0.12	0.11	0.20	0.16	0.15	0.16	0.12	0.16	0.09	0.09	0.15	0.09	0.05	0.12	0.10	0.10
急性出血性結膜炎	0.09	0.00	0.03	0.06	0.00	0.00	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.03	0.00
流行性角結膜炎	1.51	1.09	0.54	1.00	0.37	0.66	0.74	0.34	0.71	0.49	0.20	0.31	0.51	0.31	0.31	1.17	1.00	0.60
細菌性髄膜炎 ^{*B}	0.07	0.07	0.07	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.08	0.00	0.07	0.00	0.00	0.00	0.00	0.07	0.00
無菌性髄膜炎	0.14	0.07	0.00	0.00	0.00	0.21	0.07	0.00	0.14	0.00	0.07	0.00	0.00	0.21	0.07	0.14	0.00	0.00
マイコプラズマ肺炎	0.00	0.00	0.21	0.14	0.07	0.14	0.07	0.07	0.07	0.23	0.07	0.00	0.07	0.07	0.07	0.14	0.21	0.08
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるもの)	0.21	0.36	0.07	0.14	0.00	0.14	0.14	0.07	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

疾 病 名	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	週平均
インフルエンザ ^{*A}	0.15	0.06	0.08	0.05	0.07	0.11	0.08	0.07	0.20	0.27	0.46	1.19	2.02	3.81	7.09	9.62	6.78
RSウイルス感染症	2.33	2.22	1.95	1.62	1.26	1.18	1.02	0.73	0.84	0.69	0.67	0.65	0.65	0.74	0.56	0.52	0.71
咽頭結膜熱	0.17	0.18	0.12	0.22	0.16	0.26	0.22	0.40	0.50	0.46	0.40	0.60	0.67	0.65	0.66	0.45	0.41
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.81	0.74	0.78	0.89	0.95	1.11	1.33	1.33	1.70	1.60	1.44	1.93	1.88	1.47	1.87	1.17	1.33
感染性胃腸炎	4.13	3.61	3.49	4.19	2.97	4.02	4.05	4.16	5.24	5.57	5.53	7.81	9.16	9.02	9.81	8.20	5.77
水痘	0.37	0.27	0.43	0.31	0.38	0.39	0.47	0.49	0.52	0.54	0.36	0.49	0.67	0.51	0.85	0.44	0.36
手足口病	0.85	1.05	0.90	1.12	0.94	1.00	0.84	0.60	0.88	0.78	0.57	0.60	0.60	0.54	0.35	0.26	0.49
伝染性紅斑	0.05	0.04	0.05	0.10	0.09	0.10	0.14	0.09	0.25	0.17	0.20	0.38	0.53	0.42	0.53	0.30	0.09
突発性発しん	0.40	0.37	0.33	0.32	0.26	0.29	0.24	0.26	0.33	0.36	0.28	0.36	0.26	0.33	0.30	0.18	0.35
ヘルパンギーナ	0.77	0.73	0.53	0.51	0.30	0.52	0.33	0.20	0.26	0.08	0.07	0.12	0.14	0.07	0.08	0.03	0.42
流行性耳下腺炎	0.12	0.12	0.10	0.09	0.11	0.04	0.05	0.06	0.11	0.09	0.08	0.10	0.05	0.06	0.02	0.04	0.10
急性出血性結膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.03	0.06	0.02
流行性角結膜炎	0.74	0.63	0.80	1.06	0.86	0.97	0.74	0.86	0.77	0.83	0.86	1.34	1.51	1.20	1.34	0.47	0.69
細菌性髄膜炎 ^{*B}	0.00	0.00	0.07	0.21	0.29	0.00	0.00	0.07	0.00	0.07	0.00	0.07	0.00	0.29	0.00	0.00	0.05
無菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.07	0.00	0.07	0.00	0.00	0.00	0.07	0.07	0.07	0.14	0.00	0.00	0.04
マイコプラズマ肺炎	0.14	0.14	0.21	0.21	0.07	0.21	0.07	0.00	0.29	0.07	0.29	0.14	0.00	0.00	0.07	0.14	0.12
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるもの)	0.00	0.00	0.00	0.07	0.00	0.07	0.07	0.07	0.00	0.00	0.00	0.07	0.00	0.00	0.21	0.14	0.16

^{*A}鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。^{*B}インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。

付表2-3 月報対象疾病の月別患者数(2018年)

疾 病 名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
性器クラミジア感染症	87	81	83	91	88	96	84	100	96	95	103	73	1077
性器ヘルペスウイルス感染症	21	21	24	35	37	30	38	29	37	41	33	30	376
尖圭コンジローマ	11	14	18	18	21	16	22	13	13	19	18	9	192
淋菌感染症	29	25	22	34	24	17	32	39	27	22	23	23	317
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	45	42	48	56	55	43	50	44	33	32	34	46	528
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	10	6	2	6	8	6	0	4	1	1	5	2	51
薬剤耐性緑膿菌感染症	0	1	1	0	2	0	0	0	2	2	1	0	9

付表2-4 月報対象疾病の月別定点あたり患者数(2018年)

疾 病 名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	月平均
性器クラミジア感染症	1.89	1.76	1.80	1.98	1.91	2.09	1.83	2.17	2.09	2.07	2.24	1.62	1.95
性器ヘルペスウイルス感染症	0.46	0.46	0.52	0.76	0.80	0.65	0.83	0.63	0.80	0.89	0.72	0.67	0.68
尖圭コンジローマ	0.24	0.30	0.39	0.39	0.46	0.35	0.48	0.28	0.28	0.41	0.39	0.20	0.35
淋菌感染症	0.63	0.54	0.48	0.74	0.52	0.37	0.70	0.85	0.59	0.48	0.50	0.51	0.58
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	3.46	3.23	3.69	4.00	3.93	3.07	3.85	3.14	2.36	2.29	2.43	3.29	3.22
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0.77	0.46	0.15	0.43	0.57	0.43	0.00	0.29	0.07	0.07	0.36	0.14	0.31
薬剤耐性緑膿菌感染症	0.00	0.08	0.08	0.00	0.14	0.00	0.00	0.00	0.14	0.14	0.07	0.00	0.05

付表3-1 週報対象疾病の保健所別患者数(2018年)

疾 病 名	神戸市	尼崎市	姫路市	西宮市	明石市	芦屋	伊丹	宝塚	加古川	加東
インフルエンザ**A	15313	3960	9843	2965	3481	894	4582	3218	5820	5137
RSウイルス感染症	744	329	836	163	213	22	151	188	746	462
咽頭結膜熱	500	73	266	202	92	36	131	361	252	409
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2108	432	1490	630	251	199	887	440	584	344
感染性胃腸炎	7755	1750	6841	2453	2493	532	2103	1087	1998	3646
水痘	544	187	348	163	190	30	170	102	125	99
手足口病	777	112	409	182	128	62	146	203	182	339
伝染性紅斑	132	44	38	89	27	4	78	25	15	55
突発性発しん	495	153	314	143	139	28	115	112	226	254
ヘルパンギーナ	600	88	502	143	123	17	97	147	332	195
流行性耳下腺炎	168	40	134	18	28	3	54	35	41	40
急性出血性結膜炎	12	0	2	15	0	1	0	0	2	0
流行性角結膜炎	256	28	141	59	12	19	164	176	226	97
細菌性髄膜炎*B	12	0	0	1	—	—	—	—	3	0
無菌性髄膜炎	7	0	1	1	—	—	—	—	13	1
マイコプラズマ肺炎	10	13	0	4	—	—	—	—	27	5
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	1	—	—	—	—	0	0
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるもの)	20	6	1	2	—	—	—	—	42	5

疾 病 名	龍野	赤穂	福崎	豊岡	朝来	丹波	洲本	計
インフルエンザ**A	2556	2190	1011	3260	2326	1073	2444	70073
RSウイルス感染症	74	174	6	171	53	157	260	4749
咽頭結膜熱	55	85	5	47	32	111	104	2761
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	89	509	26	362	68	103	390	8912
感染性胃腸炎	1403	1772	378	2239	371	625	1183	38629
水痘	34	104	7	83	11	154	70	2421
手足口病	73	100	6	232	77	174	66	3268
伝染性紅斑	6	27	1	11	27	11	10	600
突発性発しん	48	77	4	108	47	33	63	2359
ヘルパンギーナ	107	32	25	51	23	104	244	2830
流行性耳下腺炎	18	26	0	4	21	8	9	647
急性出血性結膜炎	0	—	0	0	—	—	2	34
流行性角結膜炎	35	—	15	13	—	—	17	1258
細菌性髄膜炎*B	0	2	—	16	0	3	0	37
無菌性髄膜炎	0	1	—	6	0	1	1	32
マイコプラズマ肺炎	0	3	—	5	20	0	0	87
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	1	0	—	0	0	0	0	2
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるもの)	0	31	—	7	0	3	0	117

*A鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。 *Bインフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。

付表3-2 週報対象疾病の保健所別定点あたり患者数(2018年)

疾 病 名	神戸市	尼崎市	姫路市	西宮市	明石市	芦屋	伊丹	宝塚	加古川	加東
インフルエンザ ^{*A}	319.02	264.00	518.05	211.79	316.45	298.00	381.83	357.56	415.71	395.15
RSウイルス感染症	24.00	32.90	64.31	18.11	30.43	11.00	18.88	31.33	82.89	57.75
咽頭結膜熱	16.13	7.30	20.46	22.44	13.14	18.00	16.38	60.17	28.00	51.13
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	68.00	43.20	114.62	70.00	35.86	99.50	110.88	73.33	64.89	43.00
感染性胃腸炎	250.16	175.00	526.23	272.56	356.14	266.00	262.88	181.17	222.00	455.75
水痘	17.55	18.70	26.77	18.11	27.14	15.00	21.25	17.00	13.89	12.38
手足口病	25.06	11.20	31.46	20.22	18.29	31.00	18.25	33.83	20.22	42.38
伝染性紅斑	4.26	4.40	2.92	9.89	3.86	2.00	9.75	4.17	1.67	6.88
突発性発しん	15.97	15.30	24.15	15.89	19.86	14.00	14.38	18.67	25.11	31.75
ヘルパンギーナ	19.35	8.80	38.62	15.89	17.57	8.50	12.13	24.50	36.89	24.38
流行性耳下腺炎	5.42	4.00	10.31	2.00	4.00	1.50	6.75	5.83	4.56	5.00
急性出血性結膜炎	1.20	0.00	0.67	5.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.67	0.00
流行性角結膜炎	25.60	9.33	47.00	19.67	6.00	19.00	82.00	88.00	75.33	48.50
細菌性髄膜炎 ^{*B}	4.00	0.00	0.00	1.00	—	—	—	—	3.00	0.00
無菌性髄膜炎	2.33	0.00	1.00	1.00	—	—	—	—	13.00	1.00
マイコプラズマ肺炎	3.33	13.00	0.00	4.00	—	—	—	—	27.00	5.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	0.00	1.00	—	—	—	—	0.00	0.00
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるもの)	6.67	6.00	1.00	2.00	—	—	—	—	42.00	5.00

疾 病 名	龍野	赤穂	福崎	豊岡	朝来	丹波	洲本	全県
インフルエンザ ^{*A}	319.50	365.00	505.50	407.50	775.33	178.83	305.50	352.26
RSウイルス感染症	14.80	43.50	6.00	34.20	26.50	39.25	52.00	36.85
咽頭結膜熱	11.00	21.25	5.00	9.40	16.00	27.75	20.80	21.42
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	17.80	127.25	26.00	72.40	34.00	25.75	78.00	69.15
感染性胃腸炎	280.60	443.00	378.00	447.80	185.50	156.25	236.60	299.78
水痘	6.80	26.00	7.00	16.60	5.50	38.50	14.00	18.79
手足口病	14.60	25.00	6.00	46.40	38.50	43.50	13.20	25.36
伝染性紅斑	1.20	6.75	1.00	2.20	13.50	2.75	2.00	4.66
突発性発しん	9.60	19.25	4.00	21.60	23.50	8.25	12.60	18.31
ヘルパンギーナ	21.40	8.00	25.00	10.20	11.50	26.00	48.80	21.96
流行性耳下腺炎	3.60	6.50	0.00	0.80	10.50	2.00	1.80	5.02
急性出血性結膜炎	0.00	—	0.00	0.00	—	—	2.00	0.97
流行性角結膜炎	35.00	—	15.00	13.00	—	—	17.00	35.98
細菌性髄膜炎 ^{*B}	0.00	2.00	—	16.00	0.00	3.00	0.00	2.65
無菌性髄膜炎	0.00	1.00	—	6.00	0.00	1.00	1.00	2.29
マイコプラズマ肺炎	0.00	3.00	—	5.00	20.00	0.00	0.00	6.24
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	1.00	0.00	—	0.00	0.00	0.00	0.00	0.14
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるもの)	0.00	31.00	—	7.00	0.00	3.00	0.00	8.36

^{*A}鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。^{*B}インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。

付表3-3 月報対象疾病の保健所別患者数(2018年)

疾 病 名	神戸市	尼崎市	姫路市	西宮市	明石市	芦屋	伊丹	宝塚	加古川	加東
性器クラミジア感染症	325	196	201	71	35	24	16	36	71	36
性器ヘルペスウイルス感染症	168	41	34	13	34	0	2	21	15	11
尖圭コンジローマ	51	49	35	22	9	1	3	5	2	2
淋菌感染症	104	56	58	27	1	3	3	6	39	4
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	119	57	62	99	—	—	—	—	23	13
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	8	0	1	0	—	—	—	—	0	0
薬剤耐性緑膿菌感染症	3	0	0	0	—	—	—	—	0	0

疾 病 名	龍野	赤穂	福崎	豊岡	朝来	丹波	洲本	計
性器クラミジア感染症	35	1	0	19	2	3	6	1077
性器ヘルペスウイルス感染症	5	1	13	14	0	4	0	376
尖圭コンジローマ	0	0	0	7	0	4	2	192
淋菌感染症	5	0	0	2	4	2	3	317
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	29	22	—	22	4	49	29	528
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	16	0	—	11	0	0	15	51
薬剤耐性緑膿菌感染症	1	0	—	2	0	2	1	9

付表3-4 月報対象疾病の保健所別定点あたり患者数(2018年)

疾 病 名	神戸市	尼崎市	姫路市	西宮市	明石市	芦屋	伊丹	宝塚	加古川	加東
性器クラミジア感染症	27.08	49.00	50.25	23.67	17.50	24.00	8.00	12.00	17.75	12.00
性器ヘルペスウイルス感染症	14.00	10.25	8.50	4.33	17.00	0.00	1.00	7.00	3.75	3.67
尖圭コンジローマ	4.25	12.25	8.75	7.33	4.50	1.00	1.50	1.67	0.50	0.67
淋菌感染症	8.67	14.00	14.50	9.00	0.50	3.00	1.50	2.00	9.75	1.33
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	39.67	57.00	62.00	99.00	—	—	—	—	23.00	13.00
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	2.67	0.00	1.00	0.00	—	—	—	—	0.00	0.00
薬剤耐性緑膿菌感染症	1.00	0.00	0.00	0.00	—	—	—	—	0.00	0.00

疾 病 名	龍野	赤穂	福崎	豊岡	朝来	丹波	洲本	全県
性器クラミジア感染症	35.00	1.00	0.00	19.00	2.00	3.00	3.00	23.45
性器ヘルペスウイルス感染症	5.00	1.00	13.00	14.00	0.00	4.00	0.00	8.19
尖圭コンジローマ	0.00	0.00	0.00	7.00	0.00	4.00	1.00	4.18
淋菌感染症	5.00	0.00	0.00	2.00	4.00	2.00	1.50	6.90
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	29.00	22.00	—	22.00	4.00	49.00	29.00	38.73
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	16.00	0.00	—	11.00	0.00	0.00	15.00	3.74
薬剤耐性緑膿菌感染症	1.00	0.00	—	2.00	0.00	2.00	1.00	0.65

付表4-1 週報対象疾病の年齢階級別患者数(2018年)

	0-5カ月	6-11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳
インフルエンザ ^{※A}	164	652	2209	2732	3178	4107	4795	4964	4755	4268	3947
RSウイルス感染症	765	884	1696	751	372	166	48	23	15	4	3
咽頭結膜熱	12	172	828	423	341	317	261	140	103	41	26
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9	46	317	474	858	1183	1327	1117	897	718	567
感染性胃腸炎	360	2133	5396	4426	3926	3850	3300	2523	2045	1660	1387
水痘	21	76	158	149	189	243	271	314	296	233	168
手足口病	17	194	918	745	513	339	212	119	78	43	34
伝染性紅斑	2	3	37	42	68	90	106	93	58	41	20
突発性発しん	44	835	1157	233	52	20	9	4	3	1	1
ヘルパンギーナ	17	228	770	613	407	338	201	96	53	41	22
流行性耳下腺炎	0	0	13	37	72	84	101	64	58	73	49
急性出血性結膜炎	0	0	0	1	0	2	2	0	2	1	1
流行性角結膜炎	5	16	57	46	54	46	49	26	32	23	14
	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳
細菌性髄膜炎 ^{※B}	1	0	0	0	0	1	0	1	1	3	1
無菌性髄膜炎	2	0	5	0	7	3	0	0	0	2	0
マイコプラズマ肺炎	0	15	25	16	3	3	3	3	4	2	1
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるもの)	12	72	25	2	0	0	0	1	0	0	0
	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上	計	
インフルエンザ ^{※A}	12461	3145	2656	3322	4246	2925	2557	1680	1310	70073	
	10-14歳	15-19歳	20歳以上								
RSウイルス感染症	9	1	12							4749	
咽頭結膜熱	49	4	44							2761	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1014	88	297							8912	
感染性胃腸炎	3528	930	3165							38629	
水痘	266	20	17							2421	
手足口病	35	2	19							3268	
伝染性紅斑	37	1	2							600	
突発性発しん	0	0	0							2359	
ヘルパンギーナ	30	4	10							2830	
流行性耳下腺炎	84	4	8							647	
	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上			
急性出血性結膜炎	5	0	1	7	5	4	2	1		34	
流行性角結膜炎	29	24	130	254	201	96	112	44		1258	
	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上						
細菌性髄膜炎 ^{※B}	1	3	3	3	19					37	
無菌性髄膜炎	0	1	1	3	8					32	
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	12					87	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	2					2	
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるもの)	0	0	0	1	4					117	

^{※A}鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。 ^{※B}インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。

付表4-2 週報対象疾病患者の年齢階級別割合(%) (2018年)

	0-5カ月	6-11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳
インフルエンザ ^{*A}	0.23	0.93	3.15	3.90	4.54	5.86	6.84	7.08	6.79	6.09	5.63
RSウイルス感染症	16.11	18.61	35.71	15.81	7.83	3.50	1.01	0.48	0.32	0.08	0.06
咽頭結膜熱	0.43	6.23	29.99	15.32	12.35	11.48	9.45	5.07	3.73	1.48	0.94
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.10	0.52	3.56	5.32	9.63	13.27	14.89	12.53	10.07	8.06	6.36
感染性胃腸炎	0.93	5.52	13.97	11.46	10.16	9.97	8.54	6.53	5.29	4.30	3.59
水痘	0.87	3.14	6.53	6.15	7.81	10.04	11.19	12.97	12.23	9.62	6.94
手足口病	0.52	5.94	28.09	22.80	15.70	10.37	6.49	3.64	2.39	1.32	1.04
伝染性紅斑	0.33	0.50	6.17	7.00	11.33	15.00	17.67	15.50	9.67	6.83	3.33
突発性発しん	1.87	35.40	49.05	9.88	2.20	0.85	0.38	0.17	0.13	0.04	0.04
ヘルパンギーナ	0.60	8.06	27.21	21.66	14.38	11.94	7.10	3.39	1.87	1.45	0.78
流行性耳下腺炎	0.00	0.00	2.01	5.72	11.13	12.98	15.61	9.89	8.96	11.28	7.57
急性出血性結膜炎	0.00	0.00	0.00	2.94	0.00	5.88	5.88	0.00	5.88	2.94	2.94
流行性角結膜炎	0.40	1.27	4.53	3.66	4.29	3.66	3.90	2.07	2.54	1.83	1.11
	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳
細菌性髄膜炎 ^{*B}	2.70	0.00	0.00	0.00	0.00	2.70	0.00	2.70	2.70	8.11	2.70
無菌性髄膜炎	6.25	0.00	15.63	0.00	21.88	9.38	0.00	0.00	0.00	6.25	0.00
マイコプラズマ肺炎	0.00	17.24	28.74	18.39	3.45	3.45	3.45	3.45	4.60	2.30	1.15
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるもの)	10.26	61.54	21.37	1.71	0.00	0.00	0.00	0.85	0.00	0.00	0.00
	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上	計	
インフルエンザ ^{*A}	17.78	4.49	3.79	4.74	6.06	4.17	3.65	2.40	1.87	100.00	
	10-14歳	15-19歳	20歳以上								
RSウイルス感染症	0.19	0.02	0.25							100.00	
咽頭結膜熱	1.77	0.14	1.59							100.00	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	11.38	0.99	3.33							100.00	
感染性胃腸炎	9.13	2.41	8.19							100.00	
水痘	10.99	0.83	0.70							100.00	
手足口病	1.07	0.06	0.58							100.00	
伝染性紅斑	6.17	0.17	0.33							100.00	
突発性発しん	0.00	0.00	0.00							100.00	
ヘルパンギーナ	1.06	0.14	0.35							100.00	
流行性耳下腺炎	12.98	0.62	1.24							100.00	
	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上			
急性出血性結膜炎	14.71	0.00	2.94	20.59	14.71	11.76	5.88	2.94	100.00		
流行性角結膜炎	2.31	1.91	10.33	20.19	15.98	7.63	8.90	3.50	100.00		
	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上						
細菌性髄膜炎 ^{*B}	2.70	8.11	8.11	8.11	51.35						
無菌性髄膜炎	0.00	3.13	3.13	9.38	25.00						
マイコプラズマ肺炎	0.00	0.00	0.00	0.00	13.79						
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	0.00	0.00	100.00						
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるもの)	0.00	0.00	0.00	0.85	3.42						

*A鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。 *Bインフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。

付表4-3 月報対象疾病の年齢階級別患者数(2018年)

疾 病 名	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳
性器クラミジア感染症	0	0	0	1	70	364	241	142	91
性器ヘルペスウイルス感染症	0	2	2	0	14	55	45	54	38
尖圭コンジローマ	0	0	0	0	6	42	35	24	24
淋菌感染症	0	0	0	0	16	96	60	49	30
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	31	12	12	2	0	2	4	7	7
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0	3	0	0	0	0	0	0	1
薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0

疾 病 名	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上	計
性器クラミジア感染症	64	46	24	20	8	3	3	1077
性器ヘルペスウイルス感染症	49	26	28	18	10	16	19	376
尖圭コンジローマ	26	15	10	6	2	1	1	192
淋菌感染症	20	23	7	4	5	4	3	317
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	8	7	22	11	16	57	330	528
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0	0	2	2	6	5	32	51
薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	0	1	0	2	6	9

付表4-4 月報対象疾病患者の年齢階級別割合(%) (2018年)

疾 病 名	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳
性器クラミジア感染症	0.00	0.00	0.00	0.09	6.50	33.80	22.38	13.18	8.45
性器ヘルペスウイルス感染症	0.00	0.53	0.53	0.00	3.72	14.63	11.97	14.36	10.11
尖圭コンジローマ	0.00	0.00	0.00	0.00	3.13	21.88	18.23	12.50	12.50
淋菌感染症	0.00	0.00	0.00	0.00	5.05	30.28	18.93	15.46	9.46
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	5.87	2.27	2.27	0.38	0.00	0.38	0.76	1.33	1.33
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0.00	5.88	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.96
薬剤耐性緑膿菌感染症	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

疾 病 名	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上	計
性器クラミジア感染症	5.94	4.27	2.23	1.86	0.74	0.28	0.28	100.00
性器ヘルペスウイルス感染症	13.03	6.91	7.45	4.79	2.66	4.26	5.05	100.00
尖圭コンジローマ	13.54	7.81	5.21	3.13	1.04	0.52	0.52	100.00
淋菌感染症	6.31	7.26	2.21	1.26	1.58	1.26	0.95	100.00
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1.52	1.33	4.17	2.08	3.03	10.80	62.50	100.00
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0.00	0.00	3.92	3.92	11.76	9.80	62.75	100.00
薬剤耐性緑膿菌感染症	0.00	0.00	0.00	11.11	0.00	22.22	66.67	100.00

付表5 月報対象疾病の性別患者数と割合(%) (2018年)

疾 病 名	男 (%)	女 (%)	計 (%)
性器クラミジア感染症	561 (52.09)	516 (47.91)	1077 (100.00)
性器ヘルペスウイルス感染症	163 (43.35)	213 (56.65)	376 (100.00)
尖圭コンジローマ	124 (64.58)	68 (35.42)	192 (100.00)
淋菌感染症	266 (83.91)	51 (16.09)	317 (100.00)
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	339 (64.20)	189 (35.80)	528 (100.00)
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	31 (60.78)	20 (39.22)	51 (100.00)
薬剤耐性緑膿菌感染症	6 (66.67)	3 (33.33)	9 (100.00)

兵庫県感染症発生動向調査事業実施要領

第1 目的

感染症対策については、近年の新たな感染症の出現とともに、これまで制圧されてきた感染症の再興など感染症の脅威と感染症を取り巻く状況の変化に対応するため、健康危機管理の観点から、迅速かつ的確な対応、感染症の発生、拡大に備えた事前対応型の行政の構築などを柱として、平成11年4月に「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」（以下「感染症法」という。）が施行された。

感染症発生動向調査事業は、県内の感染症の発生情報を正確に把握・分析、その情報を速やかに地域に公表することにより、地域住民の感染症に対する理解と協力を促し、医療機関における適切な初期診療や予防接種・衛生教育等の適切な予防措置を進め、感染症の発生及びまん延を防止するとともに、病原体情報（検査情報も含む。以下同じ。）を収集、分析することで、流行している病原体の検出状況及び特性を確認し、適切な感染症対策を立案することを目的として実施する。

第2 法令等の遵守

本事業の実施にあたっては、感染症法及び国の定める感染症発生動向調査事業実施要綱（以下、「国要綱」という。）を遵守する。

第3 対象感染症

本事業の対象とする感染症は、別表1のとおりとする。

第4 実施主体

実施主体は、兵庫県（以下、「県」という。）及び神戸市、姫路市、尼崎市及び西宮市（以下「保健所設置市」という。）とする。

第5 実施体制

1 基幹地方感染症情報センター及び地方感染症情報センター

地方感染症情報センターは、県又は保健所設置市の管轄区域内における患者情報、疑似症情報及び病原体情報を収集・分析し、県又は保健所設置市の感染症所管課に報告するとともに、全国情報と併せて、これらを速やかに医師会等の関係機関に提供・公開することとして、県又は保健所設置市ごとに、原則として、地方衛生研究所内に地方感染症情報センターを設置する。

また、基幹地方感染症情報センターを県の感染症情報センター内に設置し、保健所設置市の地方感染症情報センター等と連携のうえ県全域にわたる患者情報、疑似症情報及び病原体情報を収集・分析し、その結果を地方感染症情報センター、県健康福祉部健康局疾病対策課（以下、「県疾病対策課」という。）に報告するとともに、全国情報と併せて、これらをインターネット等により速やかに情報公開する。

なお、基幹地方感染症情報センターは情報の収集、分析の効果的、効率的な運

用を図るため、必要に応じて兵庫県健康づくり審議会感染症対策専門委員会の助言を求める。

2 指定届出機関及び指定提出機関（定点）

(1) 県は、定点把握対象の五類感染症について、患者情報及び疑似症情報を収集するため、感染症法第14条第1項に規定する指定届出機関として患者定点及び疑似症定点をあらかじめ指定する。

なお、保健所設置市内の定点については、保健所設置市の推薦に基づき指定する。

(2) 県は、定点把握対象の五類感染症について、患者の検体又は当該感染症の病原体（以下「検体等」という。）を収集するため、病原体定点をあらかじめ指定する。

また、感染症法施行規則第7条の2に規定する五類感染症については、感染症法第14条の2第1項に規定する指定提出機関として、病原体定点を指定する。

なお、保健所設置市内の定点については、保健所設置市の推薦に基づき指定する。

3 検査施設

県及び保健所設置市の管轄区域内における本事業に係る検体等の検査については、地方衛生研究所若しくは県健康福祉事務所（以下、「健康福祉事務所」という。）又は保健所設置市の検査施設において実施する。

地方衛生研究所若しくは健康福祉事務所又は保健所設置市の検査施設（以下、「地方衛生研究所等」という。）は、県又は保健所設置市がそれぞれ別に定める検査施設における病原体検査の業務管理要領（以下「病原体検査要領」という。）に基づき検査を実施し、検査の信頼性確保に努めることとする。

また、所管する地方衛生研究所等において実施できない検査について、保健所設置市は県立研究所に協力を依頼し、県立研究所において実施できない検査については、県又は保健所設置市は国立感染症研究所等に協力を依頼するなど検査実施体制を確保する。

第6 事業の実施

1 一類感染症、二類感染症、三類感染症、四類感染症及び全数把握対象の五類感染症、新型インフルエンザ等感染症及び指定感染症

(1) 調査単位及び実施方法

ア 健康福祉事務所・保健所

(ア) 感染症法第12条に基づく医師からの届出、または感染症法第13条に基づく獣医師からの届出を受けた健康福祉事務所又は保健所は、直ちに感染症発生動向調査システムに届出内容を入力するものとする。

また、健康福祉事務所又は保健所は、病原体検査が必要と判断した場合には、検体等を所持する医療機関に対して、病原体検査のための検体等の提供

について、県又は保健所設置市がそれぞれ別に定める様式の検査票（以下「検査票」という。）を添付して依頼等を行うものとする。

なお、病原体検査の必要性の判断及び実施等について、必要に応じてそれぞれの感染症所管課及び地方衛生研究所と協議する。

(イ) 健康福祉事務所又は保健所は、検体等の提供を受けた場合には、検査票を添付して地方衛生研究所等へ検査を依頼するものとする。

(ウ) 健康福祉事務所又は保健所は、届出を受けた感染症に係る発生状況等を把握し、市町、医療機関、地域医師会、教育委員会等の関係機関に発生状況等を提供し、連携を図る。

イ 地方衛生研究所等

(ア) 地方衛生研究所等は、検査票及び検体等が送付された場合にあっては、病原体検査要領に基づき当該検体等を検査し、その結果を健康福祉事務所又は保健所を経由して診断した医師に通知するとともに、県疾病対策課又は保健所設置市感染症所管課並びに地方感染症情報センターに送付する。

また、病原体情報について、速やかに中央感染症情報センターに送付する。

(イ) 保健所設置市の地方衛生研究所等において実施することが困難な検査については、必要に応じて県立研究所に依頼する。

なお、県立研究所においても実施することが困難な検査については、必要に応じて国立感染症研究所に依頼する。

(ウ) 患者が一類感染症と診断されている場合、県域を超えた感染症の集団発生があった場合等の緊急的な場合及び国から提出を求められた場合にあっては、検体等を国立感染症研究所に送付する。

ウ 地方感染症情報センター

(ア) 地方感染症情報センターは、管轄区域の患者情報について、健康福祉事務所又は保健所から情報の入力があり次第、登録情報の確認を行う。

(イ) 地方感染症情報センターは、管轄区域内の全ての患者情報及び病原体情報を収集、分析するとともに、その結果を週報（月単位の場合は月報。以下同じ。）等として公表される県情報、全国情報と併せて、健康福祉事務所や保健所等の関係機関に提供・公開する。

エ 基幹地方感染症情報センター

基幹地方感染症情報センターは、県域内の全ての患者情報及び病原体情報を収集し、分析するとともに、その結果を週報等として公表される全国情報と併せて、地方感染症情報センター等の関係機関に提供・公開する。

オ 県疾病対策課・保健所設置市感染症所管課

県疾病対策課又は保健所設置市感染症所管課は、基幹地方感染症情報センター及び地方感染症情報センターが収集、分析した患者情報及び病原体情報を感染症対策に利用し、関係機関との連携・調整を行う。

なお、緊急の場合や国から対応を求められた場合においては、直接必要な情報を収集するとともに、国及び他の都道府県等とも連携の上、迅速な対応を行う。

2 定点把握対象の五類感染症

(1) 対象とする感染症の状態

各々の定点把握対象の五類感染症について、届出基準を参考とし、当該疾病の患者と診断される場合とする。

(2) 定点の指定

ア 患者定点

感染症法第14条に定める定点把握対象の五類感染症の発生状況を地域的に把握するため、県は次の点に留意し、関係医師会等の協力を得て、医療機関の中から可能な限り無作為に患者定点を指定する。

また、定点の指定に当たっては、人口及び医療機関の分布等を勘案して、できるだけ県全体の感染症の発生状況を把握できるよう考慮する。

なお、保健所設置市内の患者定点の指定にあたっては、保健所設置市の推薦に基づき指定する。

(ア) 小児科定点

別表2の小児科定点の対象感染症については、小児科を標榜する医療機関（主として小児科医療を提供しているもの）を小児科定点として指定する。小児科定点の数は国要綱に基づき算定する。この場合において、小児科定点として指定された医療機関は、インフルエンザ定点として協力するよう努める。

(イ) インフルエンザ定点

別表2のインフルエンザ定点の対象感染症については、前記（ア）で指定した小児科定点のうちインフルエンザ定点として協力する小児科定点に加え、内科を標榜する医療機関（主として内科医療を提供しているもの）を内科定点として指定し、両者を合わせてインフルエンザ定点とする。内科定点の数は国要綱に基づき算定する。

(ウ) 眼科定点

別表2の眼科定点の対象疾患については、眼科を標榜する医療機関（主として眼科医療を提供しているもの）を眼科定点として指定すること。眼科定点の数は国要綱に基づき算定する。

(エ) 性感染症定点

別表2の性感染症定点の対象疾患については、産婦人科、産科若しくは婦人科（産婦人科系）、医療法施行令（昭和23年政令第326号）第3条の2第1項第1号ハ及び二（2）の規定により性感染症と組み合わせた名称を診療科名とする診療科、泌尿器科又は皮膚科を標榜する医療機関（主として各々の標榜科の医療を提供しているもの）を性感染症定点として指定する。性感染症定点の数は国要綱に基づき算定する。

(オ) 基幹定点

別表2の基幹定点の対象疾患については、対象患者がほとんど入院患者であるため、患者を300人以上収容する施設を有する病院であって内科及び外科を標榜する病院（小児科医療と内科医療を提供しているもの）を2次医療圏域毎に1カ所以上、基幹定点として指定する。

なお、基幹定点においては、別表2のインフルエンザ定点の対象感染症のうち、入院患者も届出対象とする。

イ 病原体定点

病原体の分離等の検査情報を収集するため、県は、次の点に留意し、関係医師会等の協力を得て、原則、患者定点として指定された医療機関の中から病原体定点を指定する。

また、定点の指定に当たっては、人口及び医療機関の分布等を勘案して、できるだけ県全体の発生状況を把握できるよう考慮する。

同様に感染症法第14条の2に規定されている別表1の(97)に掲げるインフルエンザの病原体の分離等検査情報を収集するために、次の(エ)のインフルエンザ病原体定点を指定提出機関として指定する。

なお、病原体定点の数等については、次の基準の範囲内で、県が保健所設置市と協議して決定する。

(ア) 小児科病原体定点

アの(ア)により指定された患者定点の概ね10%を小児科病原体定点とする。

(イ) 眼科病原体定点

アの(ウ)により指定された患者定点の概ね10%を眼科病原体定点として指定する。

(ウ) 基幹病原体定点

アの(オ)により指定された患者定点の全てを基幹病原体定点として指定する。

(エ) インフルエンザ病原体定点・指定提出機関

アの(ア)及び(イ)により指定された患者定点の概ね10%とし、それぞれ3定点と2定点を下回らないよう指定する。

(3) 調査単位等

(ア) 患者定点に係る調査単位の期間等は、別表2のとおりとする。

(イ) 小児科病原体定点に係る調査単位の期間等は、別表3のとおりとする。

(4) 実施方法

ア 患者定点

(ア) 患者定点として指定された医療機関は、速やかな情報提供を図る趣旨から、調査単位の期間の診療時において、届出基準（平成18年3月8日健感発第0308001号厚生労働省健康局結核感染症課長通知。以下同じ。）により、患者発生状況の把握を行うものとする。

(イ) (2)のアにより指定された定点把握対象の指定届出機関においては、届出基準に従い、それぞれ調査単位の患者発生状況等を記載する。

(ウ) (イ)の届出に当たっては感染症法施行規則第7条に従い行うものとする。

イ 病原体定点

(ア) 病原体定点として指定された医療機関は、県又は保健所設置市が別に定めるところにより病原体検査のために検体等を採取する。

(イ) 小児科病原体定点においては、患者発生状況を踏まえ、県又は保健所設置

市が別に定めるところにより、別表3の対象感染症のうち複数の感染症について、毎月、原則として概ね4症例からそれぞれ少なくとも1種類の検体を、検査票を添えて、梱包のうえ、地方衛生研究所等に提出するものとする。

(ウ) インフルエンザ病原体定点として指定された医療機関は、インフルエンザ（インフルエンザ様疾患を含む。）について、調査単位ごとに1検体程度を梱包のうえ、地方衛生研究所等に提出する。

(エ) その他の病原体定点として指定された医療機関は、県又は保健所設置市が別に定めるところにより、検体等について、検査票を添えて、梱包のうえ、速やかに地方衛生研究所等に提出する。

ウ 検体等を所持している医療機関等

健康福祉事務所又は保健所から当該患者の病原体検査のための検体等を提供の依頼を受けた場合にあっては、健康福祉事務所又は保健所に協力し、検体等を提供する。

エ 健康福祉事務所・保健所

(ア) 健康福祉事務所又は保健所は、患者定点から得られた患者情報が週単位の場合は調査対象の週の翌週の火曜日までに、月単位の場合は調査対象月の翌月の3日までに、感染症発生動向調査システムに入力する。

また、対象感染症についての集団発生その他特記すべき情報については、県疾病対策課又は保健所設置市感染症所管課並びに地方感染症情報センターに報告する。

なお、健康福祉事務所又は保健所は、病原体検査が必要と判断した場合は、検体等を所持している医療機関等に対して、検査票を添付して病原体検査のための検体等の提供の依頼等を行い、地方衛生研究所等へ検査を依頼するものとする。病原体検査の必要性の判断及び実施等については、必要に応じて県疾病対策課又は保健所設置市感染症所管課及び地方衛生研究所等と協議する。

(イ) 健康福祉事務所又は保健所は、検体等の提供を受けた場合には、検査票を添付して地方衛生研究所等へ検査を依頼するものとする。

(ウ) 健康福祉事務所又は保健所は、定点把握対象の五類感染症の発生状況を把握し、市町、医療機関、地域医師会、教育委員会等の関係機関に発生状況等を提供し連携を図る。

オ 地方衛生研究所等

(ア) 地方衛生研究所等は、検査票及び検体等が送付された場合にあっては、病原体検査要領に基づき当該検体を検査し、その結果を病原体情報として健康福祉事務所又は保健所を経由して病原体定点に通知するとともに、県疾病対策課及び保健所設置市感染症所管課並びに地方感染症情報センターに送付する。

また、病原体情報については、速やかに中央感染症情報センター（国立感染症研究所感染症疫学センター。以下同じ。）に報告する。

(イ) 保健所設置市の地方衛生研究所等において実施することが困難な検査については、必要に応じて県立研究所に検査を依頼する。

なお、県立研究所においても検査が困難な場合は、必要に応じて国立感染症研究所に協力を依頼するものとする。

(ウ) 地方衛生研究所等は、県域を超えた集団発生があった場合等の緊急の場合及び国から提出を求められ場合にあつては、検体等を国立感染症研究所に送付する。

カ 地方感染症情報センター

(ア) 地方感染症情報センターは、県又は保健所設置市の管轄区域の患者情報について、健康福祉事務所又は保健所からの情報の入力があり次第、登録情報の確認を行う。

(イ) 地方感染症情報センターは、県又は保健所設置市の管轄区域内の全ての患者情報及び病原体情報を収集、分析するとともに、その結果を週報等として公表される県情報、全国情報と併せて、健康福祉事務所又は保健所等の関係機関に提供・公開する。

キ 基幹地方感染症情報センター

基幹感染症情報センターは、県内の全ての患者情報及び病原体情報を収集、分析するとともに、その結果を週報等として公表される全国情報と併せて、県疾病対策課、保健所設置市感染症所管課及び健康福祉事務所、保健所、地方感染症情報センター等の関係機関に提供・公開する。

ク 県疾病対策課・保健所設置市感染症所管課

県疾病対策課又は保健所設置市感染症所管課は、基幹地方感染症情報センター及び地方感染症情報センターが収集、分析した患者情報及び病原体情報を感染症対策に利用し、関係機関との連携・調整を行う。

なお、緊急の場合及び国から対応を求められた場合においては、直接必要な情報を収集するとともに、国及び他の都道府県とも連携の上、迅速な対応を行う。

3 感染症法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症

(1) 対象とする疑似症の状態

各々の疑似症について、届出基準を参考とし、当該疑似症の患者と診断される場合とする。

(2) 疑似症定点の指定

県は次の点に留意し、関係医師会等の協力を得て、医療機関の中から可能な限り無作為に疑似症定点を指定する。また、定点の指定に当たっては、人口及び医療機関の分布等を勘案して、できるだけ県全体の感染症の発生状況を把握できるよう考慮すること。

なお、保健所設置市内の疑似症定点の指定にあたっては、保健所設置市の推薦に基づき指定すること。

(ア) 第一号疑似症定点

対象疑似症のうち、別表1の(114)に掲げるものについては、内科又は小児科を標榜する医療機関（主として内科又は小児科医療を提供しているもの）を第一号疑似症定点とする。

また、第一号疑似症定点の数は国要綱に基づき算定する。

なお、小児科定点又はインフルエンザ定点を兼ねることができる。

(イ) 第二号疑似症定点

対象疑似症のうち、別表1の(115)に掲げるものについては、内科、小児科又は皮膚科を標榜する医療機関（主として内科、小児科又は皮膚科医療を提供しているもの）を第二号疑似症定点とする。ただし、当面の間は第一号疑似症定点を第二号疑似症定点として指定する。

(3) 実施方法

ア 疑似症定点

(ア) 疑似症定点として指定された医療機関は、速やかな情報提供を図る趣旨から、診療時において、届出基準により、直ちに疑似症発生状況の把握を行うものとする。

(イ) (2)の(ア)により選定された定点把握対象の指定届出機関においては、届出基準に従い、直ちに疑似症発生状況等を保健所に連絡する。

(ウ) (イ)の届出に当たっては感染症法施行規則第7条に従い行うものとする。

イ 健康福祉事務所・保健所

(ア) 届出を受けた健康福祉事務所又は保健所は、当該疑似症定点から得られた疑似症情報を、直ちに、症候群サーベイランスシステムに入力するものとする。

また、対象疑似症についての集団発生その他特記すべき情報については、県疾病対策課又は保健所設置市感染症所管課及び地方感染症情報センター並びに中央感染症情報センターに報告する。

(イ) 健康福祉事務所・保健所は、疑似症の発生状況等を把握し、市町、医療機関、地域医師会、教育委員会等の関係機関に発生状況等を提供し連携を図る。

ウ 地方感染症情報センター

(ア) 地方感染症情報センターは管轄区域の疑似症情報について、健康福祉事務所又は保健所からの情報の入力があり次第、登録情報の確認を行う。

(イ) 地方感染症情報センターは管轄区域内の全ての疑似症情報を収集、分析するとともに、その結果を週報等として公表される県情報、全国情報と併せて、健康福祉事務所又は保健所等の関係機関に提供・公開する。

エ 基幹地方感染症情報センター

基幹地方感染症情報センターは、県内の全ての疑似症情報を収集、分析するとともに、その結果を週報等として公表される全国情報と併せて、県疾病対策課、保健所設置市感染症所管課及び健康福祉事務所、保健所、地方感染症情報センター等の関係機関に情報提供する。

オ 県疾病対策課・保健所設置市感染症所管課

地方感染症情報センターが収集、分析した疑似症情報を感染症対策に利用し、関係機関との連携・調整を行う。

なお、緊急の場合及び国から対応を求められた場合においては、直接必要な情報を収集するとともに、国及び他の都道府県と連携の上、迅速な対応を行う。

4 その他

(1) 上記の実施方法以外の部分について、必要と認められる場合には、県の実情に

応じた追加を行い、地域における効果的・効率的な感染症発生動向調査を構築していくこととする。

- (2) 本実施要領に定める事項以外の内容については、保健所設置市の意見を聴取したうえで、必要に応じて県健康福祉部健康局長が定めることとする。

5 保健所設置市との関係

兵庫県は、本事業を実施するため保健所設置市と協議し、連携を図る。

なお、本要領に定める保健所設置市内の保健所設置市感染症所管課、保健所、地方衛生研究所等及び地方感染症情報センターの機能及び役割分担等については、実情に応じて保健所設置市が別に定めることができる。

附 則

- 1 この実施要領は、平成 22 年 9 月 1 日から施行する。
- 2 兵庫県結核・感染症発生動向調査事業実施要綱（昭和 62 年 1 月 1 日施行）は廃止する。
- 3 この実施要領の一部改正は、平成 23 年 2 月 1 日から施行する。
- 4 この実施要領の一部改正は、平成 23 年 9 月 5 日から施行する。
- 5 この実施要領の一部改正は、平成 25 年 3 月 4 日から施行する。
- 6 この実施要領の一部改正は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。
- 7 この実施要領の一部改正は、平成 25 年 10 月 14 日から施行する。
- 8 この実施要領の一部改正は、平成 26 年 7 月 26 日から施行する。
- 9 この実施要領の一部改正は、平成 26 年 9 月 19 日から施行する。
- 10 この実施要領の一部改正は、平成 27 年 1 月 21 日から施行する。
- 11 この実施要領の一部改正は、平成 28 年 2 月 15 日から施行する。
- 12 この実施要領の一部改正は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。
なお、第 6 の 2 (4) イ (イ) 及び (エ) の規程にかかわらず、姫路市内、尼崎市内、西宮市内の病原体定点（インフルエンザ定点を除く）として指定された医療機関は、当面の間、検体等を県立研究所に送付するものとする。
- 13 この実施要領の一部改正は、平成 30 年 1 月 1 日から施行する。
また、第 6 の 3 (3) のア (イ) 及びイ (ア) の改正は平成 30 年 3 月 1 日から施行する。さらに第 4 及び第 6 の 1 (1) のイ (イ) 及び第 6 の 2 (4) のオ (イ) の改正は、平成 30 年 4 月 1 日から施行することとし、第 6 の 2 (4) のイ (イ) 及び (エ) の規程にかかわらず、明石市内の病原体定点（インフルエンザ定点を除く）として指定された医療機関は、当面の間、検体等を県立健康科学研究所に送付するものとする。
- 14 この実施要領の一部改正は、平成 30 年 5 月 1 日から施行する。

別表1 兵庫県感染症発生動向調査事業の対象感染症

類型	疾患名	届出
一類	(1)エボラ出血熱、(2)クリミア・コンゴ出血熱、(3)痘そう、(4)南米出血熱、(5)ペスト、(6)マールブルグ病、(7)ラッサ熱	全数
二類	(8)急性灰白髄炎、(9)結核、(10)ジフテリア、(11)重症急性呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 SARS コロナウイルスであるものに限る。）、(12)中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属 MERS コロナウイルスであるものに限る。）、(13)鳥インフルエンザ(H5N1)、(14)鳥インフルエンザ(H7N9)	全数
三類	(15)コレラ、(16)細菌性赤痢、(17)腸管出血性大腸菌感染症、(18)腸チフス、(19)パラチフス	全数
四類	(20)E 型肝炎、(21)ウエストナイル熱（ウエストナイル脳炎を含む。）、(22)A 型肝炎、(23)エキノкокクス症、(24)黄熱、(25)オウム病、(26)オムスク出血熱、(27)回帰熱、(28)キャサナル森林病、(29)Q 熱、(30)狂犬病、(31)コクシジオイデス症、(32)サル痘、(33)ジカウイルス感染症、(34)重症熱性血小板減少症候群（病原体がフレボウイルス属 SFTS ウイルスであるものに限る。）、(35)腎症候性出血熱、(36)西部ウマ脳炎、(37)ダニ媒介脳炎、(38)炭疽、(39)チクングニア熱、(40)つつが虫病、(41)デング熱、(42)東部ウマ脳炎、(43)鳥インフルエンザ（H5N1 及び H7N9 を除く。）、(44)ニパウイルス感染症、(45)日本紅斑熱、(46)日本脳炎、(47)ハンタウイルス肺症候群、(48)B ウイルス病、(49)鼻疽、(50)ブルセラ症、(51)ベネズエラウマ脳炎、(52)ヘンドラウイルス感染症、(53)発しんチフス、(54)ボツリヌス症、(55)マラリア、(56)野兎病、(57)ライム病、(58)リッサウイルス感染症、(59)リフトバレー熱、(60)類鼻疽、(61)レジオネラ症、(62)レプトスピラ症、(63)ロッキー山紅斑熱	全数
五類	(64)アメーバ赤痢、(65)ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く。）、(66)カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症、(67)急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く。）、(68)急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。）、(69)クリプトスポリジウム症、(70)クロイツフェルト・ヤコブ病、(71)劇症型溶血性レンサ球菌感染症、(72)後天性免疫不全症候群、(73)ジアルジア症、(74)侵襲性インフルエンザ菌感染症、(75)侵襲性髄膜炎菌感染症、(76)侵襲性肺炎球菌感染症、(77)水痘（患者が入院を要すると認められるものに限る。）、(78)先天性風しん症候群、(79)梅毒、(80)播種性クリプトコックス症、(81)破傷風、(82)バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症、(83)バンコマイシン耐性腸球菌感染症、(84)百日咳、(85)風しん、(86)麻しん、(87)薬剤耐性アシネトバクター感染症	全数
	(88)RS ウイルス感染症、(89)咽頭結膜熱、(90)A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、(91)感染性胃腸炎、(92)水痘、(93)手足口病、(94)伝染性紅斑、(95)突発性発しん、(96)ヘルパンギーナ、(97)流行性耳下腺炎、(98)インフルエンザ（鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。）、(99)急性出血性結膜炎、(100)流行性角結膜炎、(101)性器クラミジア感染症、(102)性器ヘルペスウイルス感染症、(103)尖圭コンジローマ、(104)淋菌感染症、(105)クラミジア肺炎（オウム病を除く。）、(106)細菌性髄膜炎（インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。）、(107)ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、(108)マイコプラズマ肺炎、(109)無菌性髄膜炎、(110)メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、(111)薬剤耐性緑膿菌感染症	定点
疑似症	法第 14 条第 1 項に規定する厚生労働省令で定める疑似症 (114)摂氏 38 度以上の発熱及び呼吸器症状（明らかな外傷又は器質的疾患に起因するものを除く。）、(115)発熱及び発しん又は水疱（ただし、当該感染症が二類感染症、三類感染症、四類感染症又は五類感染症の患者の症状であることが明らかな場合を除く。）	定点
新型インフルエンザ等感染症	(112)新型インフルエンザ、(113)再興型インフルエンザ	全数

別表2 定点把握対象の五類感染症の調査単位

定点種類	対象疾患	調査単位
小児科定点	(88)RSウイルス感染症、(89)咽頭結膜熱、(90)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、(91)感染性胃腸炎、(92)水痘、(93)手足口病、(94)伝染性紅斑、(95)突発性発しん、(96)ヘルパンギーナ、(97)流行性耳下腺炎	1週間(月曜日から日曜日)
インフルエンザ定点	(98)インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。)	1週間(月曜日から日曜日)
眼科定点	(99)急性出血性結膜炎、(100)流行性角結膜炎	1週間(月曜日から日曜日)
性感染症定点	(101)性器クラミジア感染症、(102)性器ヘルペスウイルス感染症、(103)尖圭コンジローマ、(104)淋菌感染症	各月
基幹定点	(98)インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。)*ただし、入院患者に限定する。 (91)のうち病原体がロタウイルスであるもの、(105)クラミジア肺炎(オウム病を除く。)、(106)細菌性髄膜炎(インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。)、(108)マイコプラズマ肺炎、(109)無菌性髄膜炎	1週間(月曜日から日曜日)
	(107)ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、(110)メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症(111)薬剤耐性緑膿菌感染症	各月

別表3 病原体定点把握対象の五類感染症の調査単位

定点種類	対象疾患	調査単位
小児科病原体 定点	(88)RS ウイルス感染症、(89)咽頭結膜熱、 (90)A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、(91)感染 性胃腸炎、(92)水痘、(93)手足口病、(94)伝 染性紅斑、(95)突発性発しん、(96)ヘルパ ンギーナ、(97)流行性耳下腺炎	各月
インフルエン ザ病原体定点	(98)インフルエンザ（鳥インフルエンザ及び 新型インフルエンザ等感染症を除く。）	流行期（兵庫県におけるインフ ルエンザ定点の1定点あたりの 患者数が1を超えた時点から1 を下回るまでの期間には1週間 （月曜日から日曜日） 非流行期（流行期以外の期間） には各月
眼科病原体 定点	(99)急性出血性結膜炎、(100)流行性角結膜 炎	各月
基幹病原体 定点	(91)のうち病原体がロタウイルスであるも の、(106)細菌性髄膜炎（インフルエンザ菌、 髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された 場合を除く。）、(109)無菌性髄膜炎	各月

2018年 兵庫県感染症発生動向調査事業年報

発行 2019年12月25日
発行者 大橋 秀隆
発行所 兵庫県立健康科学研究所
(兵庫県感染症情報センター)
電話 079-440-9090 (代表)
Fax 079-438-5570
メール webmaster@hyogo-iphes.jp

01健®1-004A4